

内子町 地域公共交通計画 別冊資料

令和 7 年 3 月

目 次

1. 地域交通に関する町民アンケート	別冊- 1
2. 町営路線バス 利用者アンケート	別冊-26
3. 町営デマンドバス 登録者アンケート	別冊-37
4. 地域交通に関する町民アンケート（70 歳代以上のみ抽出）	別冊-52
5. 地域交通に関する町民アンケート（住民助け合い輸送への参画意向） ...	別冊-68
6. 事業者ヒアリング調査	別冊-76

別冊資料 町民及び公共交通利用者等へのアンケート調査結果

1. 地域交通に関する町民アンケート

町内の各地区に在住する町民を対象に、日常の外出行動や、公共交通の利用状況、公共交通に関する意識等を確認するとともに、導入に向けた検討を進めている「住民助け合い輸送」に対する参画意向等を確認するためのアンケート調査を行った。

■調査の概要

調査方法	郵送による配布・回収
配布数	2,000 世帯（各世帯 3 人まで回答可）
回収数	930 世帯（回収率 46.5%） 2,217 人が回答（町内全人口の約 15%）

■地区別の配布数

地域	地区名	配布世帯数	地域別 配布世帯数
内子	内子・知清	455	1,000
	大瀬中央・北・東・南	142	
	五百木・村前・城廻	203	
	立山・川中・袋口	100	
	石畳・論田・河内	100	
五十崎	五十崎・大久喜	249	700
	平岡・重松・宿間・福岡	371	
	只海・北表・山鳥坂	80	
小田	小田・寺村・立石・南山・日野川・大平	126	300
	本川・中川・上川	94	
	吉野川・中田渡・上田渡・白杵	80	
合計		2,000	2,000

（配布数の算出方法）

- ・前年度に実施された小田地域のアンケート回収数を参考に、できるだけ同等に近い標本数を得るためには内子地域・五十崎地域ともに 650 世帯以上が必要であると算出。人口規模から内子地域 1,000 世帯、五十崎地域 700 世帯とし、小田地域は前年度が全数調査だったことを踏まえ 300 世帯とした。
- ・地区ごとの偏りが小さくなるよう、最低配布数（内子地域 100 世帯、五十崎・小田地域 80 世帯）を設定した上で、人口按分により各地区の配布数を調整した。

（配布先の抽出方法）

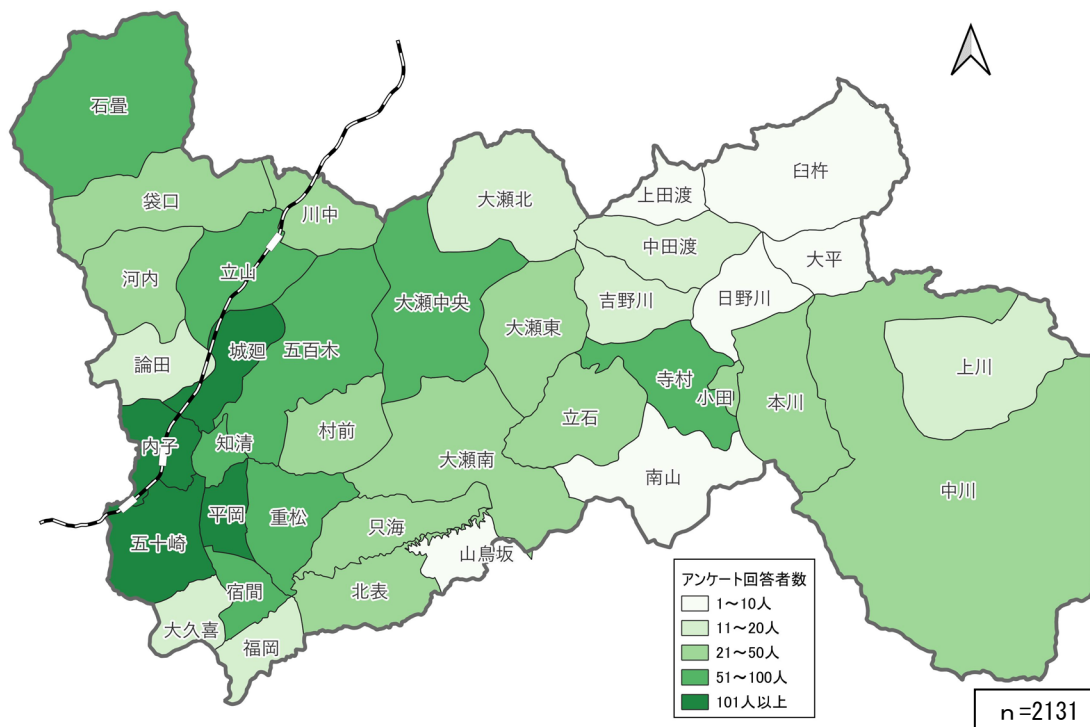
- ・住民基本台帳から無作為抽出を行った。ただし、回答者の負担を考慮し、同時に実施する町営デマンドバス登録者アンケートの対象者は除外するとともに、別世帯であっても同一住所への重複はできるだけ避けるよう調整した。

■設問内容

(世帯票) あなたご自身について ※世帯票のみ7人まで回答可	
(1) 郵便番号 (2) 年齢 (3) 性別 (4) 職業 (5) 自動車運転免許の所有 (6) 自動車の運転頻度	
問 1.自家用車による移動や運転免許について	
問 1-1	自家用車で、ご家族等の送迎をしたり、されたりすることがあるか
問 1-2	運転に不安を感じるようになったら、運転免許証を返納するか
問 1-3	現在、外出の際に移動手段に困ることがあるか
問 1-4	移動手段がない、または不便であることが原因で、外出をあきらめることがあるか
問 2.送迎サービス等の利用について	
問 2-1	病院の送迎サービスを利用しているか
問 2-2	デイサービス等、福祉施設の送迎サービスを利用しているか
問 2-3	食料品等の移動販売を利用しているか
問 2-4	それ以外に、利用したことのある送迎サービスがあるか
問 3.外出行動について	
問 3-1	一番目に多い行動パターン・頻度・出発時刻・帰宅時刻 ・移動手段、到着時刻、行き先、目的 (5ヶ所まで回答可)
問 3-2	二番目に多い行動パターン・頻度・出発時刻・帰宅時刻 ・移動手段、到着時刻、行き先、目的 (5ヶ所まで回答可)
問 4.町営路線バスについて	
問 4-1	町営路線バスを知っているか
問 4-2	町営路線バスを利用したことがあるか
問 4-3	普段利用しない理由
問 5.町営デマンドバスについて	
問 5-1	町営デマンドバスを知っているか
問 5-2	町営デマンドバスの利用者登録をしているか
問 5-3	町営デマンドバスを利用したことがあるか
問 5-4	普段利用しない理由
問 5-5	町営路線バスや、町営デマンドバスへの要望等
問 6.助け合い輸送について(乗客としての利用)【条件1】/【条件2】/【条件3】	
問 6-1, 5, 9	このような送迎サービスを利用したいと思うか
問 6-2, 6, 10	1ヶ月あたり何回程度利用するか
問 6-3, 7, 11	どのような外出目的の時に、利用すると思うか
問 6-4, 8, 12	運賃や希望時間とのずれ以外で、このようなサービスを利用したくない理由
問 7.助け合い輸送について(ドライバーとしての協力)【条件1】/【条件2】/【条件3】	
問 7-1, 4, 7	このような送迎サービスのドライバーとして、依頼を引き受けたいと思うか
問 7-2, 5, 8	1ヶ月あたり何回程度、便乗させてあげられるか
問 7-3, 6, 9	所要時間・報酬金額以外で、ドライバーを引き受けたくない理由
問 8.自由意見	

(1) 住んでいる地区

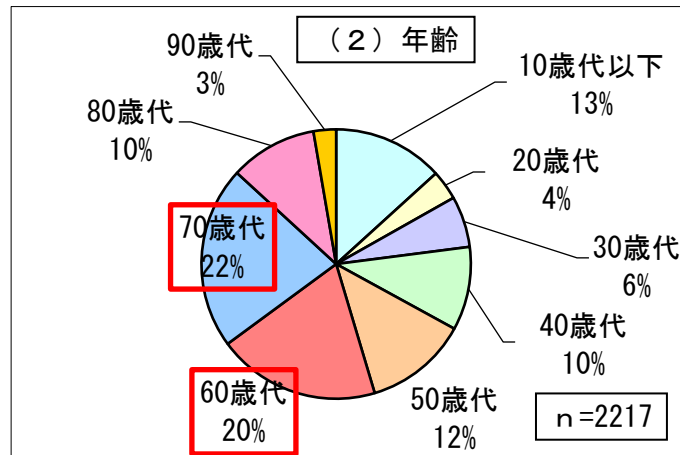
国勢調査による人口分布を基にしつつ、偏りが出来るだけ小さくなるよう考慮してアンケート調査票を配布した結果、町内の広範囲から回答が得られた。



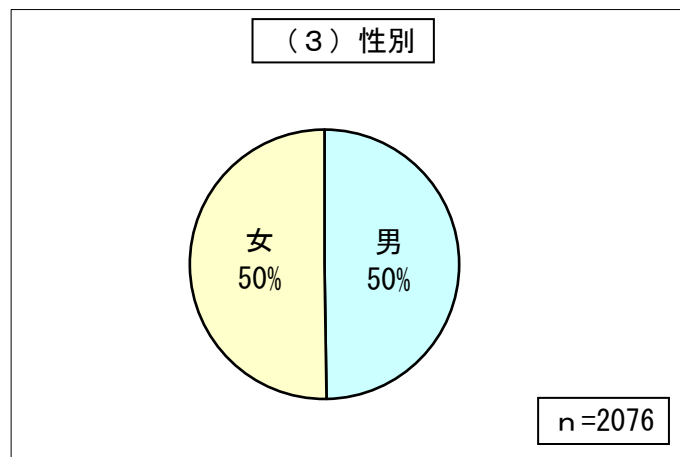
地区名	回答者数
内子	446
平岡	295
五十崎	246
城廻	113
大瀬中央	96
立山	78
五百木	72
寺村	66
知清	62
石畳	55
宿間	55
重松	51
本川	48
只海	42
大瀬南	32

地区名	回答者数
川中	30
大瀬東	30
立石	26
袋口	25
小田	25
北表	23
河内	21
村前	21
中川	21
大瀬北	20
論田	18
吉野川	17
中田渡	16
その他	81

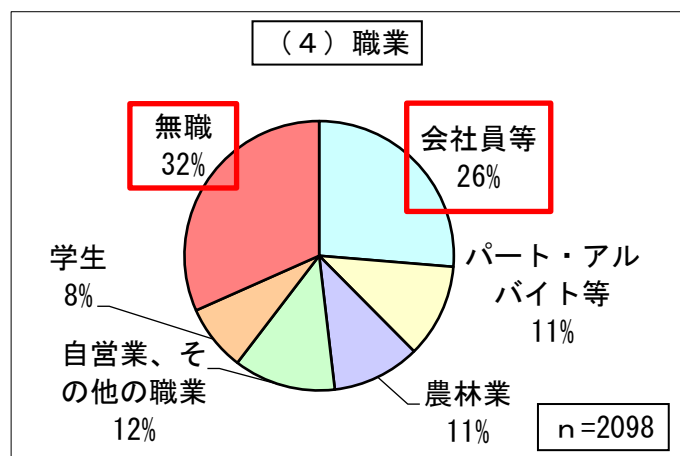
※世帯票記入者のうち、個人票の回答者を対象に集計



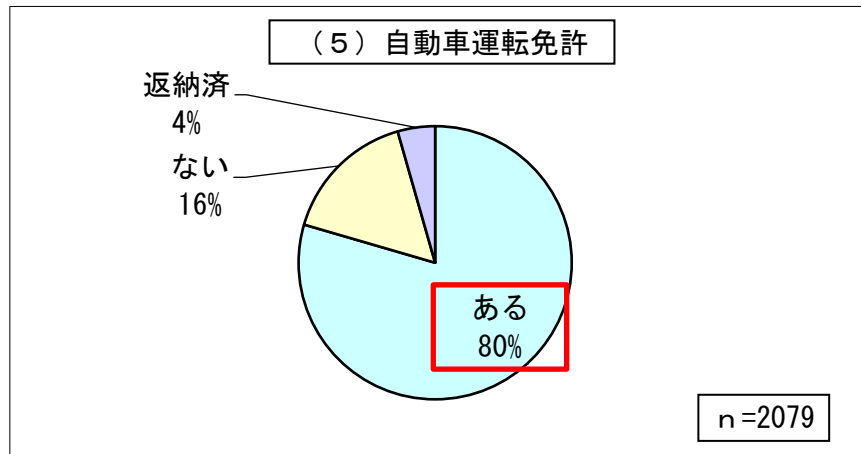
「60 歳代」と「70 歳代」が最も多く、合わせて全体の 4 割程度を占めるが、その他幅広い年代からも回答を得た。



「男性」、「女性」がほぼ同数の 50% ずつとなった。

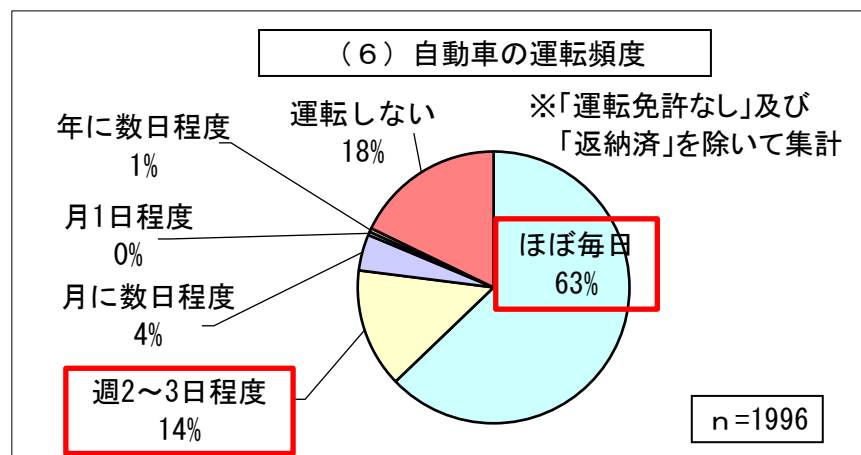


高齢者を中心とする「無職」が 32% で最も多く、次いで「会社員等」が 26% を占めた。



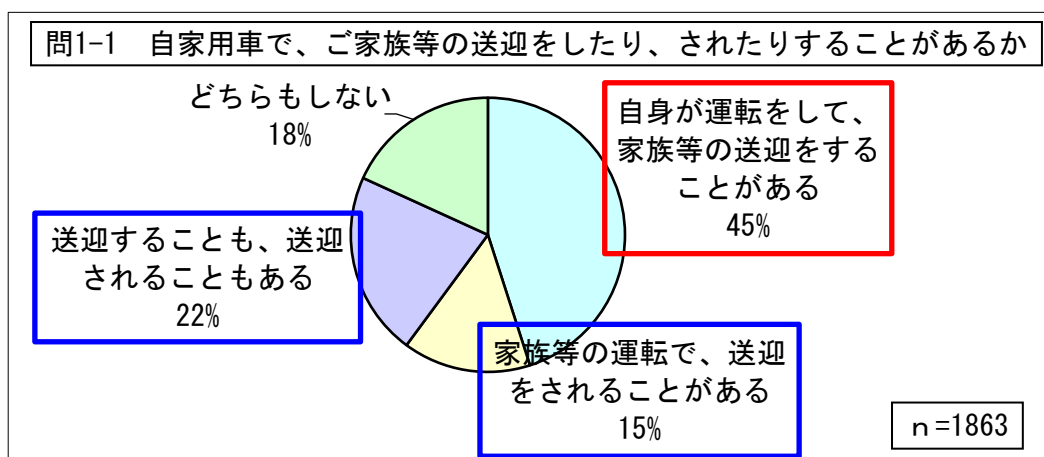
自動車運転免許を持っている人が80%を占めた。

一方、免許を持っていないまたは返納済の人は合計で20%となった。

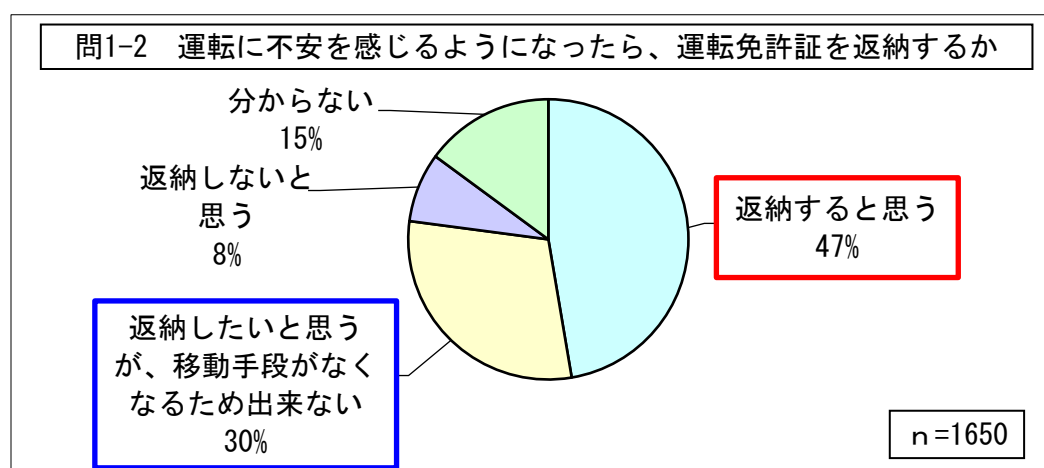


ほぼ毎日運転をする人が63%を占めた。「週2~3日程度」と合計すると、免許を持っている人の8割近くが日常的に自動車を運転している。

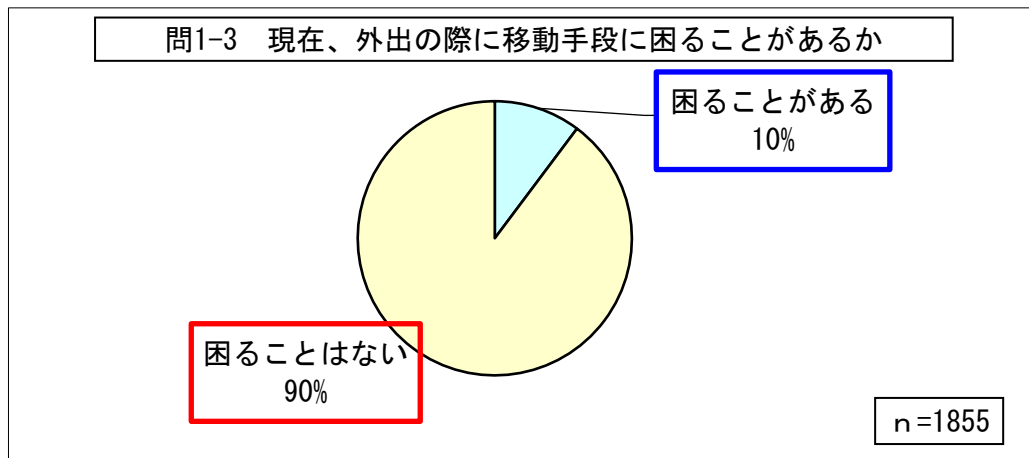
問 1.自家用車による移動や運転免許について



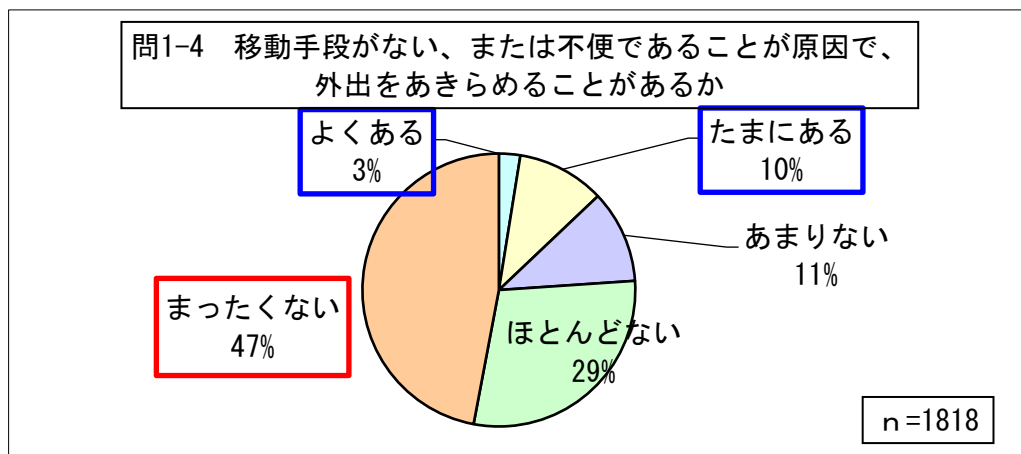
「家族等の送迎をすることがある」が45%で最も多く、送迎される場合を含めると自家用車による便乗に関わっている人が82%を占めた。



運転免許証の返納を考える人が47%で最も多かった。一方で、返納意思があるものの移動手段がなくなるため出来ないとの回答が30%を占めた。

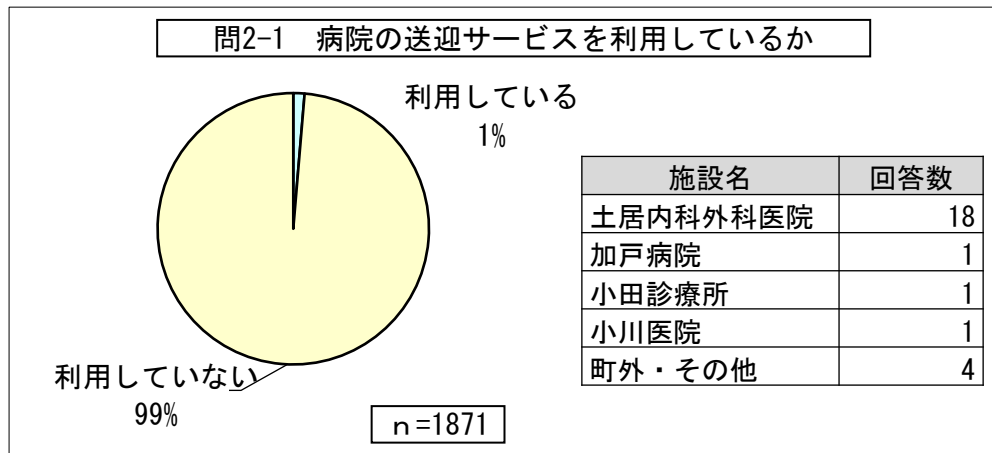


「困ることはない」が90%で大部分を占めたが、一方で、「困ることがある」という回答が10%あった。

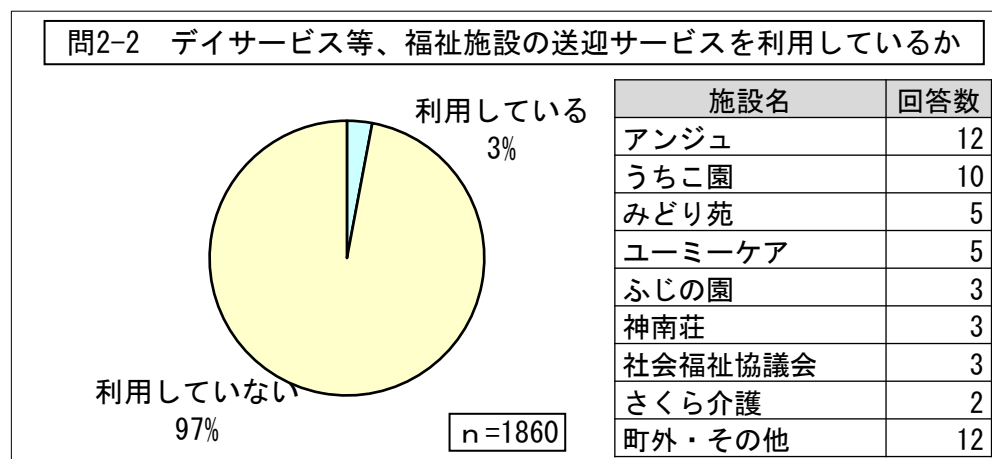


「まったくない」が47%で最も多かったが、一方で、「よくある」「たまにある」という回答が合計で13%あった。

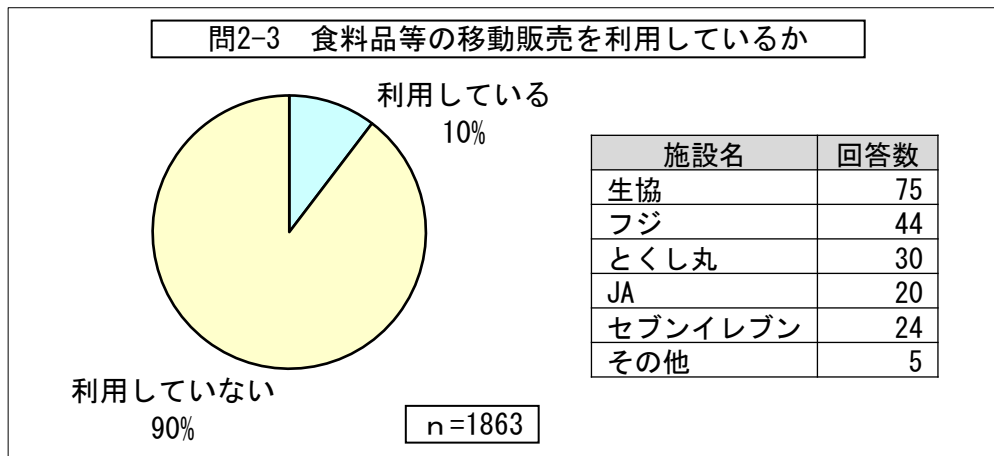
問 2.送迎サービス等の利用について



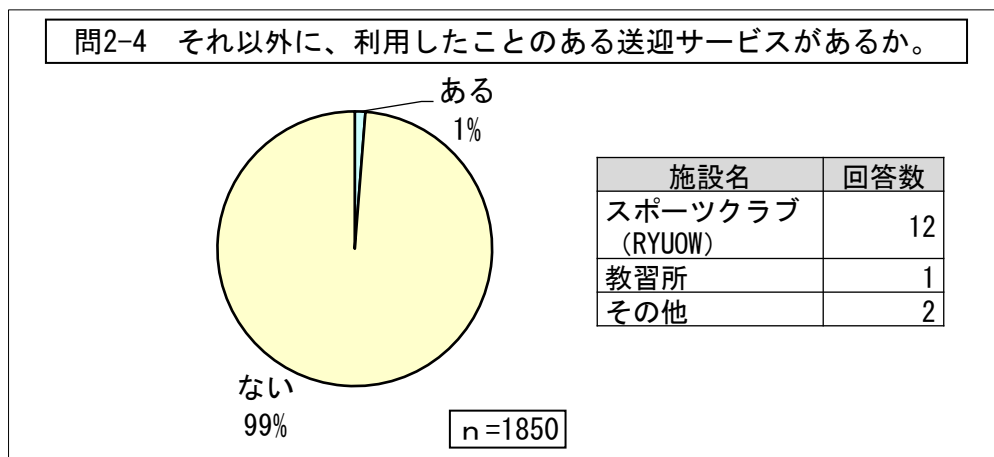
利用者は 1%にとどまった。土居内科外科医院の送迎サービスを利用しているとの回答が最も多く得られた。



利用者は 3%にとどまった。アンジュ（土居医院の付帯施設）の他、町内のさまざまな福祉施設の送迎サービスを利用しているとの回答が得られた。

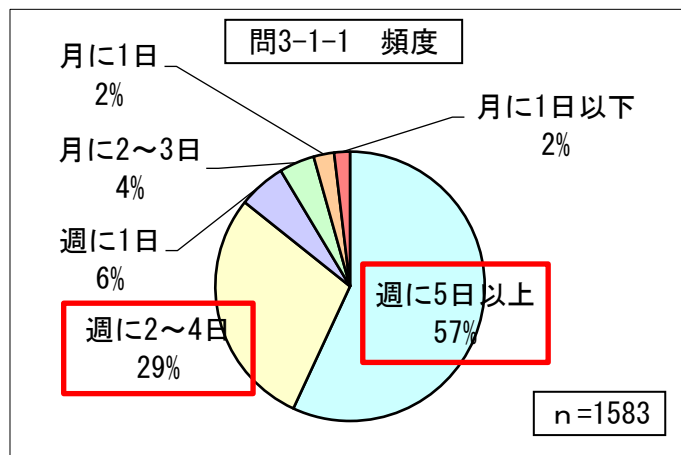


10%が利用しており、生協（コープえひめ）、スーパー（フジ、とくし丸）、JA（まるえちゃん号）の移動販売が多く利用されている他、コンビニ（セブンイレブン）の移動販売を利用しているとの回答が得られた。

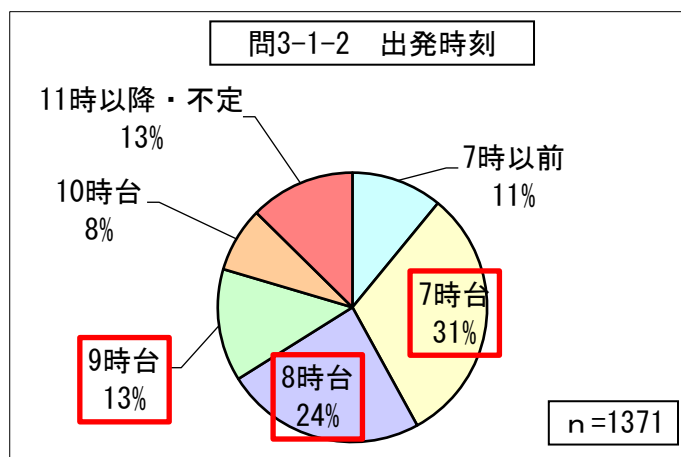


利用者は1%にとどまった。スポーツクラブ（RYUOW）の送迎サービスを利用しているとの回答が最も多く得られた。

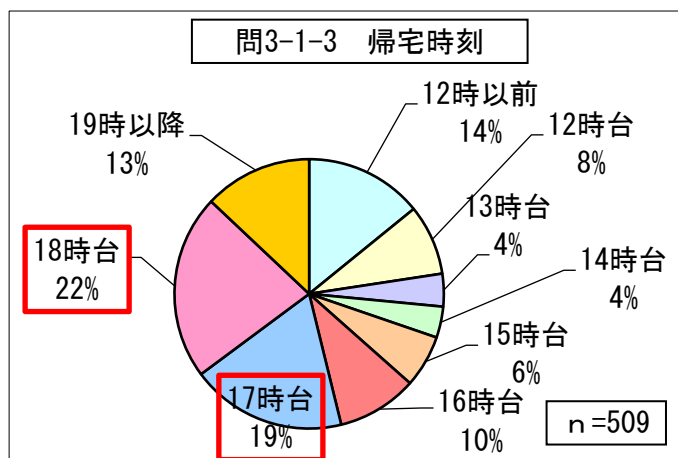
問 3.外出行動について（一番多いパターン、お勤めの方は仕事の日）



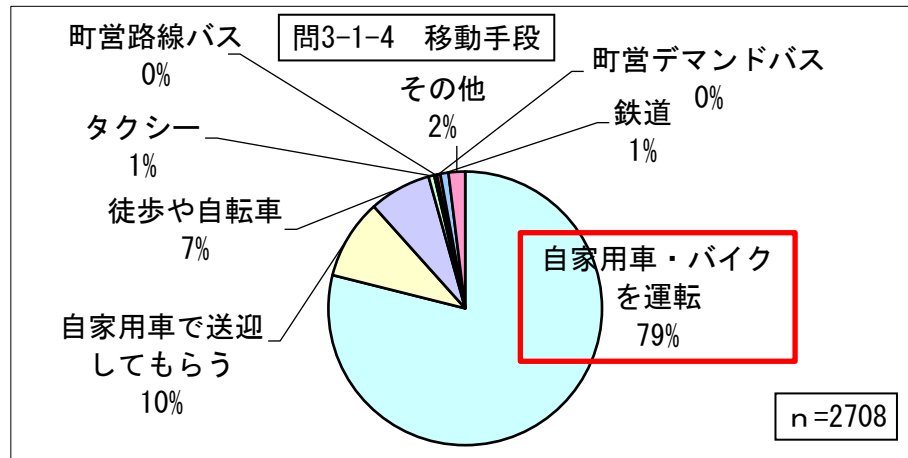
「週に 5 日以上」が 57%で最も多く、次いで「週に 2～4 日」が 29%を占めた。



「7 時台」が 31%で最も多く、次いで「8 時台」が 24%、「9 時台」が 13%となった。
7 時台～9 時台の合計で 7 割近くを占めた。

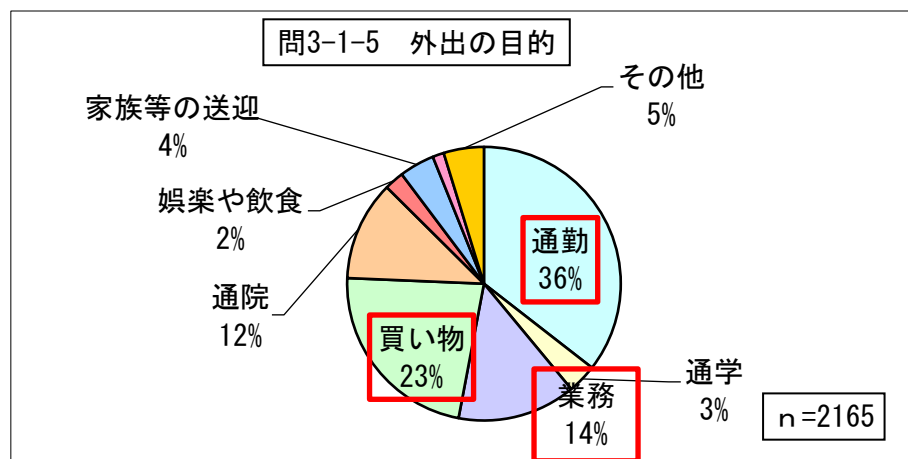


「18 時台」が 22%で最も多く、次いで「17 時台」が 19%となった。17 時以降の合計で 54%を占めた。



「自家用車・バイクを運転」が79%で大部分を占めており、公共交通の利用は少なかった。

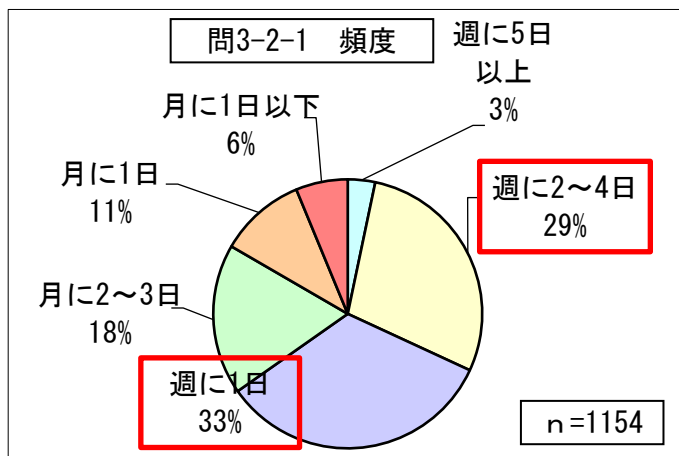
※ n は総トリップ数



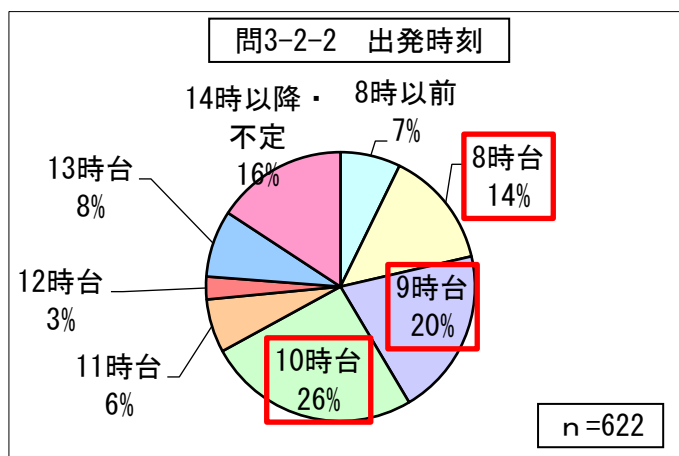
「通勤」が36%で最も多く、次いで「買い物」が23%、「業務（農作業、仕事上の移動）」が15%を占めた。

※ n は総トリップ数

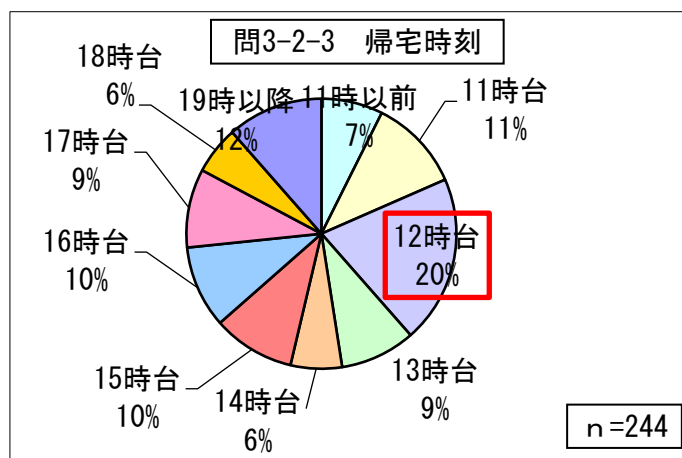
問 3.外出行動について（二番目に多いパターン、お勤めの方は休みの日）



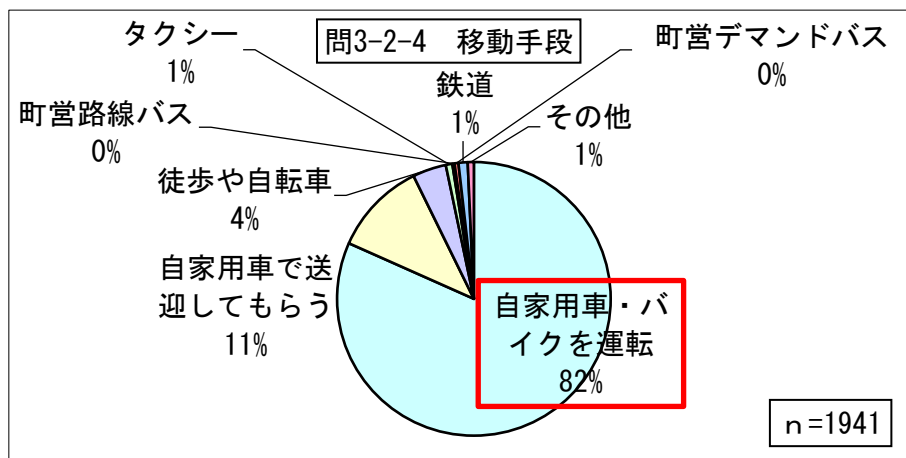
「週に1日」が33%で最も多く、次いで「週に2~4日」が29%を占めた。



「10時台」が26%で最も多く、次いで「9時台」が20%、「8時台」が14%となった。8時台~10時台の合計で60%を占め、平日よりも1時間程度遅い傾向となった。

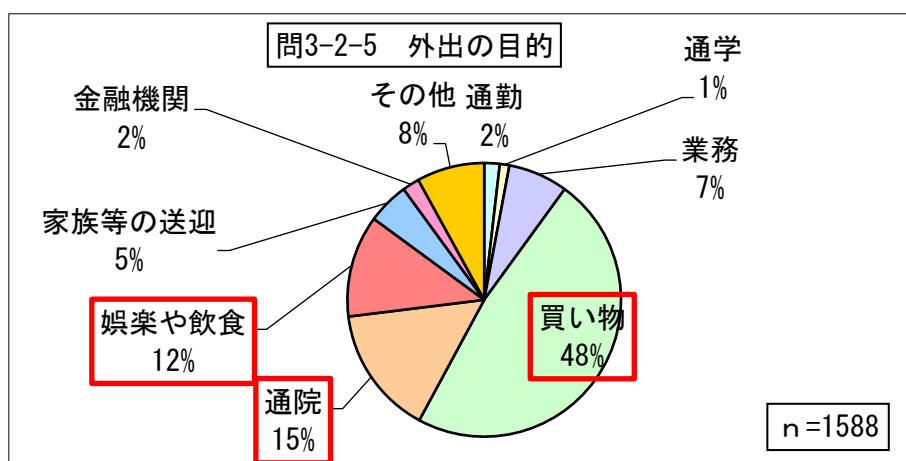


「12時台」が20%で最も多いが、さまざまな時間帯に分散する傾向が見られた。



「自家用車・バイクを運転」が82%で大部分を占めており、公共交通の利用は少なかった。

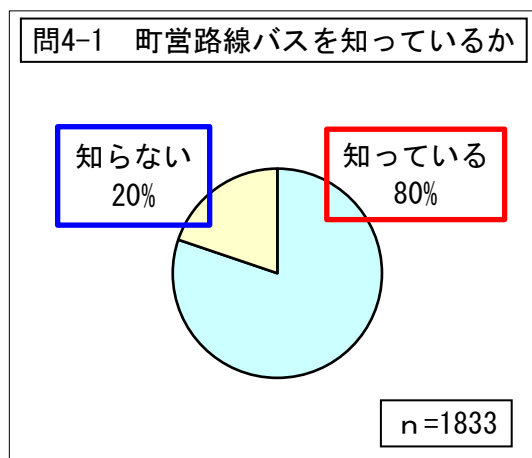
※ n は総トリップ数



「買い物」が48%で最も多く、次いで「通院」が15%、「娯楽や飲食」が12%を占めた。

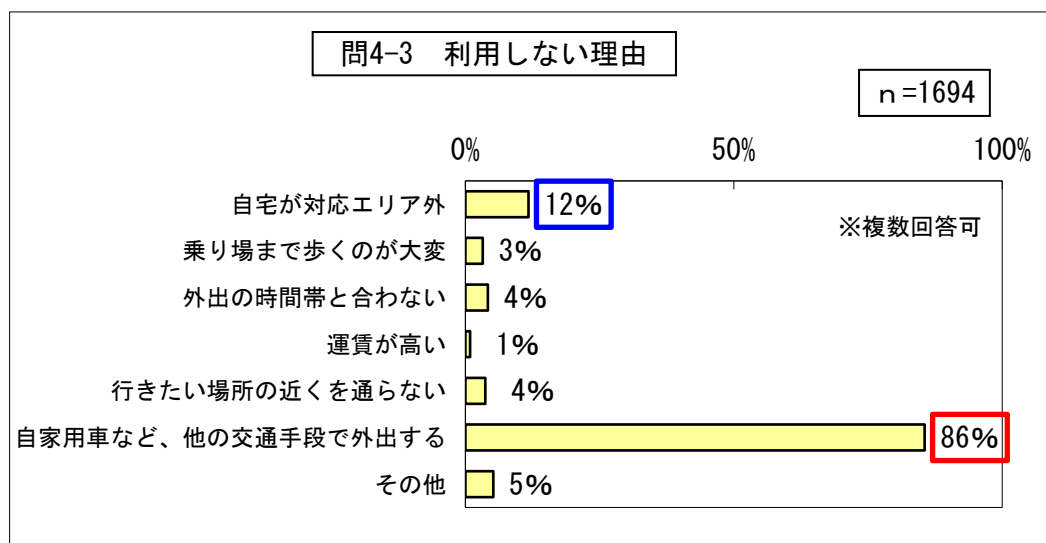
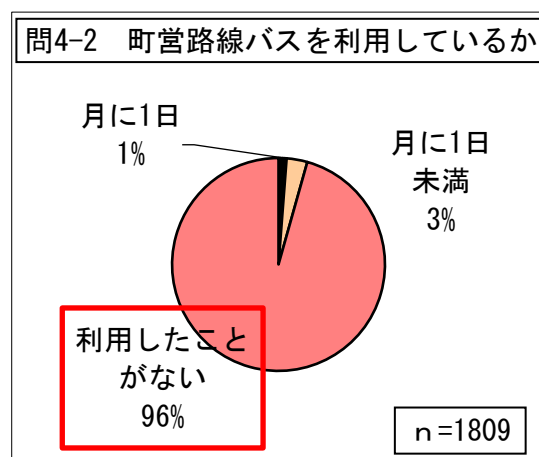
※ n は総トリップ数

問 4.町営路線バスについて



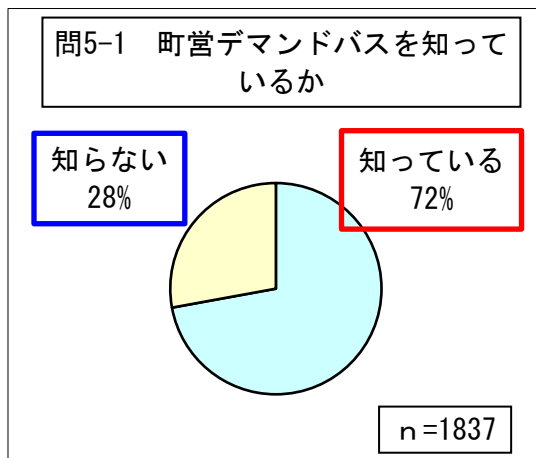
知っている人が80%と大部分を占めた一方で、知らない人が20%いた。

利用したことがない人が96%を占め、利用している人は一部にとどまった。



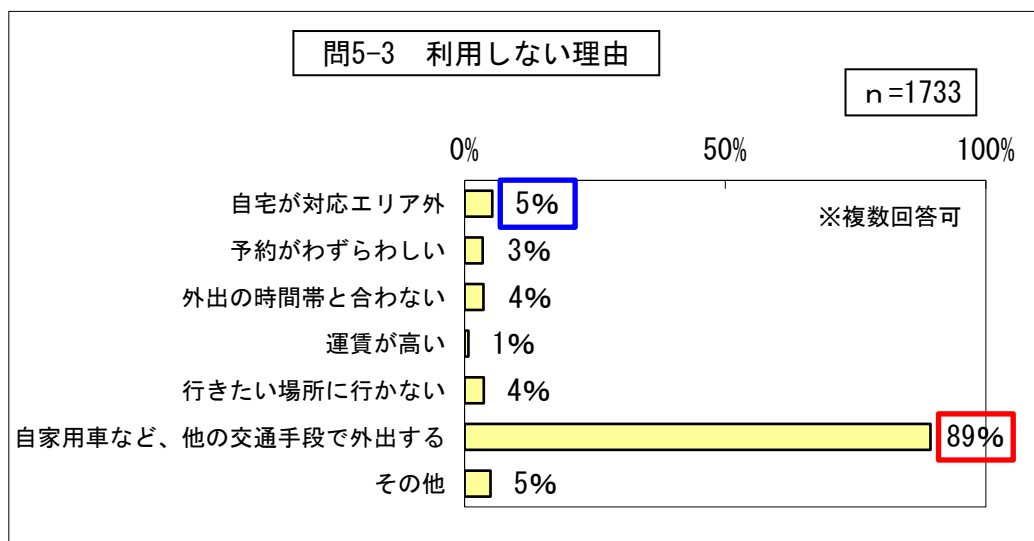
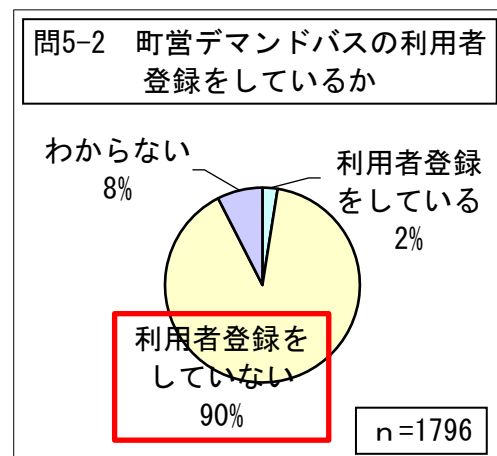
「自家用車など、他の交通手段で外出する」が86%で大部分を占めた。それ以外では、「自宅が対応エリア外」が12%であった。

問 5.町営デマンドバスについて



知っている人が72%と大部分を占めた一方で、知らない人が28%いた。

利用者登録をしていない人が90%を占め、登録している人は一部にとどまった。



「自家用車など、他の交通手段で外出する」が89%で大部分を占めた。それ以外では、「自宅が対応エリア外」が5%であった。

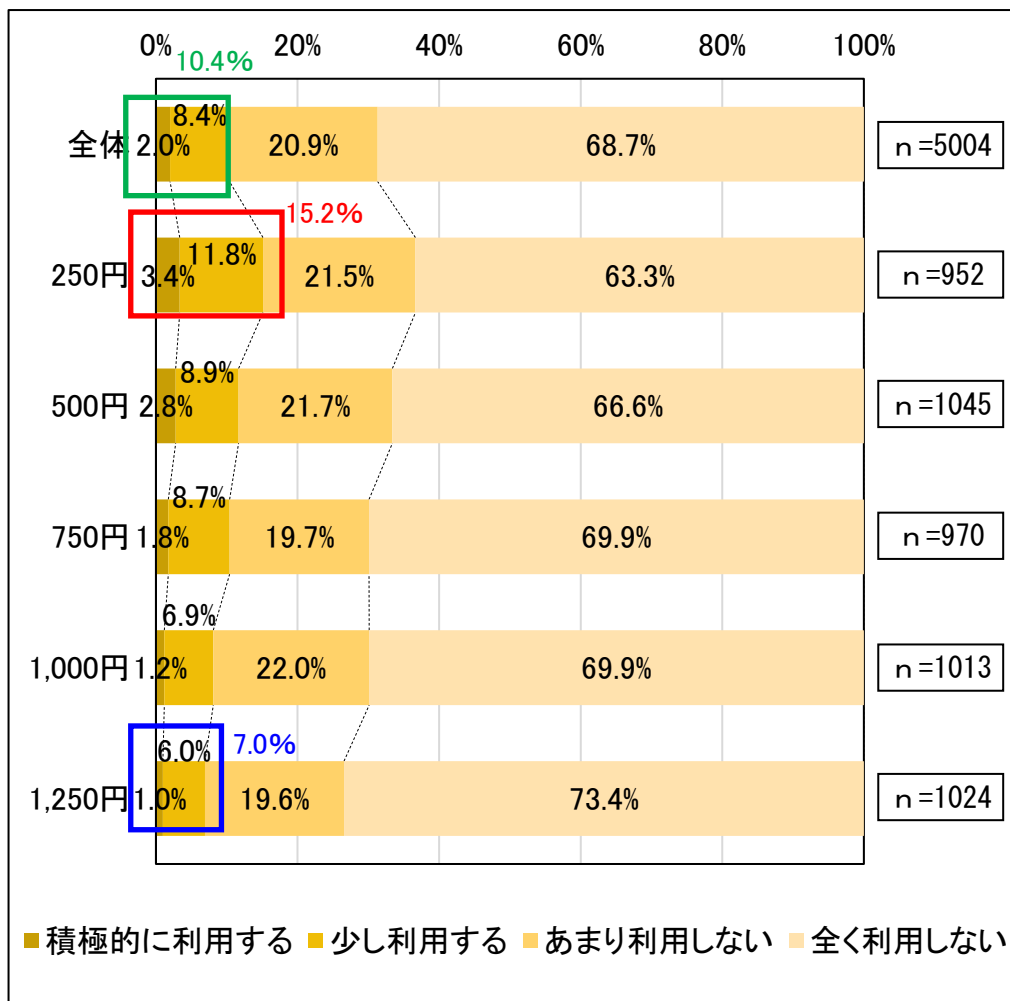
問 6.助け合い輸送について（利用者として）

問 6-1 このような送迎サービスを利用したいと思うか

※1 名につき、【条件 1】～【条件 3】の 3 通りを回答

※集計値は 3 条件のサンプルをあわせた上で算出

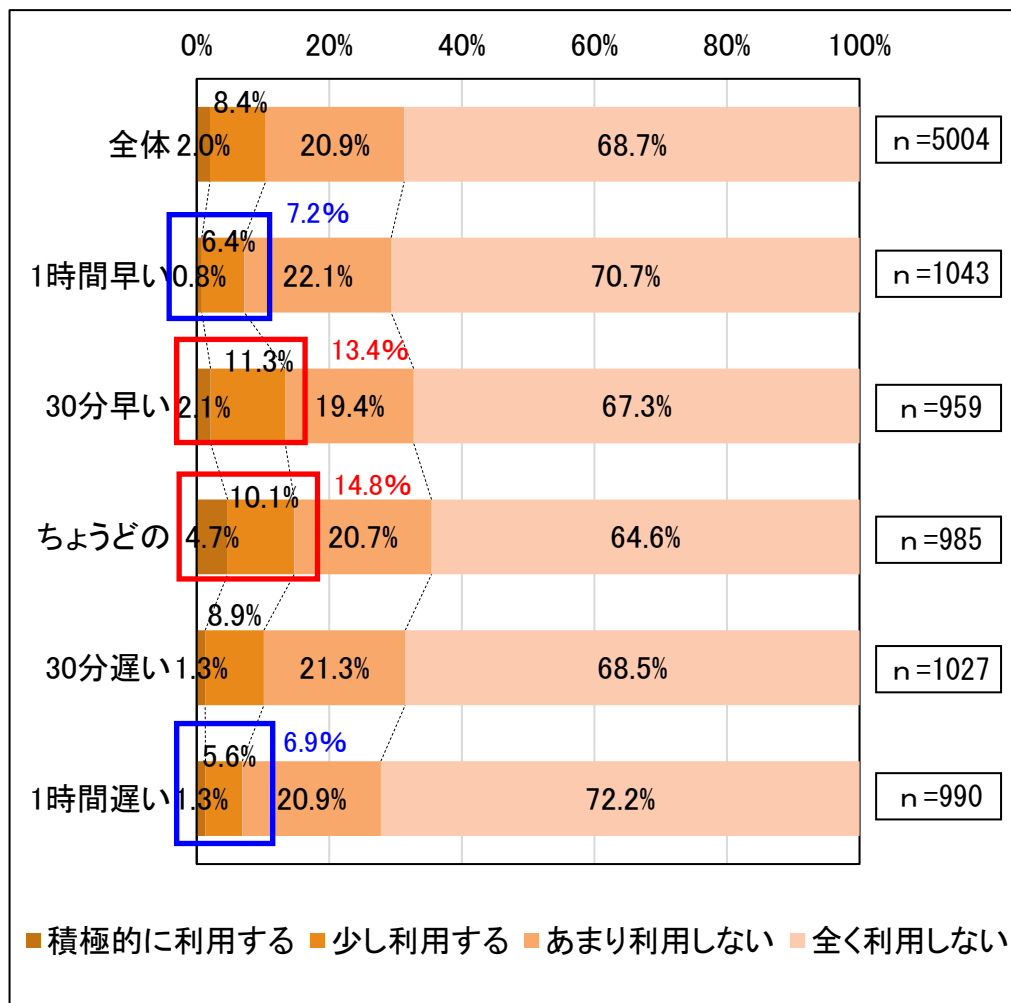
■運賃



「積極的に利用する」「少し利用する」の合計値は、全体では 10.4% となった。

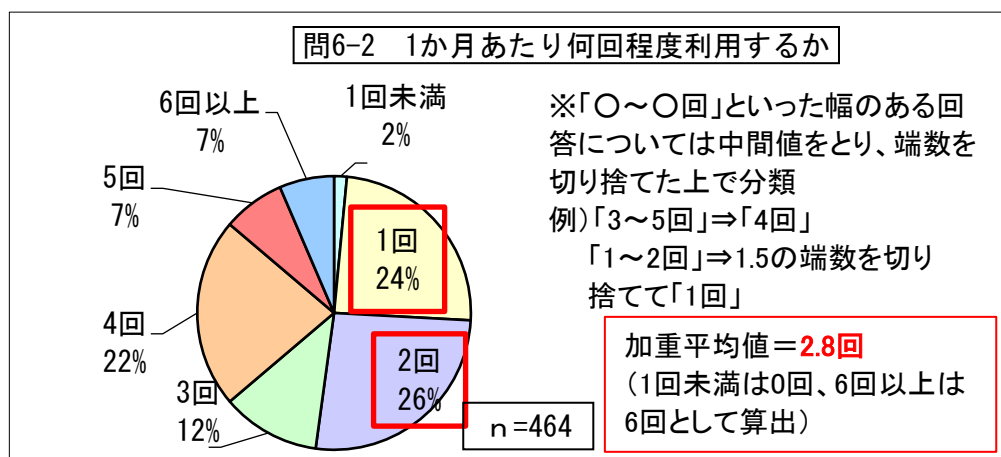
運賃別にみると、「250 円」の場合に 15.2% で最も高く、「1,250 円」の場合に 7.0% で最も低くなっていることから、運賃を安くすることによって利用促進に繋がる可能性が示された。

■希望時間とのズレ

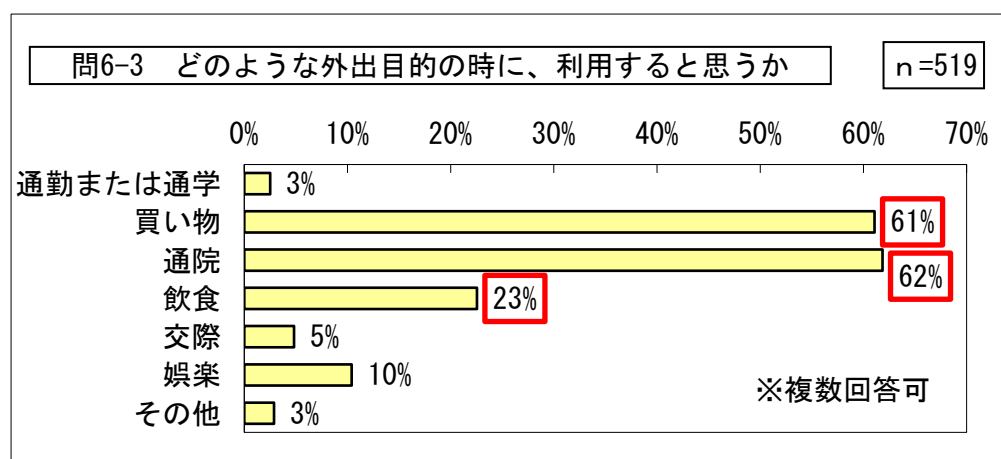


「積極的に利用する」「少し利用する」の合計値は、「ちょうど」場合に 14.8%で最も高く、次いで「30分早い」場合に 13.4%となった。一方で、「1時間遅い」場合が 6.9%で最も低く、次いで「1時間早い」場合が 7.2%となっていることから、希望時間ちょうど、またはやや早い程度が最も受け入れられやすく、1時間の誤差は許容されにくい傾向が示された。

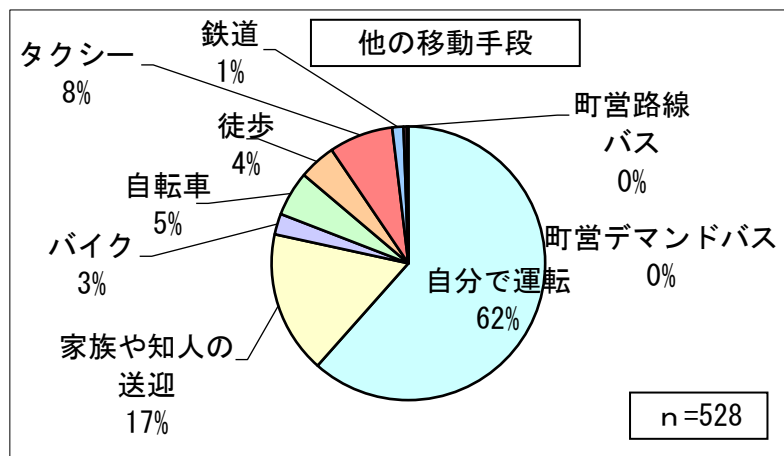
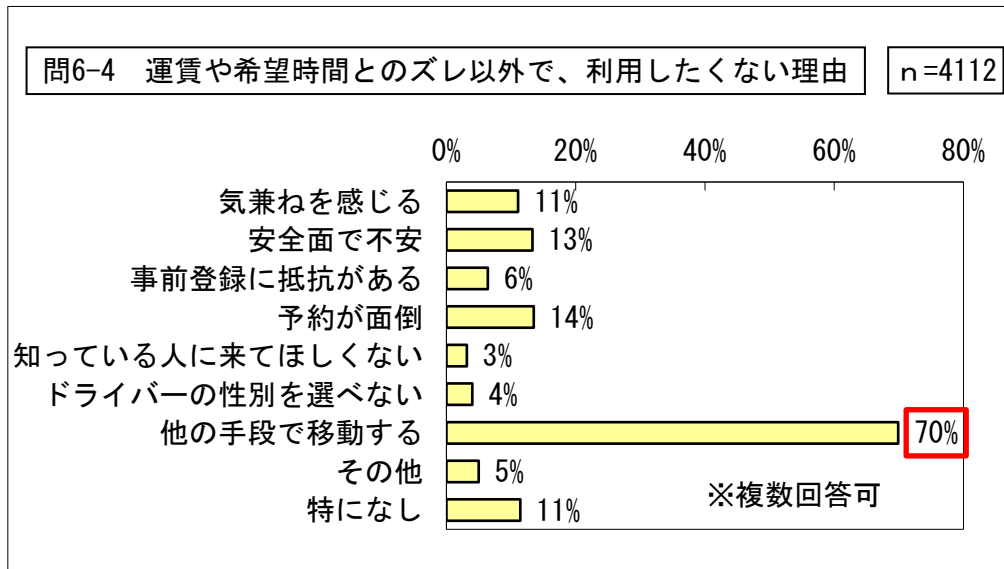
問 6.助け合い輸送について（利用者として）



「2回」が26%で最も多く、次いで「1回」が24%となったが、個人ごとにさまざまな利用意向が示され、加重平均値では2.8回となった。



「通院」が62%で最も多く、次いで「買い物」が61%で過半数に達した。それ以外では、「飲食」が23%となった。



「他の手段で移動する」が70%と最も多く、自身の運転や家族等による送迎で移動しているため利用する必要がない、といった理由が多かった。

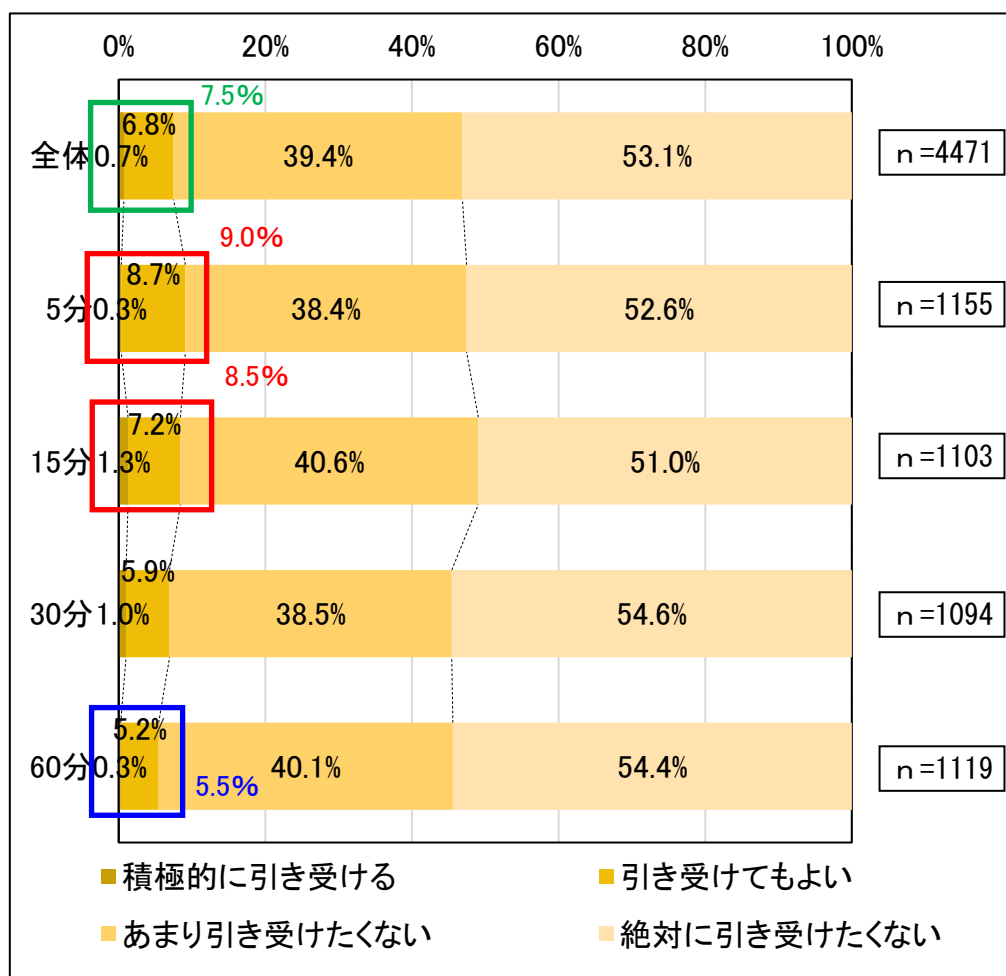
問 7.助け合い輸送について（ドライバーとして）

問 7-1 このような送迎サービスで、ドライバーとしての依頼を引き受けたいか

※1 名につき、【条件 1】～【条件 3】の 3 通りを回答

※集計値は 3 条件のサンプルをあわせた上で算出

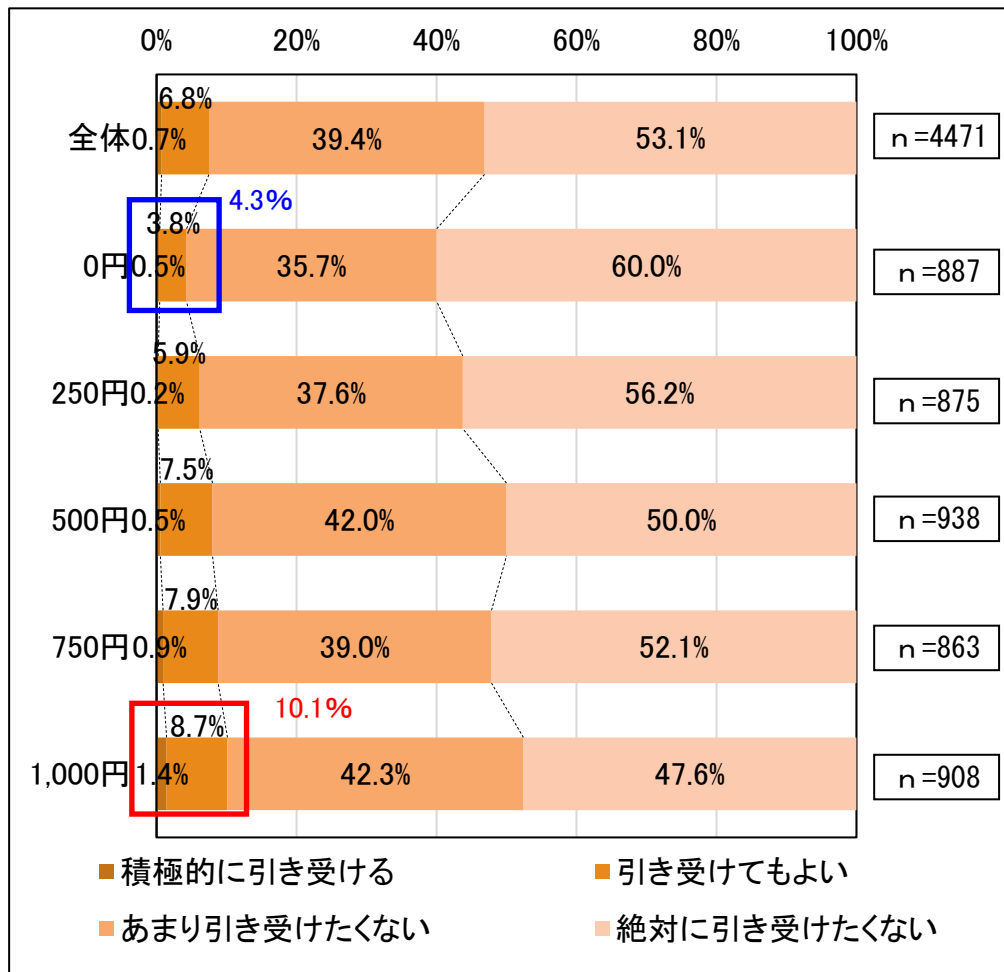
■所要時間



「積極的に引き受ける」「引き受けてもよい」の合計値は、全体では 7.5%（複数回答を除いた実人数では 167 人）となった。

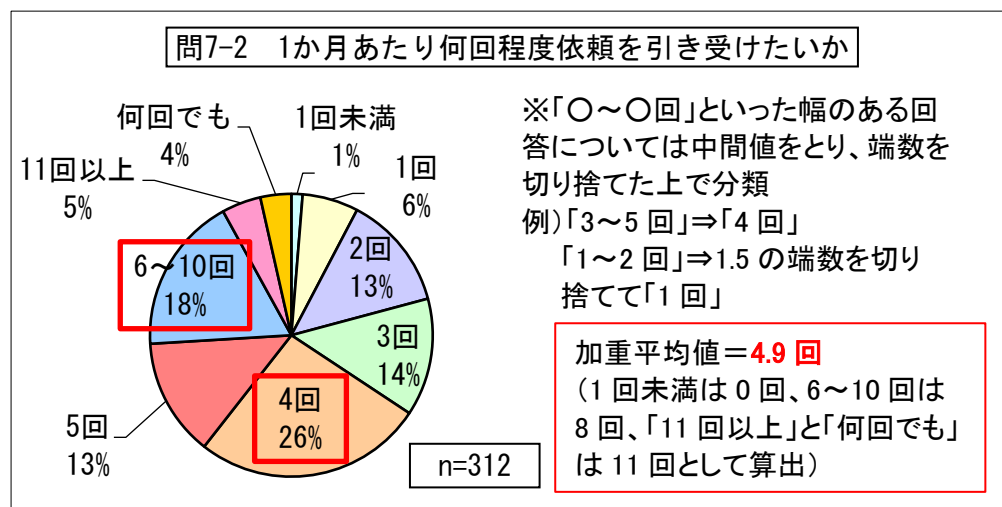
所要時間別にみると、「5 分」の場合に 9.0%、「15 分」の場合に 8.5%と高く、「60 分」の場合には 5.5%で最も低くなっており所要時間が長い方が引き受ける意向が低くなる傾向が見られた。

■報酬金額

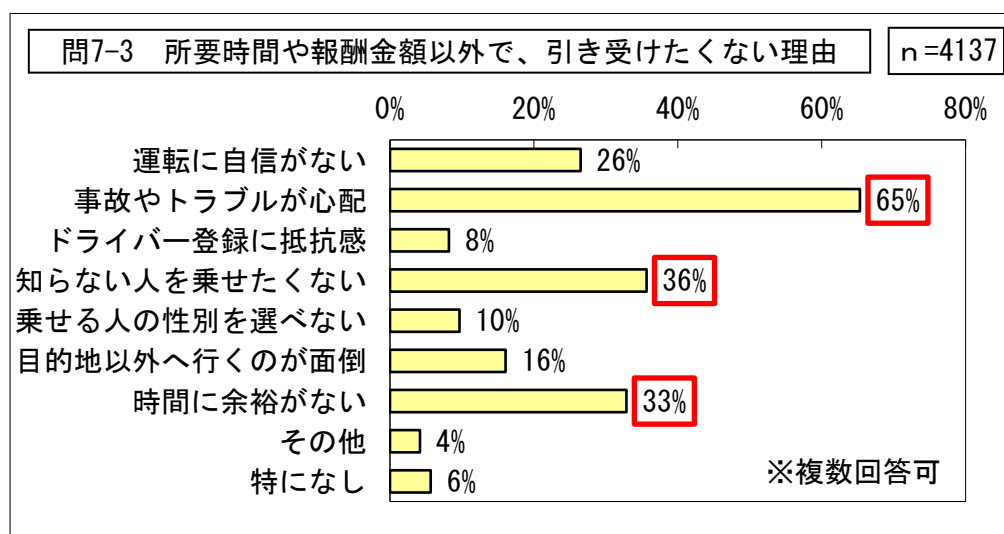


「積極的に引き受ける」「引き受けてもよい」の合計値は、「1,000円」の場合に10.1%と最も高く、報酬金額が高い方が引き受ける意向が高くなる傾向が見られた。一方で、「0円」の場合でも4.3%が引き受ける意向を示しており、ボランティアでの参画意向を持つ人がいることも確認された。

問 7.助け合い輸送について（ドライバーとして）



「4回」が26%と最も多く、次いで「6～10回」が18%となったが、個人ごとにさまざまな利用意向が示され、加重平均値では4.9回となった。



「事故やトラブルが心配」が65%と最も多く、次いで「知らない人を乗せたくない」が36%、「時間に余裕がない」が33%と多かった。その他の理由としては、「高齢のため」との回答が多かった。

問 8.自由意見（要旨による分類）

分類	回答数	要旨	回答数
公共交通の維持に関すること	36	公共交通の維持・充実を希望する	19
		将来、移動ができなくなる不安がある	10
		自動運転に期待する	2
		その他	5
住民助け合い輸送に関すること	25	助け合い輸送の実現に期待する	12
		助け合い輸送に興味がある、協力したい	7
		高齢のため難しい	3
		送迎は自信がない、知らない人を乗せたくない	3
現状の公共交通に関すること	32	公共交通に不便を感じている	5
		スクールバスの活用をしてほしい	4
		循環バスがほしい	3
		土日に運行してほしい	2
		乗合バス形式がよい	2
		山間部の交通の確保が必要	2
		タクシーの乗合をしてはどうか	2
		町外への交通手段がほしい	2
		タクシー利用補助がほしい	2
		その他	8
その他	27	アンケートに関すること、その他	16
		移動に困っていないため考えられない	11

公共交通の維持・充実を希望する意見や、住民助け合い輸送に期待する意見等が多く寄せられた。

■地域交通に関する町民アンケート まとめ・考察**(世帯票) あなたご自身について**

- ・町内各地区の 930 世帯、2,217 人（町内全人口の約 15%） から回答が得られた。
- ・年齢層は、60 歳代～70 歳代が半数近くを占めたものの、幅広い年代から回答を得た。
- ・80%が運転免許を所有しており、そのうちの 8 割近くが日常的に車を運転している。

問 1.自家用車による移動や運転免許について

- ・大部分の人が家族等の送迎をしたり・されたりしており、現時点では移動に困っている人は 1 割程度であるが、一方で、将来的に運転が不安になった場合に免許返納を考える人が約半数いることから、今後は移動に困る人の割合が増えていくことが予測される。

問 2.送迎サービス等の利用について

- ・町内に送迎サービスを行っている医院や福祉施設、スポーツクラブがあるものの利用者は限定的であり、輸送資源には余力のある可能性がある。
- ・移動販売は生協、スーパー、JA 等、町内外の複数の事業者が行っており、1 割程度が利用している。移動に困っている層にとって食料品等の重要な購入先となっている。

問 3.外出行動について

- ・大部分が自家用車で外出し、最も多いパターン（仕事の日）では出発は 7 時～9 時台、帰宅は 17 時～18 時台が多い。
- ・二番目に多いパターン（休みの日）では出発は 8 時～10 時台が多く、帰宅の時間帯は個人によってバラバラである。

問 4.町営路線バスについて**問 5.町営デマンドバスについて**

- ・それぞれ、運行自体を知らない人が 2 割以上いた。また、利用したことがない人が 9 割以上を占めた。
- ・利用しない理由として自家用車による移動で困っていないことを大部分の人が挙げていることから、高齢化や独居化、免許返納が進むことによって地域交通への依存度が高まることが予測される。

問 6.助け合い輸送について（利用者として）

- ・「積極的に利用する」「少し利用する」が合計で 1 割程度となり、町営路線バス・町営デマンドバスの利用者割合よりも大きいことから、移動手段として一定のニーズが確認された。
- ・運賃は町営デマンドバスと同額の 250 円で最も利用意向が高く、運賃が高くなるにつれて利用意向が低くなる傾向が見られた。
- ・希望時間とのズレについては「ちょうど」または「30 分早い」場合に最も利用意向が高く、1 時間以上ズレる場合には早くても遅くても利用意向が低くなる傾向が見られた。
- ・利用意向がある人は、1 ヶ月あたり 2.8 回程度の利用が見込まれる。
- ・利用目的は通院・買い物が多く、町営デマンドバスのアンケートで得られた利用目的と同様であることから、町営デマンドバスの代替として機能することが期待できる。
- ・利用しない人の大部分は、理由として車で移動できることを挙げているため、運転が出来なくなった場合には利用者に転じる可能性がある。

問 7.助け合い輸送について（ドライバーとして）

- ・「積極的に引き受ける」「引き受けてもよい」が合計で 7.5%（実人数は 167 人）となり、ドライバー候補者の確保に向けて一定の可能性があることが確認された。
- ・送迎にかかる所要時間は、「5 分」または「15 分」の場合に最も引き受ける意向が高く、所要時間が長くなると引き受ける意向が低くなる傾向が見られた。
- ・報酬金額は「1,000 円」の場合に最も引き受ける意向が高く、報酬金額が高い方が引き受ける意向が高い傾向が見られた。一方で、ボランティアで引き受ける意向を示す人が 4.3%見られた。
- ・引き受ける意向がある人は、1 ヶ月あたり 4.9 回程度の受託が見込まれる。
- ・引き受けたくない人の理由としては、「事故やトラブルの心配」や「知らない人を乗せたくない」が多く、保険の完備や講習の充実等により不安を取り除くことや、地区別にドライバーを確保して出来るだけ知り合い同士での乗合を図ることが重要である。

2. 町営路線バス 利用者アンケート

町営路線バスを利用している人を対象に、利用目的や利用区間、改善・整備すべき事項等に関する意識を把握するためのアンケート調査を行った。

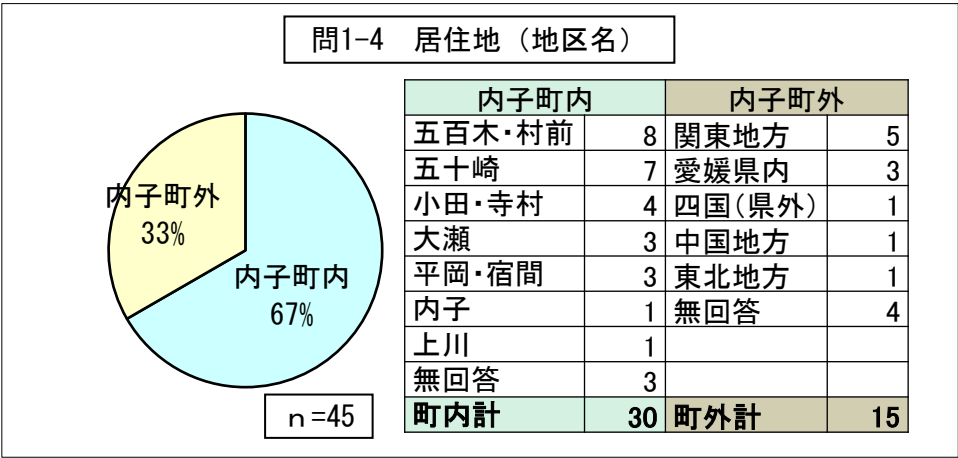
■調査の概要

調査方法	町営路線バス車内にてドライバーによる手渡し・回収 (回答はWEBでも可)
配布対象	町営路線バスの乗客 (令和6年11月11日～令和6年11月25日)
回収数	47人 (うちWEB回答4人)

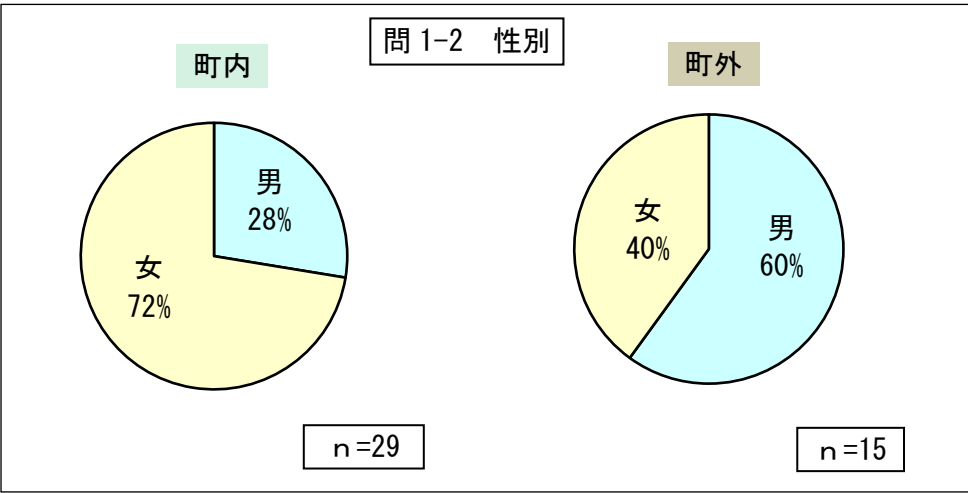
■設問内容

問1.あなたご自身について	
問1-1	乗車した日
問1-2	性別
問1-3	年齢
問1-4	居住地(地区名)
問1-5	職業
問1-6	自動車運転免許を持っているか
問1-7	自分が運転する自家用車を持っているか
問2.町営路線バスの利用について	
問2-1	出かけた目的、具体的な行き先
問2-2	本日の乗車する停留所、降車する停留所
問2-3	町営路線バスを利用する頻度、利用する時間帯
問2-4	町営路線バスを利用する理由
問3.町営路線バスの改善点について	
問3-1	町営路線バスについて、改善すべきだと思うこと
問3-2	その他、町営路線バスへの要望等

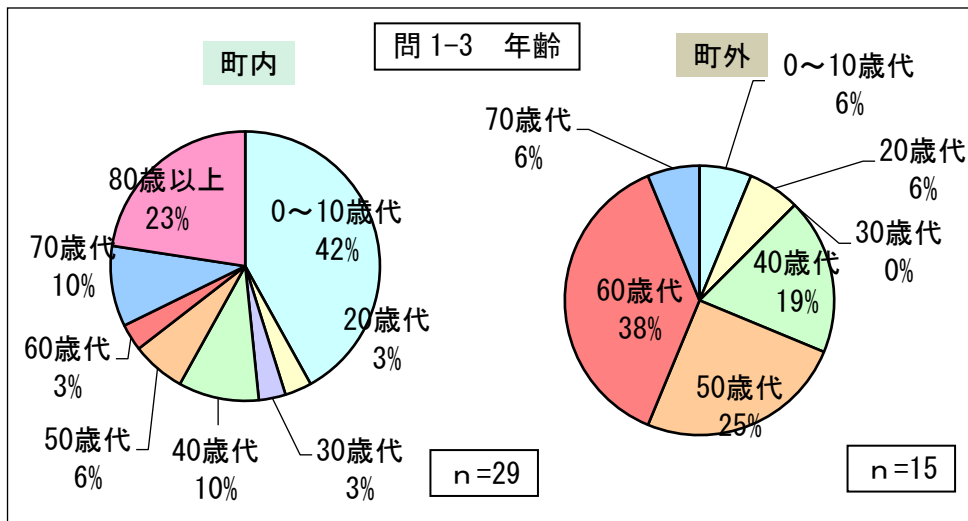
問 1.あなたご自身について



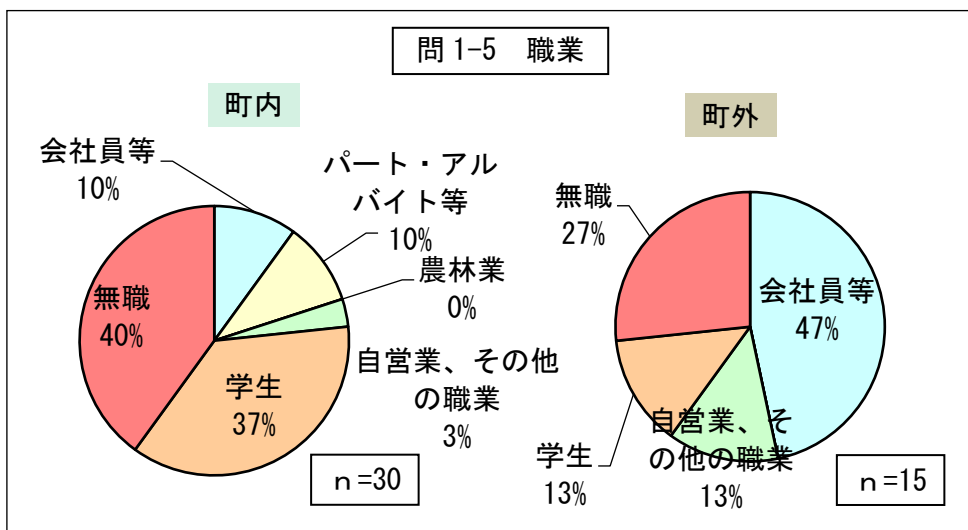
町内在住者が 67%を占める一方で、町外からの利用者も 33%を占めた。町内では五百木・村前・五十崎、町外では関東地方の在住者が多かった。



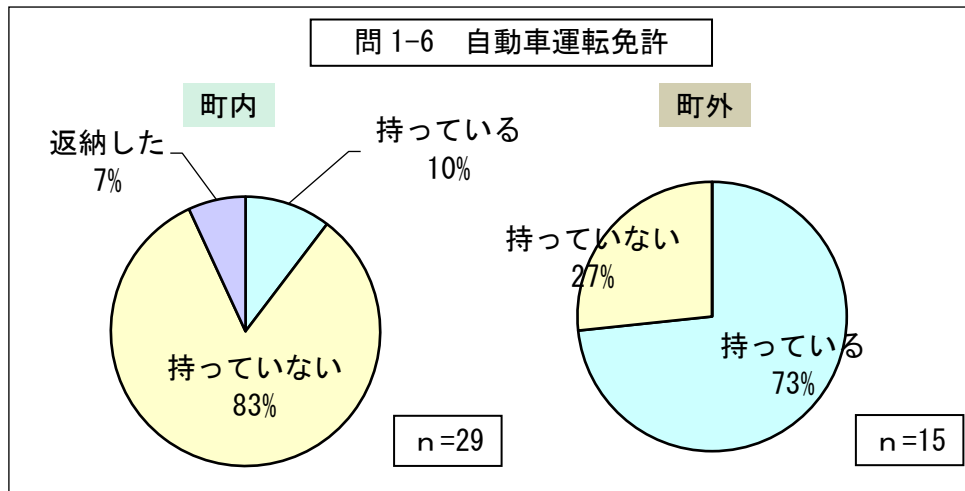
町内利用者は「女性」が過半数、町外利用者は「男性」が過半数となり、傾向の違いが見られた。



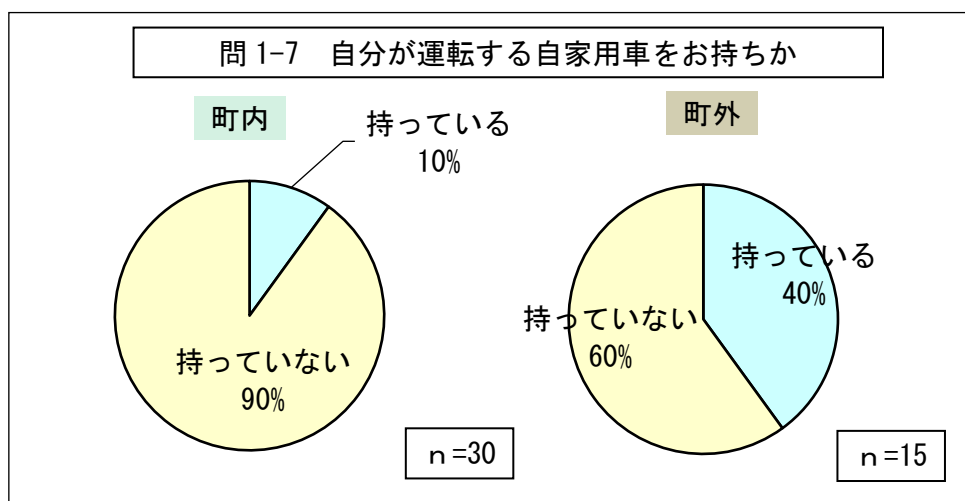
町内利用者は「10 歳代以下」または「80 歳以上」が多く、町外利用者は 40 歳代～60 歳代が大部分を占めた。



町内利用者は「学生」または「無職」で合わせて 8 割近くを占めた。町外利用者は「会社員等」が半数近くを占めた。

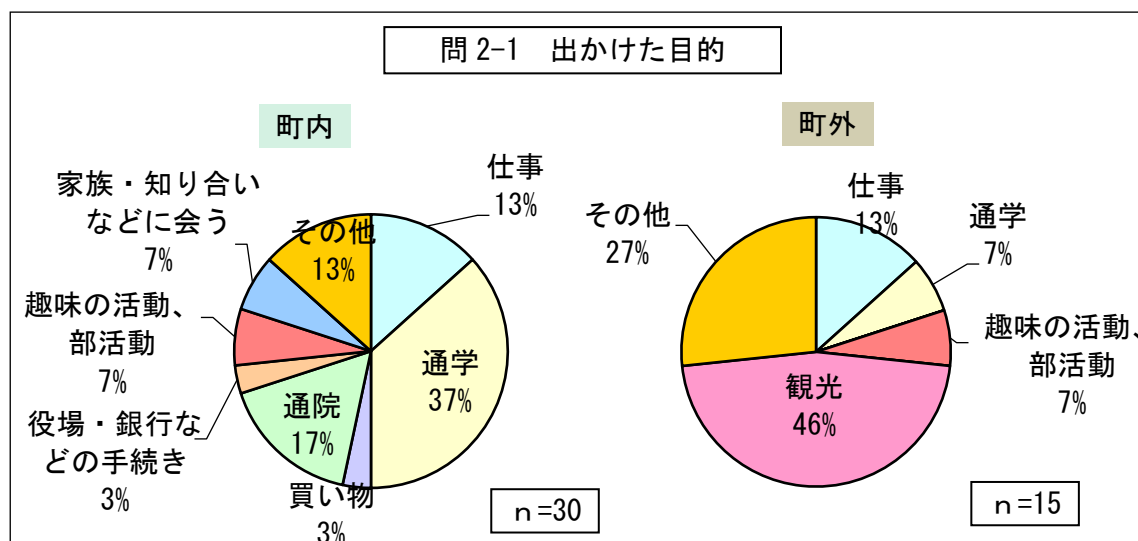


町内利用者は「持っていない」が8割以上を占め、町外利用者は「持っている」が7割以上を占めた。

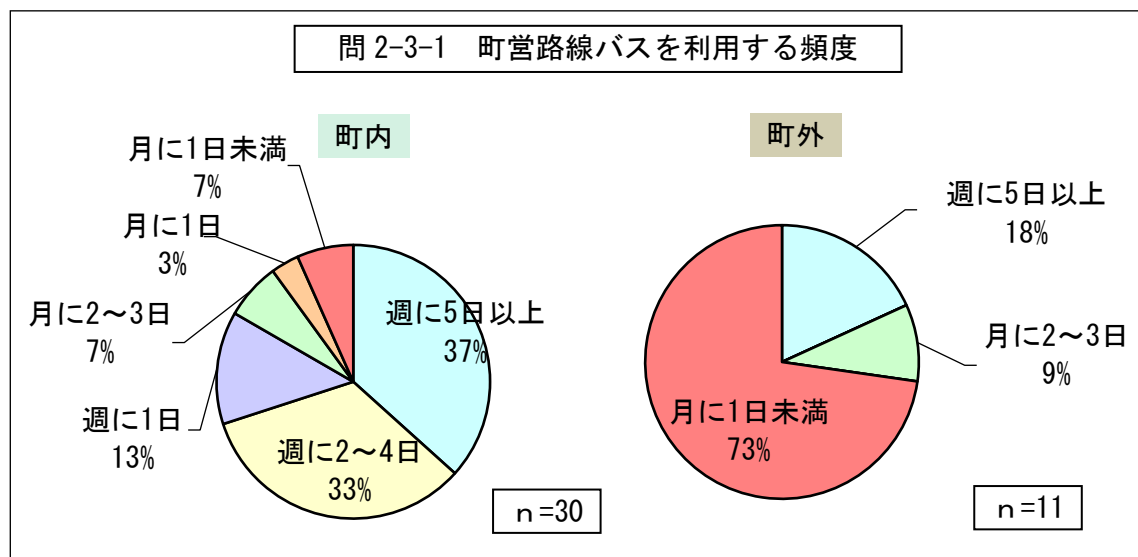


町内利用者は「持っていない」が9割を占めた。町外利用者は、「持っていない」が6割、「持っている」が4割となった。

問 2.町営路線バスの利用について



町内利用者は、「通学」が37%と最も多く、他は個人によりさまざまな目的が見られた。町外利用者は、「観光」が46%と最も多く、「その他」が27%を占める中にも「お遍路・お寺巡り」といった回答が含まれていた。



町内利用者は、「週に5日以上」が37%と最も多く、次いで「週に2~4日」が33%を占めており、日常的な利用が多くを占めた。町外利用者にも、頻度が高い利用者が一定数見られた。

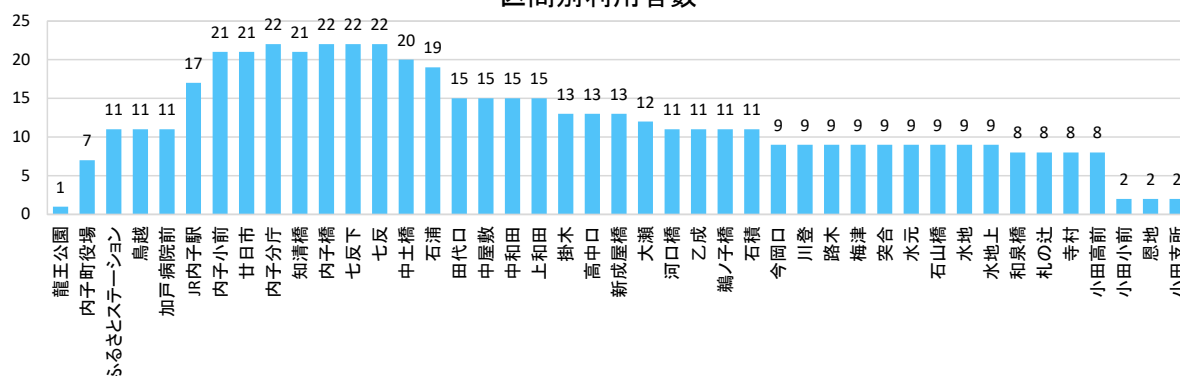
問 2-2 本日の乗車する停留所、降車する停留所

町内

乗車または降車した停留所	回答数
JR 内子駅	7
内子町役場、小田高前	6
ふるさとステーション、内子小前	5
七反、石浦、上和田	4
小田支所	3
石積、内子分庁	2
大瀬、新成屋橋、水地上、加戸病院前、鳥越、内子橋	1

(人)

区間別利用者数



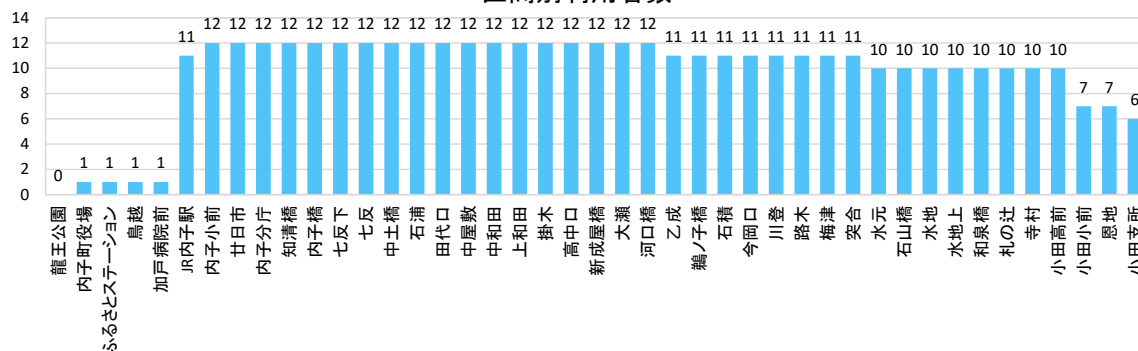
町内利用者は、「内子町役場～小田高前」に多く、途中のさまざまな停留所での乗降が見られた。

町外

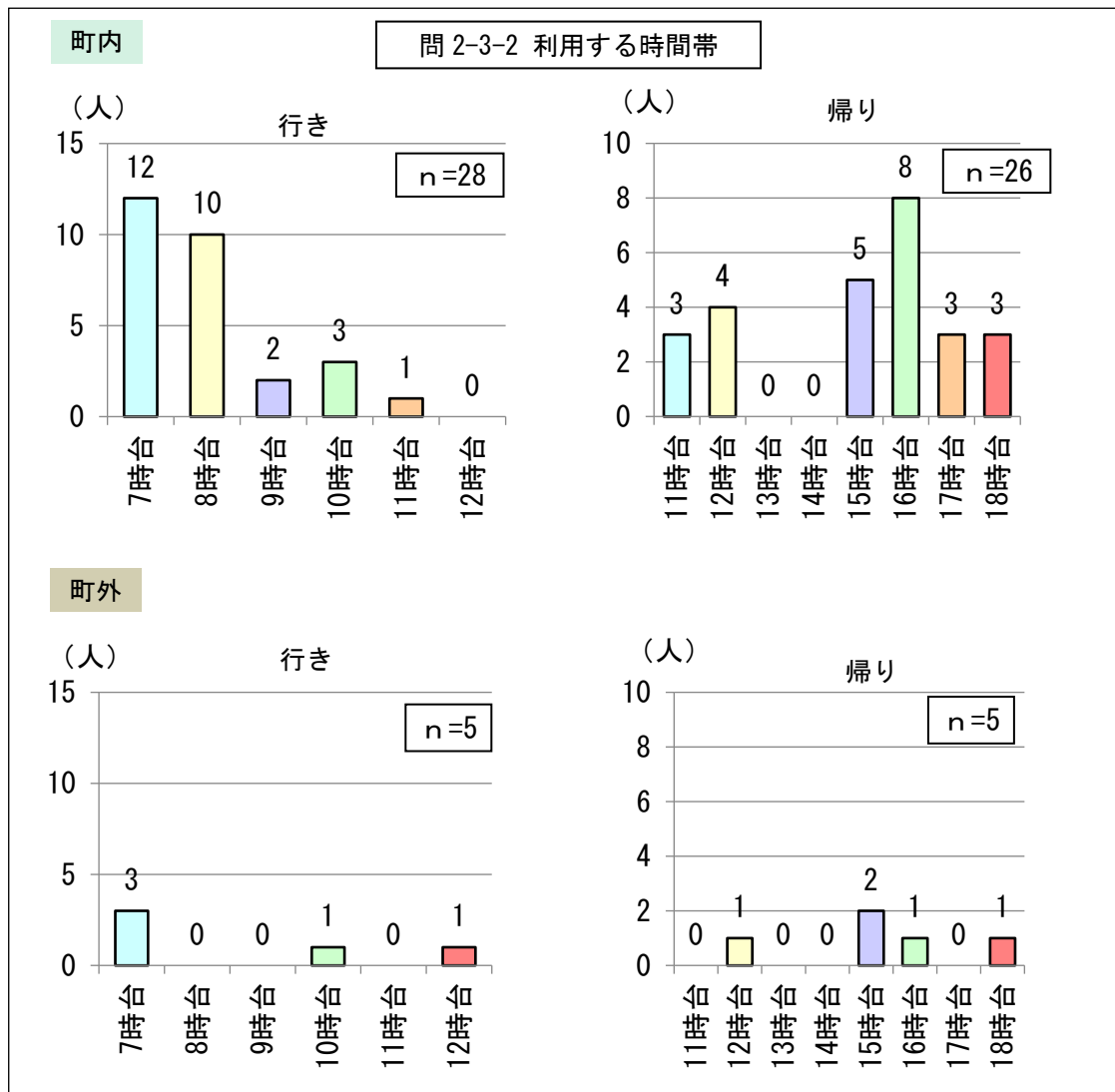
乗車または降車した停留所	回答数
JR 内子駅	10
小田支所	6
小田高前	3
大瀬	2
内子町役場、内子小前、上和田、新成屋橋、恩地、河口橋、掛木、突合	1

(人)

区間別利用者数

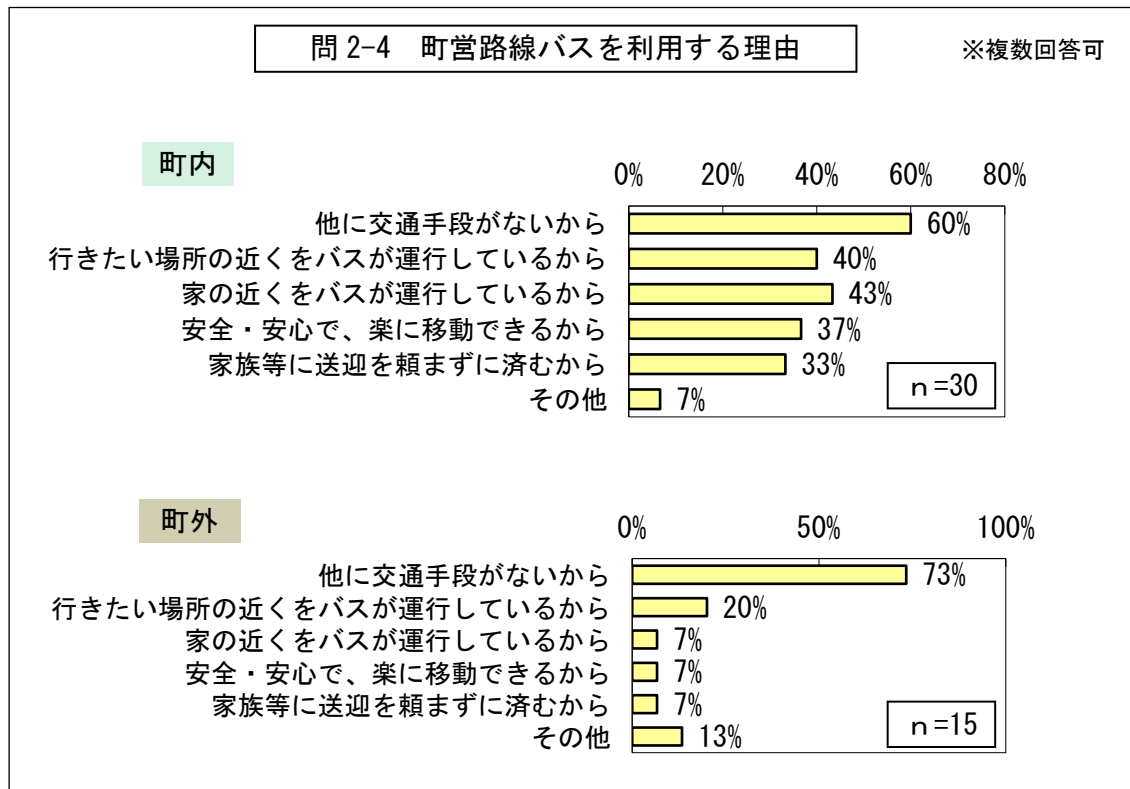


町外利用者は、「JR 内子駅～小田支所」に多く、途中の乗降はあまり見られなかった。



町内利用者は、行きでは「7時台」「8時台」が多く、帰りでは「11時台～12時台」または「15～16時台」が多かった。

町外利用者は、回答が少なかったものの、さまざまな時間帯の利用が見られた。



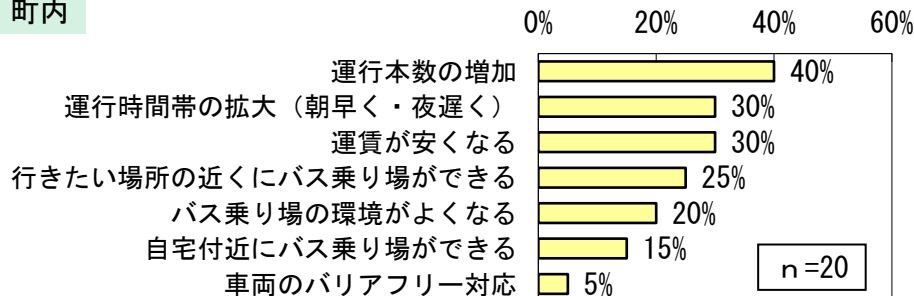
町内利用者、町外利用者とも「他に交通手段がないから」を挙げた人が最も多く、貴重な移動手段となっていることがうかがえる。

町内利用者は、自宅の近くを通ることや、行きたい場所の近くに行けることを挙げた人も多く見られた。

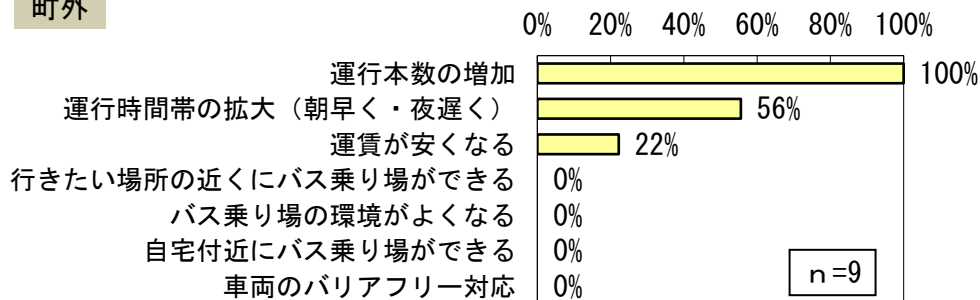
問 3-1 町営路線バスについて、改善すべきだと思うこと

※3 つまで回答可

町内



町外



行きたい場所（自由記述）

- ・中学校の近く（山本鮮魚前など）
- ・五十崎の町営体育館

町内利用者からは、「運行本数の増加」「運行時間帯の拡大」「運賃が安くなる」等、さまざまな改善点が挙げられた。

町外利用者からは、「運行本数の増加」が特に挙げられた。

町営路線バスを利用して行きたい場所についての自由記述では、具体的な回答は 2 件のみであった。

問 3-2 その他、町営路線バスへの要望等

(要望)

- ・停留所に時計と雨宿りする場所がほしい。(2 件)
- ・来年から中学生だが、登校時間に間に合わないため時間を早めるか自転車購入の補助がほしい。
- ・44 番札所(久万高原町)まで路線延長してほしい。
- ・挨拶を返してほしい。
- ・地元の人間ではないので土地勘がなく、アナウンスがないと難しい。

(要望以外)

- ・町営路線バスがないと職場に行けないため、ありがたい。
- ・とても便利でありがたい。
- ・現状を続けてほしい。
- ・特に要望はない(4 件)

特に要望がないという意見があった一方で、具体的な要望としては停留所の待ち合い環境の改善や、学校スケジュールに合わせた運行等が挙げられ、町外客からは路線の延伸や、車内案内等のサービスに関する要望が見られた。

■町営路線バス利用者アンケート まとめ・考察**問 1.あなたご自身について**

- ・路線バスの乗客 47 人から回答が得られ、33%が町外・県外からの利用客であった。
- ・利用者層は、町内は学生及び 80 歳以上の免許を持たない高齢者、町外は 40 歳代～60 歳代の観光客が多かった。

問 2.町営路線バスの利用について

- ・町内は内子高校小田分校等への通学が多く、その他に通院、仕事等のさまざまな用事に利用されており、町外は観光・お遍路の移動手段としての利用が多かった。
- ・乗降は JR 内子駅、小田高前、内子町役場、小田支所が特に多く、JR 内子駅～小田高前までの長い区間にかけて一定の利用があった。また、途中の停留所での乗降も見られたことから、沿線の広範囲の住民に利用されていることがうかがえる。
- ・利用頻度は、週 5 日や週 2～4 日の日常的な利用者が半数以上となった。時間帯は、7 時台～8 時台に出掛け、昼または夕方に帰る行動パターンが多かった。
- ・利用する理由として、運転免許を持っていないなど他に交通手段がないことが多く挙げられており、運転が出来ない学生や高齢者、車以外で来訪した観光客にとって重要な移動手段となっている。

問 3.町営路線バスの改善点について

- ・運行本数の増加や、運行時間帯の拡大を挙げる意見が多く、運行面での利便性向上が特に求められている。
- ・バス乗り場ができてほしい具体的な場所についての要望は少数であった。
- ・自由意見では現状への満足・感謝の声があった一方で、待合環境の改善や、町外客への案内の充実を求める声も見られた。

3. 町営デマンドバス 登録者アンケート

町営デマンドバスの利用者登録をしている人を対象に、利用目的や利用しない理由、改善・整備すべき事項、満足度等について調査するためのアンケート調査を行った。

■調査の概要

調査方法	郵送による配布・回収
配布数	300 世帯（各世帯 2 人まで回答可）
回収数	149 世帯（回収率 49.7%）、217 人より回答

■登録路線別の配布数

地域	登録路線名	登録者数	配布世帯数	地域別 配布世帯数
内子	石畳線	60	12	176
	河内・論田線	48	14	
	立山線	58	15	
	川中・宿茂線	33	8	
	村前線	161	30	
	程内線	64	14	
	長田・大久保線	198	33	
	北深線	123	24	
五十崎	重松・藤社線	175	32	49
	御祓・池田線	113	22	
	宿間・大久喜線	76	15	
	福岡・山鳥坂線	10	6	
小田	大平線	12	1	75
	南山線	15	1	
	参川線	140	35	
	田渡線	49	13	
	立石線	32	10	
	上成線	7	4	
	野村線	19	11	
合計		1,393	300	300

（配布数の算出方法）

- ・登録者のうち住所不明者及び介護施設入居者を除いた上で、同一住所の重複がある場合は代表者を抽出。
- ・抽出結果が 20 人未満となった路線は全数配布とし、それ以外は按分によって全体で 300 通となるよう調整した。

（配布先の抽出方法）

- ・町営デマンドバス登録者名簿から、無作為抽出を行った。

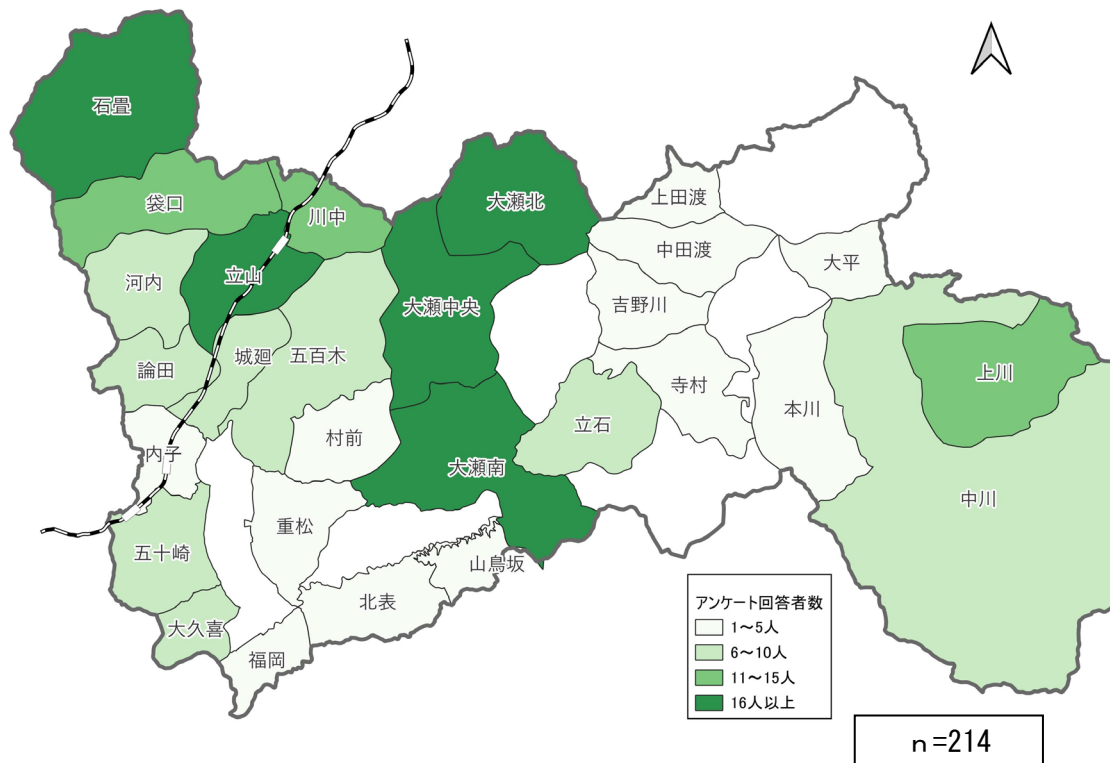
■設問内容

問 1.あなたご自身について	
問 1-1	住んでいる地区（郵便番号）
問 1-2	性別
問 1-3	年齢
問 2.町営デマンドバスの利用について	
問 2-1	町営デマンドバスの利用者登録をしたきっかけ
問 2-2	町営デマンドバスを利用したことがあるか
問 2-3	利用したことがある路線名
問 2-4	デマンドバスを利用する目的
問 2-5	利用しない理由
問 2-6	今後、町営デマンドバスを利用する機会が増える可能性があるか
問 2-7	どうなれば利用する機会が増えるか
問 2-8	町営デマンドバスの利用促進に向けて、重要だと思うこと
問 3.重要度、満足度について	
問 3-1	運行している曜日
問 3-2	運賃の安さ
問 3-3	予約のしやすさ
問 3-4	自宅から乗り場までの距離
問 3-5	降車地から目的地までの距離
問 4.住民助け合い輸送について 【条件 1】 / 【条件 2】	
問 4-1, 5	このような送迎サービスを利用したいと思うか
問 4-2, 6	1 ヶ月あたり何回程度利用するか
問 4-3, 7	どのような外出目的の時に、利用すると思うか
問 4-4, 8	運賃や希望時間とのずれ以外で、このようなサービスを利用したくない理由
問 5.自由意見	

問 1.あなたご自身について

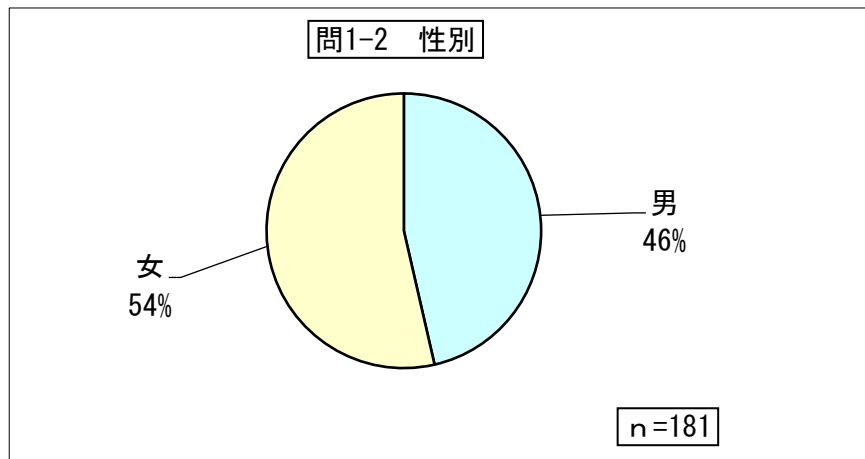
(1) 住んでいる地区

町営デマンドバスの登録者数を基にしつつ、偏りが出来るだけ小さくなるよう配布数を設定してアンケート調査票を配布した結果、町内の広範囲から回答が得られた。

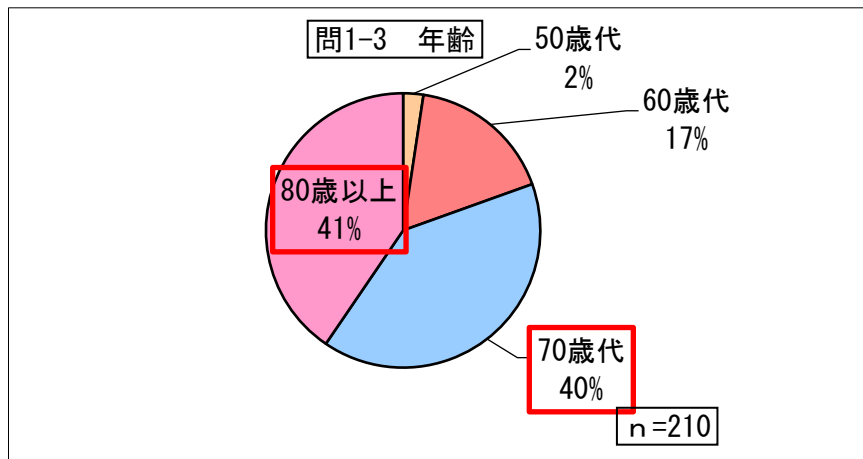


地域名	回答者数
大瀬中央	18
立山、大瀬南	17
大瀬北、石畳	16
袋口	15
上川	13
川中	11
五百木	10
中川、河内	9

地域名	回答者数
立石、大久喜	8
論田	7
城廻、五十崎	6
重松	4
村前、上田渡、本川、町外(大洲市)	3
大平、吉野川、中田渡、北表	2
寺村、福岡、山鳥坂、内子	1

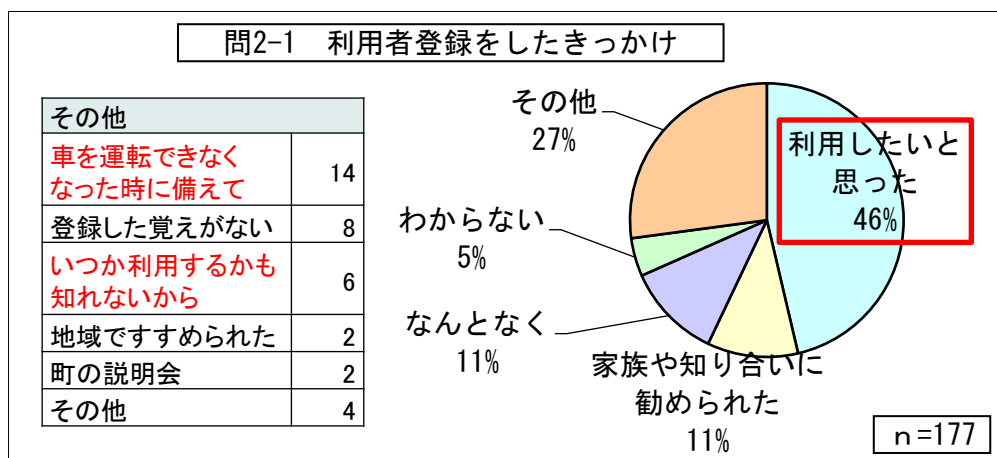


「女性」が54%、「男性」が46%で、女性がやや多かった。



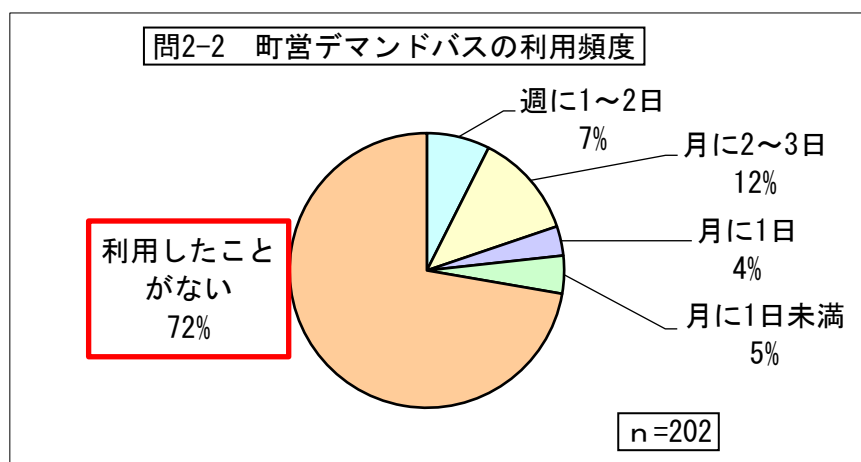
「80歳以上」が41%で最も多く、次いで「70歳代」が40%となっており、高齢者が大部分を占めた。40歳代以下はいなかった。

問 2.町営デマンドバスの利用について



「利用したいと思った」が46%で最も多かった。また、「その他」の中には将来的に利用することを想定している回答が多かった。

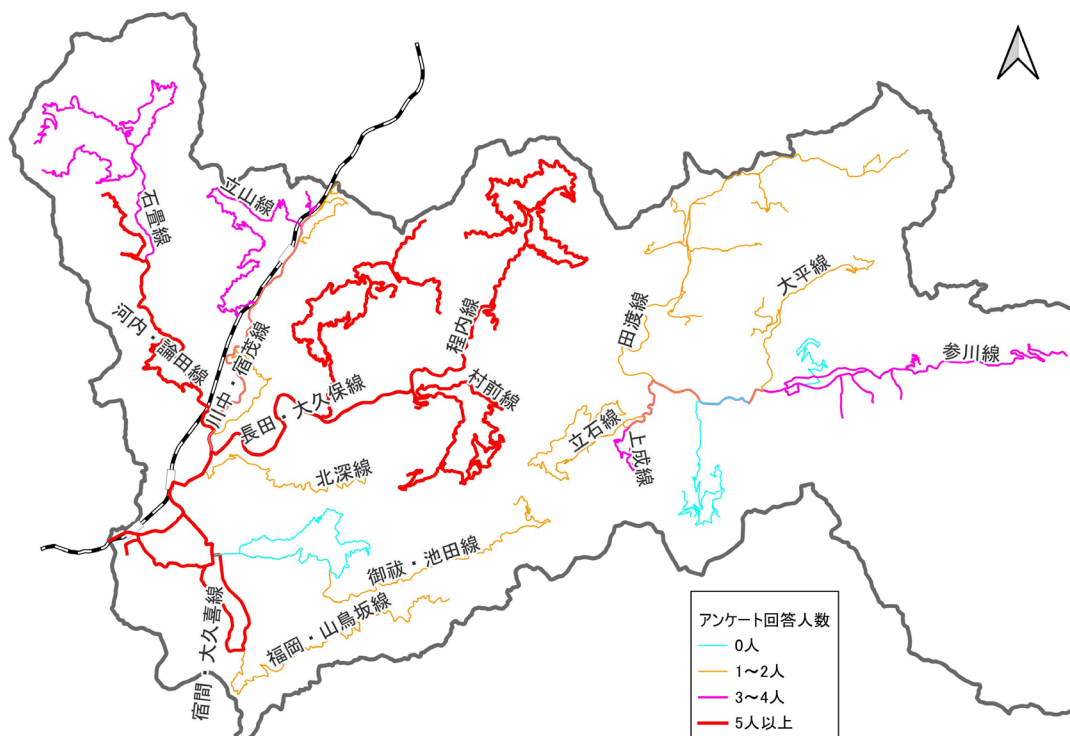
一方で、消極的理由や、登録した認識がないという答えも一定数あった。



「利用したことがない」が72%で大部分を占めており、登録後に利用していない場合が多い状況がうかがえる。

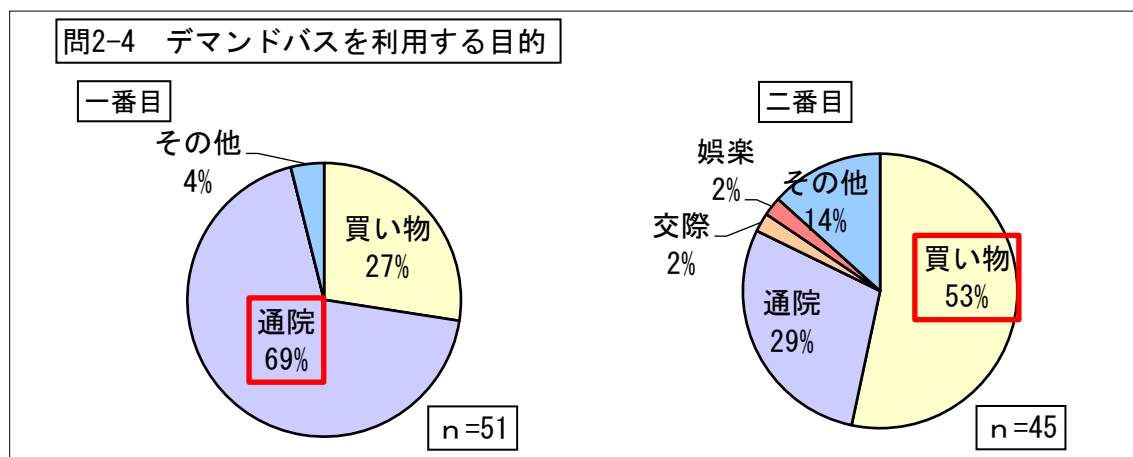
問 2.町営デマンドバスの利用について

問 2-3 利用したことのある路線名			n=55		
地域	路線名	人数	地域	路線名	人数
内子 計 35 名	石畳線	4	五十崎 計 8 名	御祓・池田線	2
	河内・論田線	8		宿間・大久喜線	5
	立山線	3		福岡・山鳥坂線	1
	川中・宿茂線	1	小田 計 12 名	大平線	1
	村前線	7		参川線	4
	程内線	5		田渡線	2
	長田・大久保線	5		立石線	2
	北深線	2		上成線	3

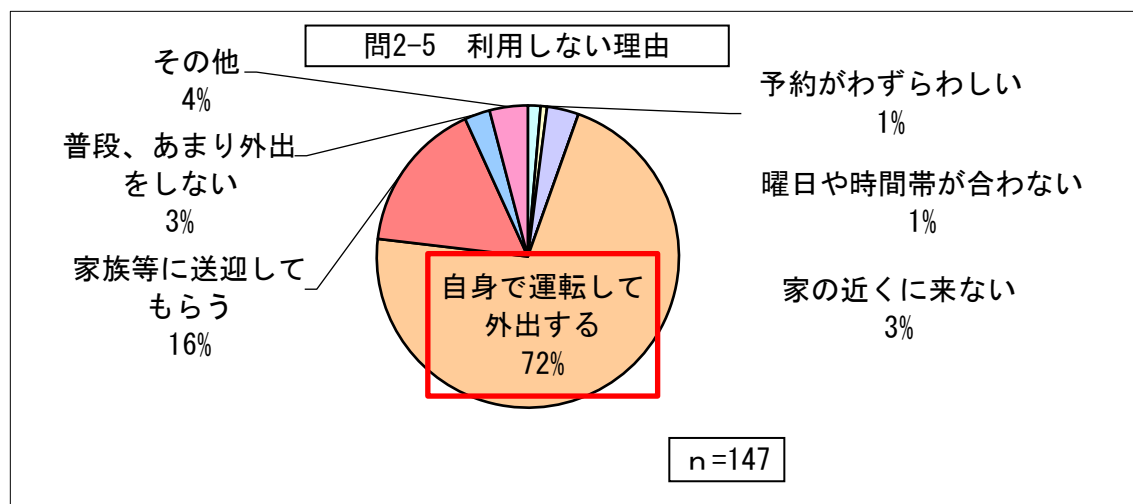


河内・論田線が 8 人で最も多く、次いで村前線が 7 人だった。

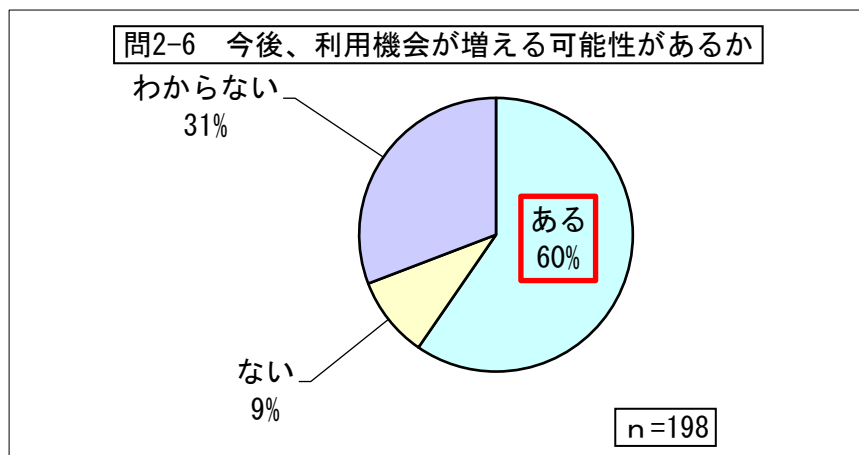
3 地域の中では内子地域が 35 人で最も多く、五十崎地域は 8 人、小田地域は 12 人から路線名の回答があった。



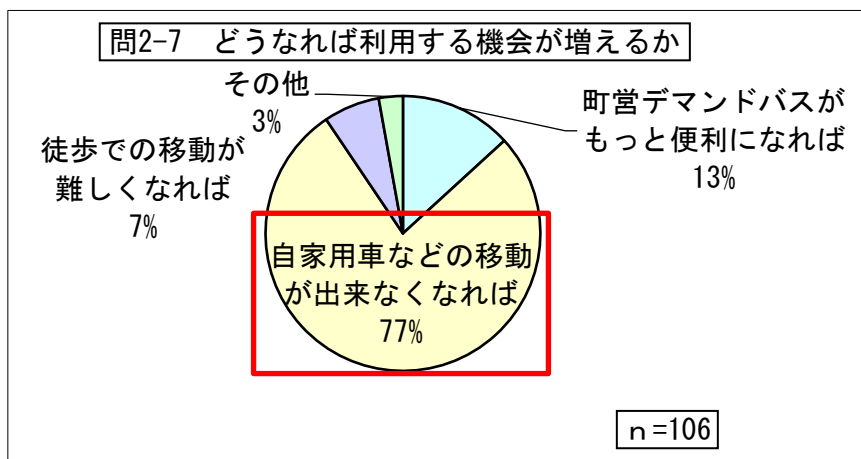
一番目の目的として「通院」、二番目の目的として「買い物」が多くなっており、利用目的としてこの2つが大部分を占めている。



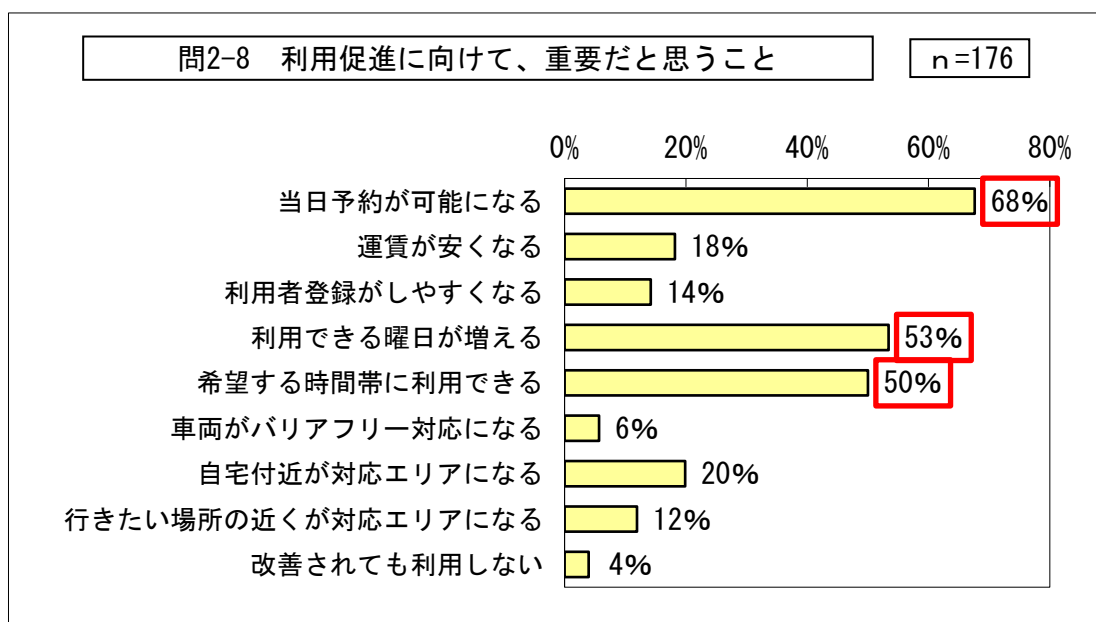
自身で運転する人が72%で大部分を占めている他、家族等に送迎してもらう人が16%となっており、現時点で外出の手段に困っていない場合が多いことがうかがえる。



今後、利用機会が増える可能性が「ある」と考える人が60%で過半数を占めた。



「自家用車などの移動が出来なくなれば」が77%で大部分を占め、「町営デマンドバスがもっと便利になれば」は13%であった。



「当日予約が可能になる」が68%で最も多く、次いで「利用できる曜日が増える」が53%、「希望する時間帯に利用できる」が50%となった。

予約のしやすさや、利用したい曜日・時間帯に利用できることが利用促進に向けて重要であると考えられる。

問 3.重要度・満足度

問 3 5つの項目について、重要度と満足度を評価

n=144

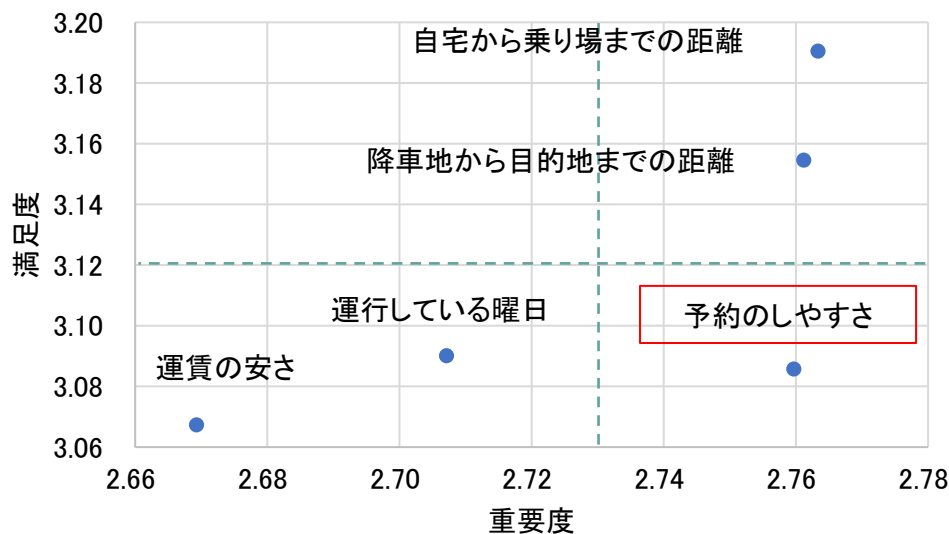
項目	重要度	満足度
運行している曜日	2.71	3.09
運賃の安さ	2.67	3.07
予約のしやすさ	2.76	3.09
自宅から乗り場までの距離	2.76	3.15
降車地から目的地までの距離	2.76	3.19
平均値	2.73	3.12

重要度： 以下の評価点の加重平均値

とても重要（4点） やや重要（3点） あまり重要でない（2点） 重要でない（1点）

満足度： 以下の評価点の加重平均値

満足（4点） やや満足（3点） やや不満（2点） 不満（1点）



ドアツードアの輸送のため、「自宅から乗り場までの距離」や「降車地から目的地までの距離」は、重要度・満足度とも相対的に高くなった。

一方、「予約のしやすさ」は、重要度がやや高い中で、満足度が低い結果となった。前日までの予約が必要であることが要因と考えられ、5項目の中では最も改善が必要といえる。

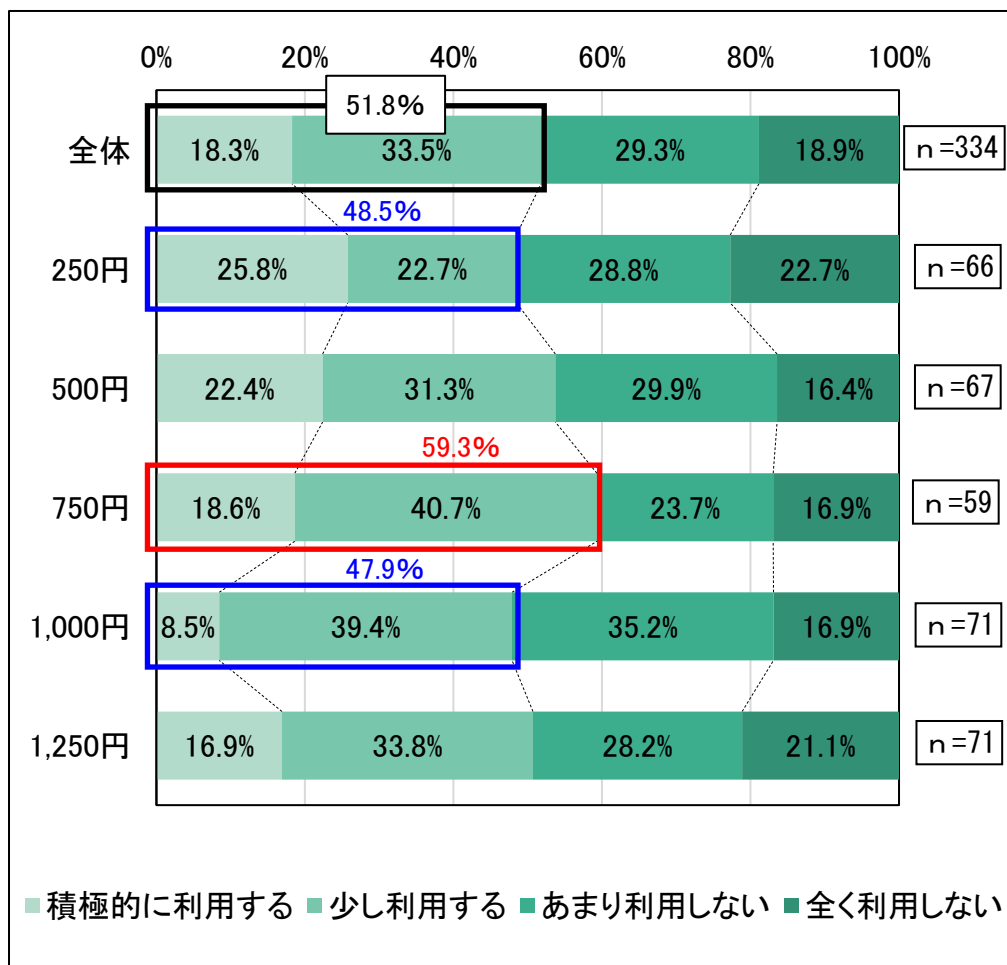
問 4.住民助け合い輸送について

問 4-1, 問 4-5 このような送迎サービスを利用したいと思うか

※1 名につき、【条件 1】・【条件 2】の 2 通りを回答

※集計値は 2 条件のサンプルをあわせて算出

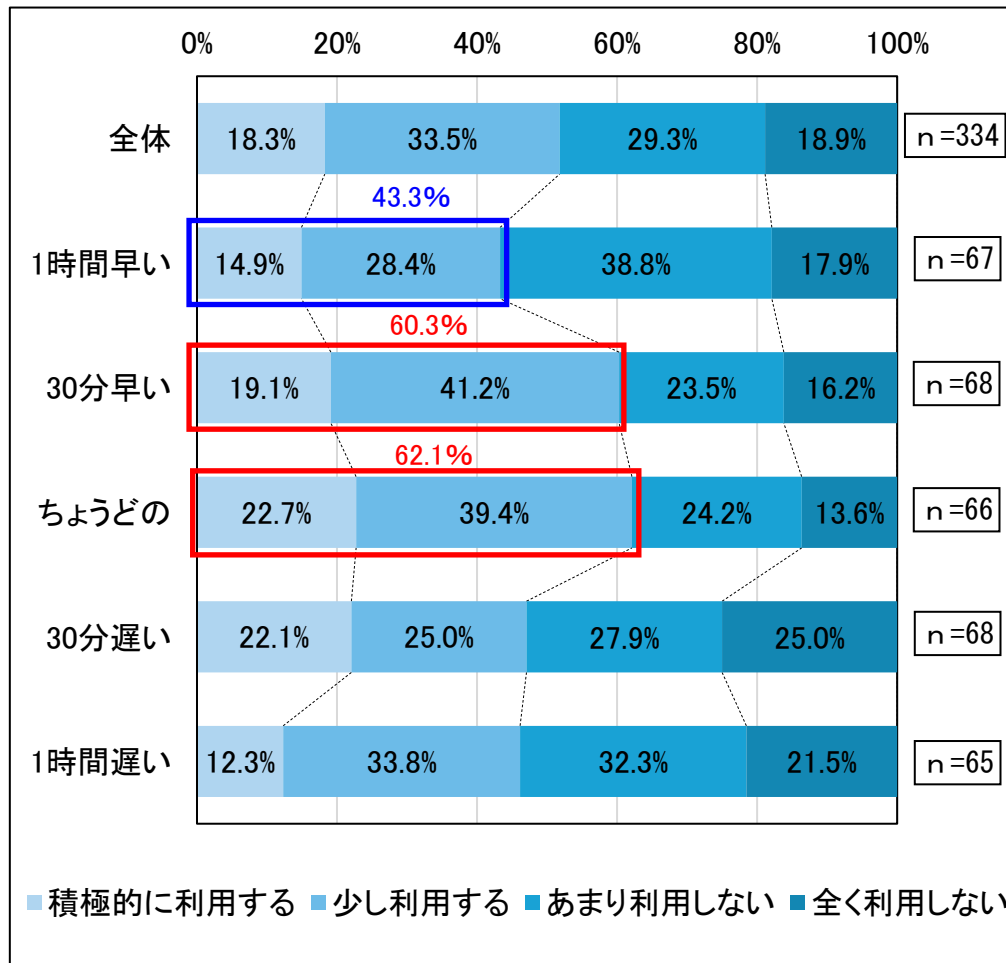
■運賃



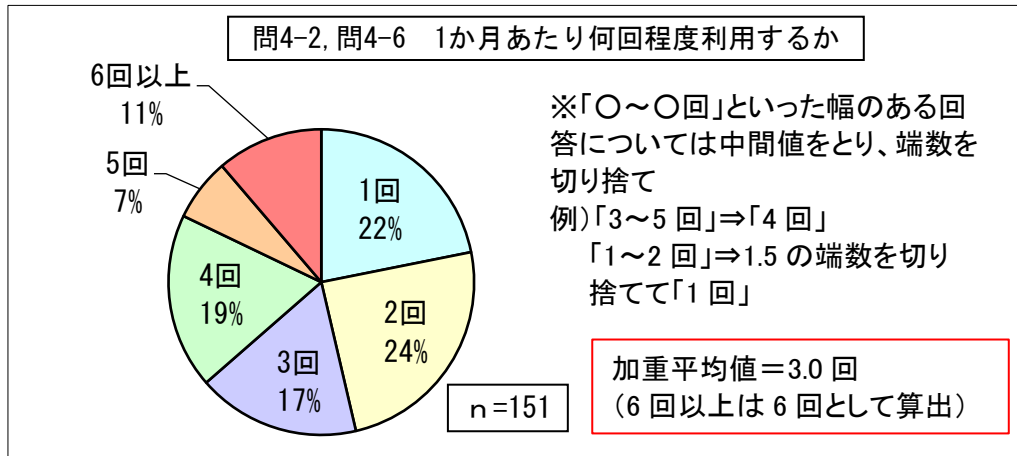
「積極的に利用する」「少し利用する」の合計値は、全体では 51.8% となった。

運賃別にみると、「750 円」の場合に 59.3% で最も高く、「1,000 円」の場合に 47.9%、「250 円」の場合に 48.5% で低くなっていることから、運賃の安さが直接的に利用促進と連動しない可能性が示された。

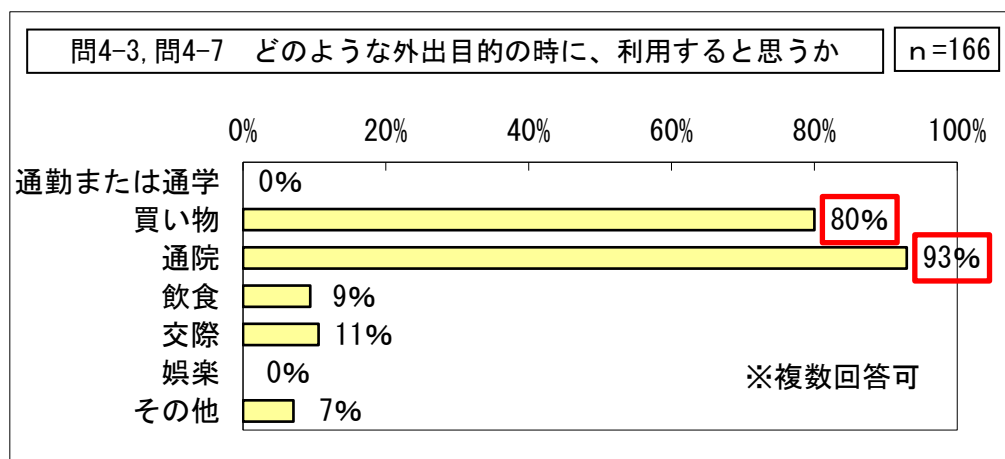
■希望時間とのズレ



「積極的に利用する」「少し利用する」の合計値は、「ちょうど」場合に 62.1%で最も高く、次いで「30分早い」場合に 60.3%であった。「1時間早い」場合には 43.3%で最も低くなっており、希望時間ちょうど、または少し早い程度が受け入れられやすく、早すぎる場合や遅い場合には許容されにくい傾向が示された。

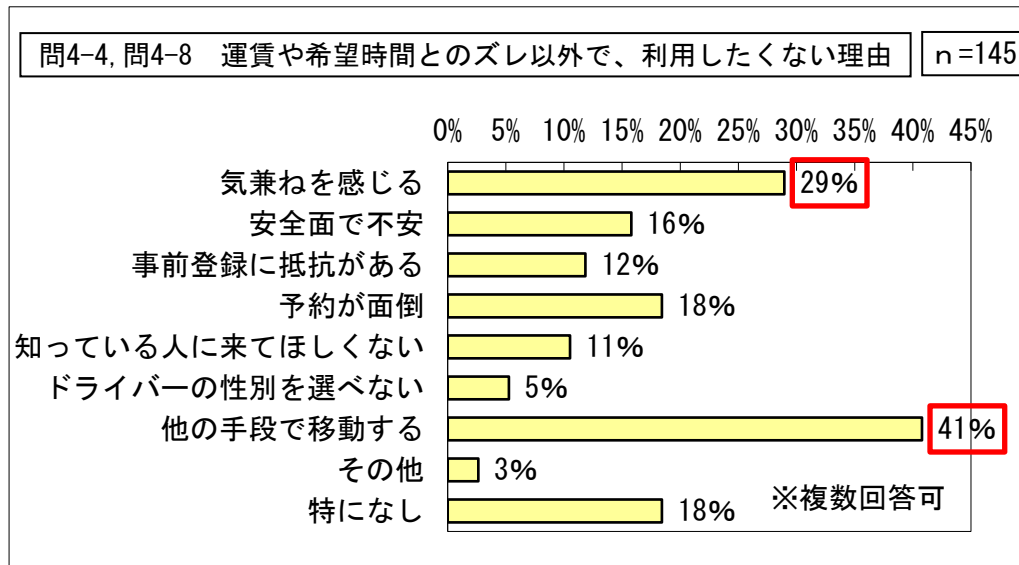


偏りがなく、個人ごとにさまざまな利用意向が示されたが、「1回」から「4回」までの合計が大部分を占めており、平均としては月3回程度の利用意向となった。



「通院」が93%、「買い物」が80%で大部分を占めた。

町営デマンドバスの利用目的（問2-4）とほぼ一致しており、町営デマンドバスの代替としての利用が想定される。



「他の手段で移動する」が41%で最も多く、次いで「気兼ねを感じる」が29%であった。
 ※「他の手段」の具体の回答：自身の運転(17人) 家族の運転(8人) その他(2人)

問 5.自由意見（要旨による分類）

n=57

要旨	回答数
運転が出来なくなったら利用する、存続させてほしい	25
自分で運転できるので利用しない	6
現在利用しており、これからも利用したい	3
もっと遠くまで行ってほしい	3
もっと遅い時間に利用したい	2
地元住民が運転してはどうか	2
登録なしで利用できるようにしてほしい	2
ひとり暮らしの高齢者を送迎してほしい	2
1時間のズレは大きすぎる	2
登録路線以外も利用できるようにしてほしい	1
利用できる曜日を変えてほしい	1
バリアフリーに対応してほしい	1
行ける場所を増やしてほしい	1
循環バスを運行してほしい	1
道路までが遠いため利用できない	1
高齢のため外出しない	1
その他	3

将来的に運転が出来なくなった場合の利用意向や、公共交通の存続に関する希望、利便性向上への要望等の声が寄せられた。

町営デマンドバス登録者アンケート まとめ・考察**問 1.あなたご自身について**

- ・内子地域 146 人、五十崎地域 22 人、小田地域 43 人、その他 6 人の合計 217 人から回答が得られた。
- ・年齢層は、70 歳代以上の高齢者が大部分を占めた。

問 2.町営デマンドバスの利用について**問 3.重要度、満足度について**

- ・登録後、一度も利用していない人が 72%を占めており、その理由は「自身で運転して外出する」が 72%を占めていることから、現時点では移動に困っていない人が多いため、利用が進んでいないものと言える。
- ・しかし、今後は 60%が利用する機会が増える可能性があると答えており、その要因として大部分が「自家用車などの移動が出来なくなれば」と答えていることから、近い将来に運転が出来なくなった場合の移動手段について不安があり、公共交通の重要性が認識されているものと言える。
- ・利用促進に向けた改善点については、当日予約が可能になるなど予約のしやすさが重要であることが示された。

問 4.住民助け合い輸送について

- ・全体の 51.8%が「積極的に利用する」または「少し利用する」と回答し、1 ヶ月あたり平均 3 回程度の利用意向が示された。
- ・運賃については、750 円の場合に利用意向が高い結果となり、安さと利用促進が直接的に繋がらない可能性が示された。
- ・希望時間とのズレについては、ちょうどまたは 30 分早い程度が許容されやすく、1 時間ズレた場合に利用意向が低下する可能性が示された。
- ・利用したくない理由は、「自分または家族の車で移動するから」が最も多かったが、将来的に運転が出来なくなった場合には、利用者に転じる可能性もあると考えられる。それ以外の利用したくない理由では「気兼ねを感じる」がやや多かった。

問 5.自由意見

- ・ここでも、車の運転が出来なくなった後の不安や、公共交通の必要性に関する意見が多く寄せられた。

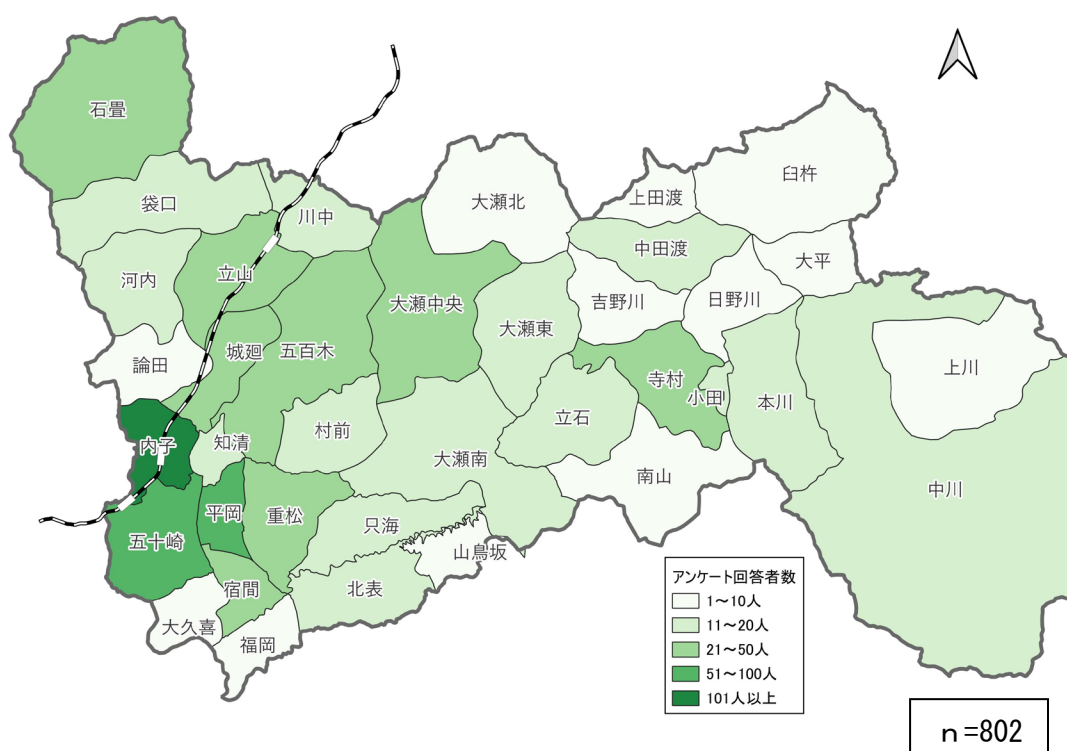
4. 地域交通に関する町民アンケート（70 歳代以上のみ抽出）

高齢になるにつれ、運動機能の低下や運転免許返納等により移動手段の確保が難しくなり、公共交通利用への依存度が高まることが考えられることから、その傾向を把握するため、町民アンケート回答者のうち 70 歳代以上のみを抽出して集計した。

（世帯票） あなたご自身について

（１）住んでいる地区

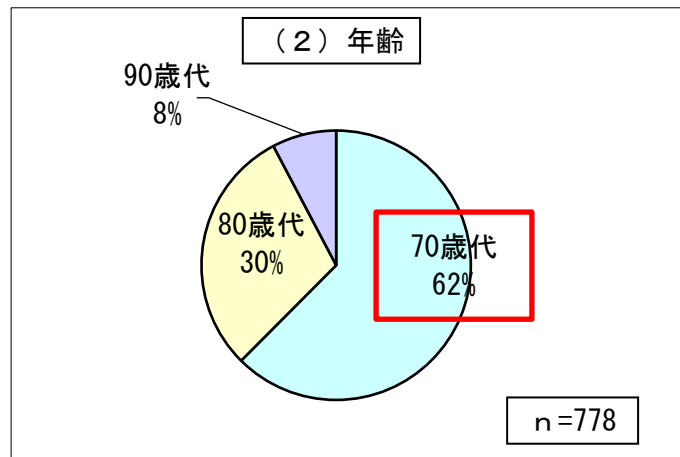
住んでいる地区については、全回答者で集計した場合とおおむね同様の傾向を示した。



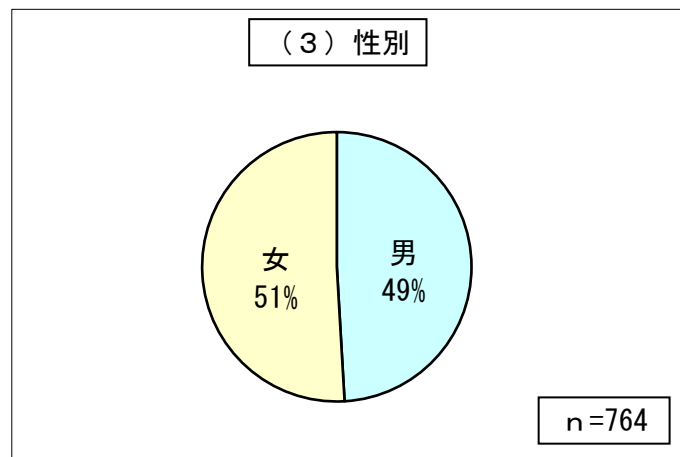
地区名	回答者数
内子	131
五十崎	75
平岡	74
城廻	49
大瀬中央	43
立山、寺村	30
五百木	25
石畳	24
重松	22
宿間	21

地区名	回答者数
知清、只海	20
小田	18
本川	17
川中、北表	15
大瀬南、立石	14
袋口、河内、中川	13
大瀬東、中田渡	12
村前	11
大瀬北、南山、吉野川	10
その他	41

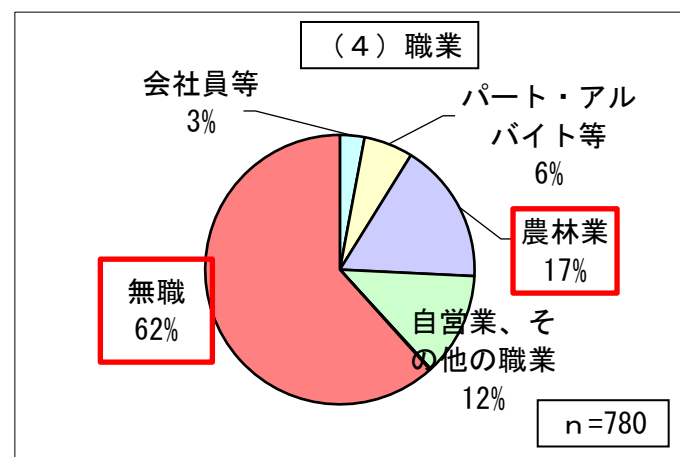
※世帯票記入者のうち、個人票の回答者を対象に集計



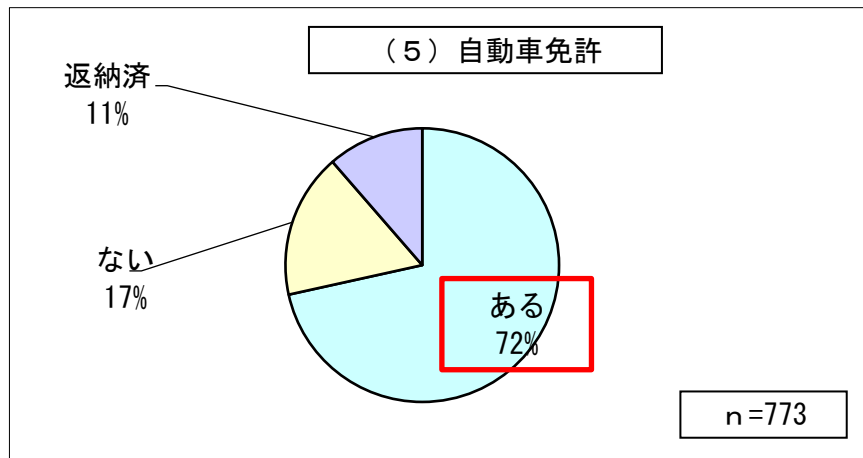
「70 歳代」が 6 割以上を占めた。



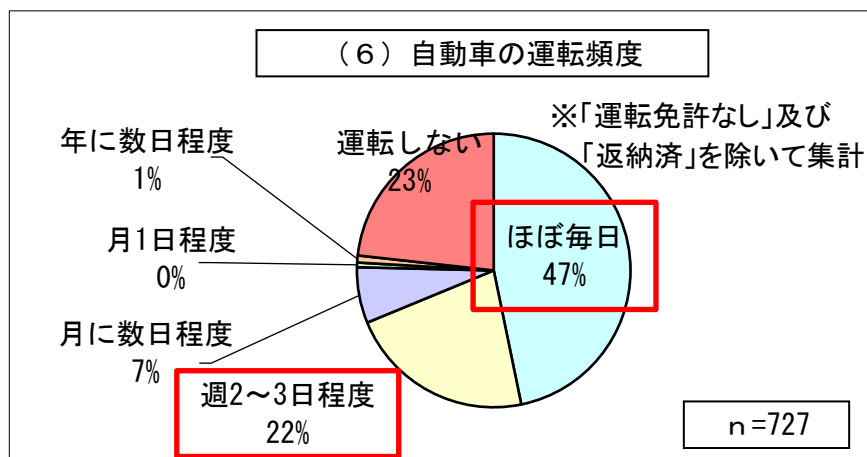
「男性」、「女性」がほぼ同数ずつとなった。



「無職」が 62%で最も多く、次いで「農林業」が 17%を占めた。

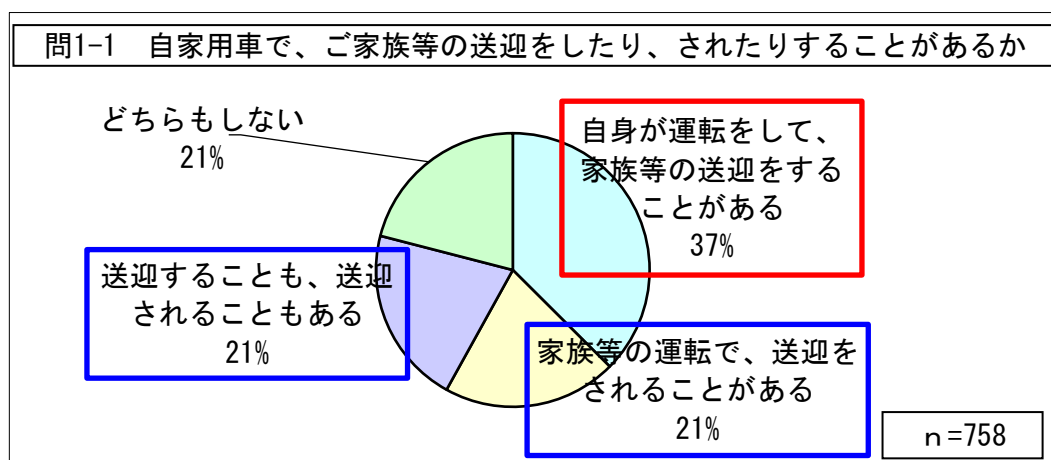


自動車運転免許を持っている人が 72%を占め、免許を返納済の人が 11%（全体集計は 4%）を占めた。

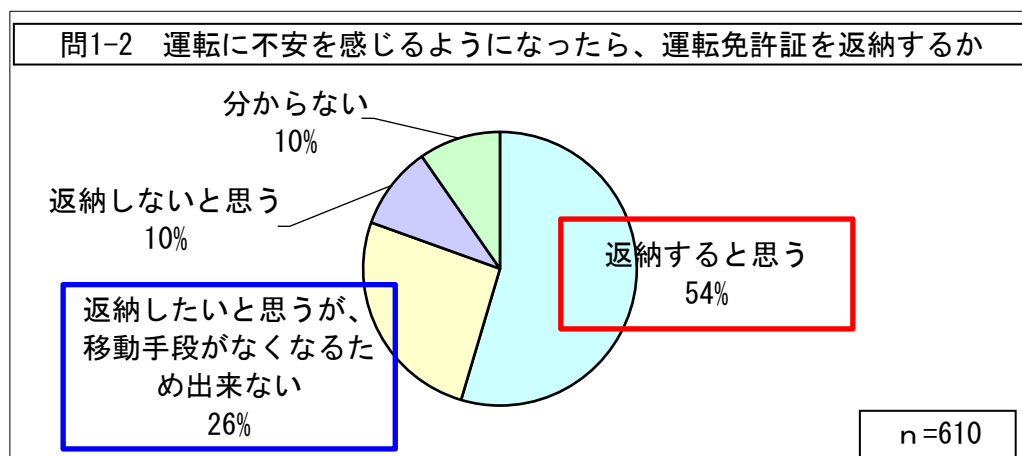


ほぼ毎日運転をする人が 47%を占めた。「週 2～3 日程度」と合計すると、免許を持っている人の 69%（全体集計は 77%）が日常的に自動車を運転している。

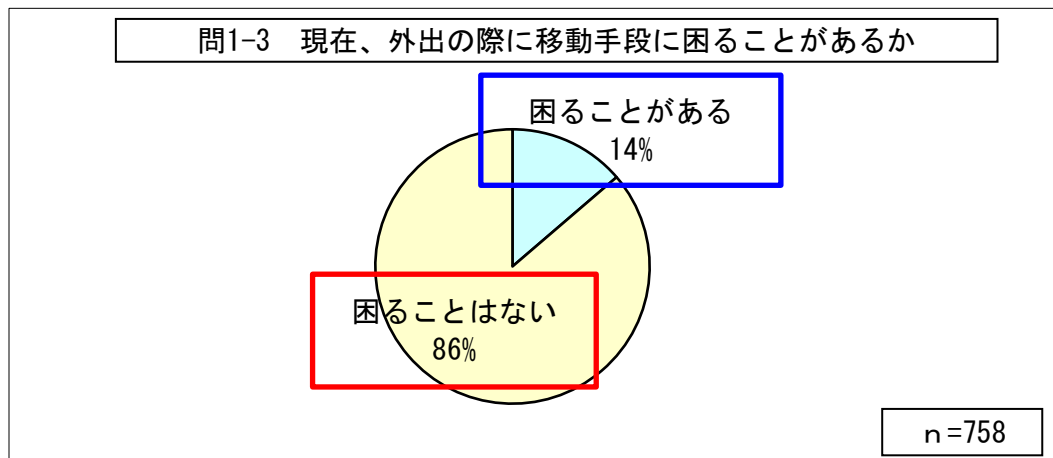
問 1. 自家用車による移動や運転免許について



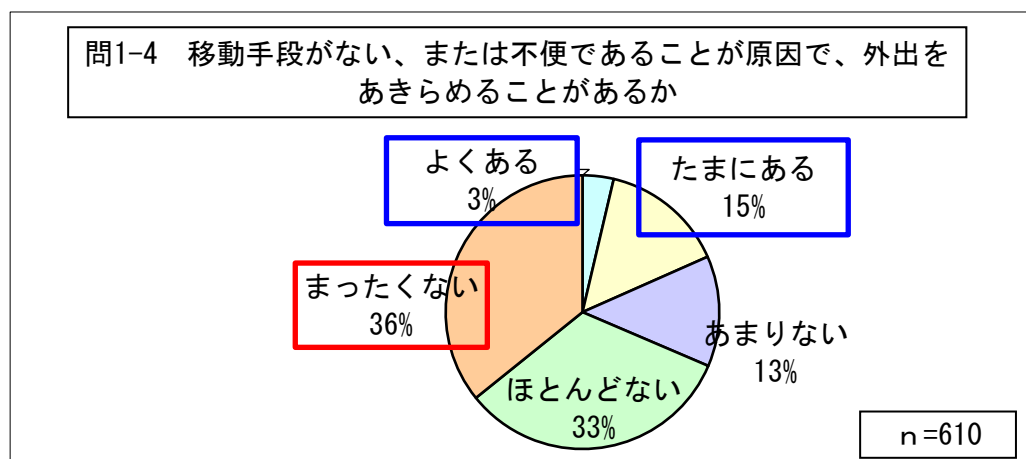
「家族等の送迎をすることがある」が37%で最も多く、送迎される場合を含めると自家用車による便乗に関わっている人が79%（全体集計は82%）を占めた。



運転免許証の返納を考える人が54%（全体集計は47%）で最も多かった。一方で、返納意思があるものの移動手段がなくなるため出来ないとの回答が26%を占めた。

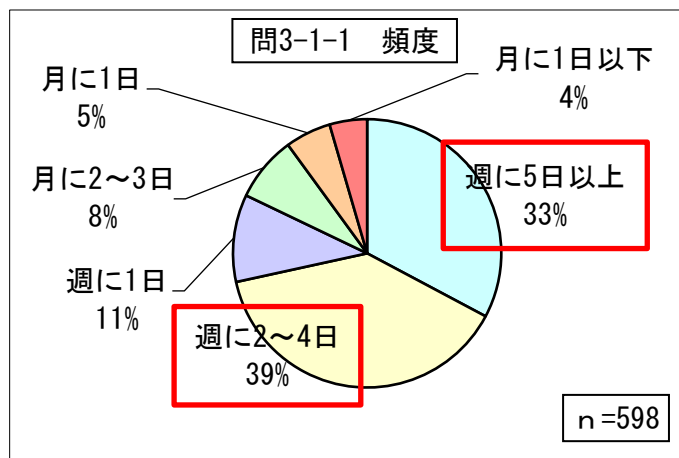


「困ることはない」が86%で大部分を占めたが、一方で、「困ることがある」という回答が14%（全体集計は10%）あった。

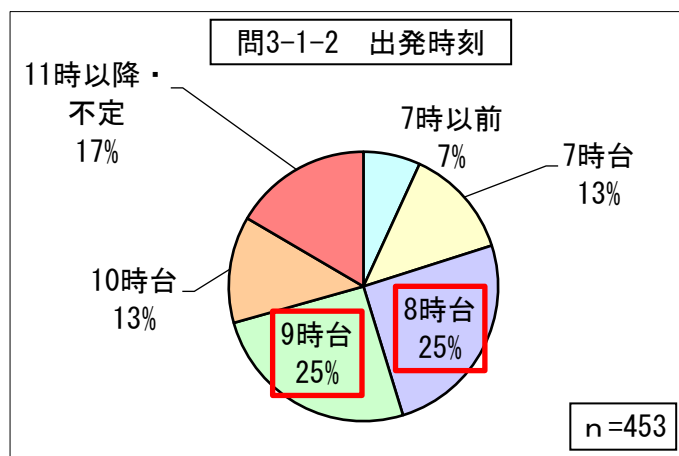


「まったくない」が36%で最も多かったが、一方で、「よくある」「たまにある」という回答が合計で18%（全体集計は13%）あった。

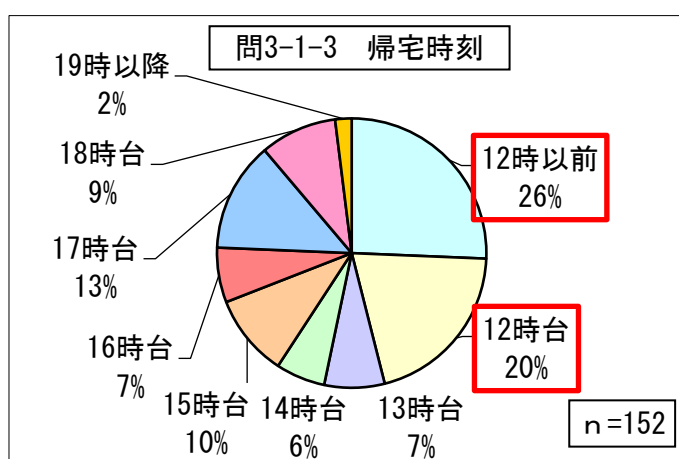
問 3.外出行動について（一番多いパターン、お勤めの方は仕事の日）



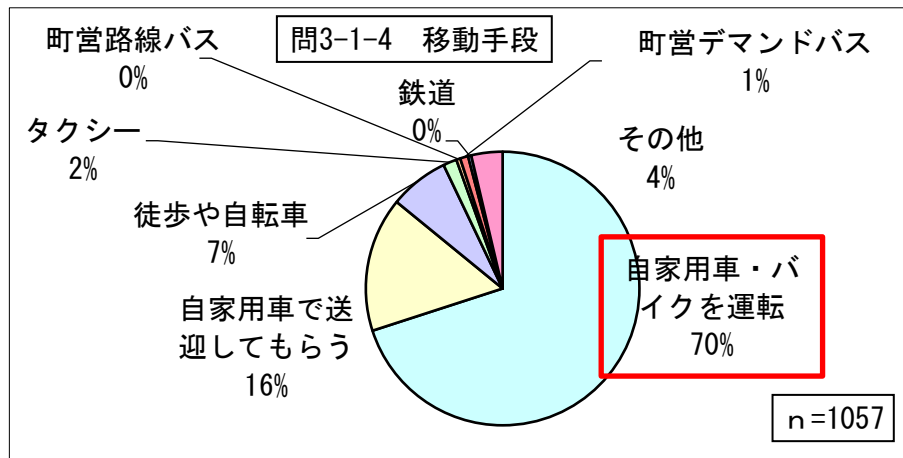
「週に 2～4 日」が 39% で最も多く、次いで「週に 5 日以上」が 33%を占めた。



「8 時台」及び「9 時台」がともに 25%で最も多く、合わせて 5 割を占めた。

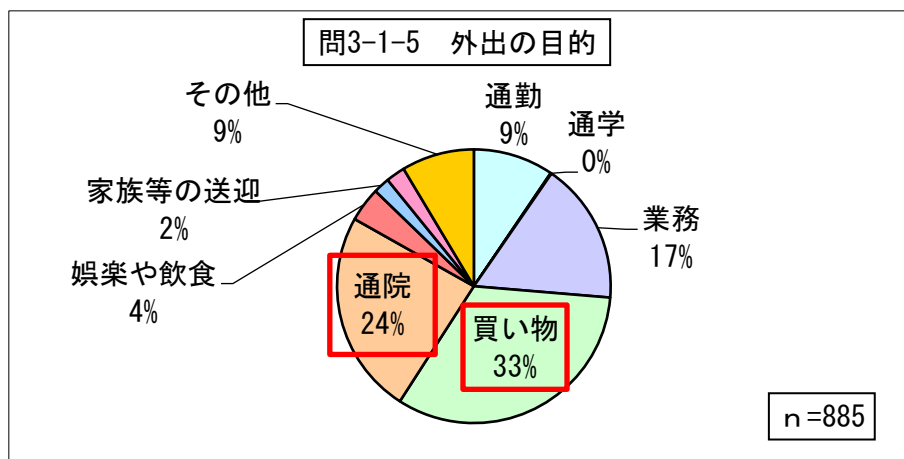


「12 時以前」が 26%で最も多く、次いで「12 時台」が 20%となり、昼頃までの帰宅が 46%を占めた他、さまざまな時間帯に分散する傾向が見られた。



「自家用車・バイクを運転」が70%（全体集計は79%）で大部分を占めており、公共交通の利用は少なかった。

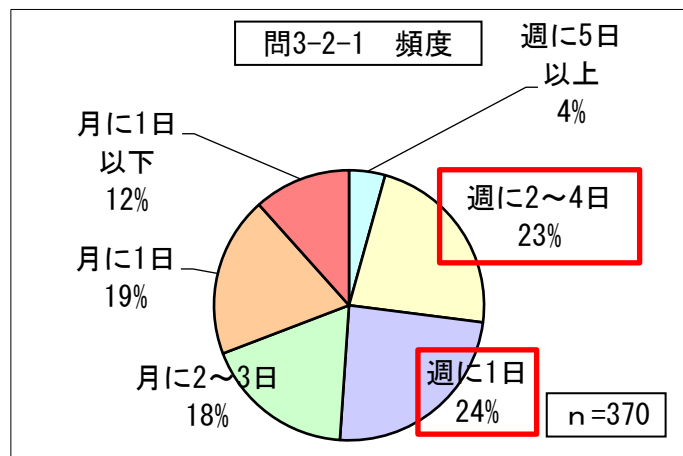
※ n は総トリップ数



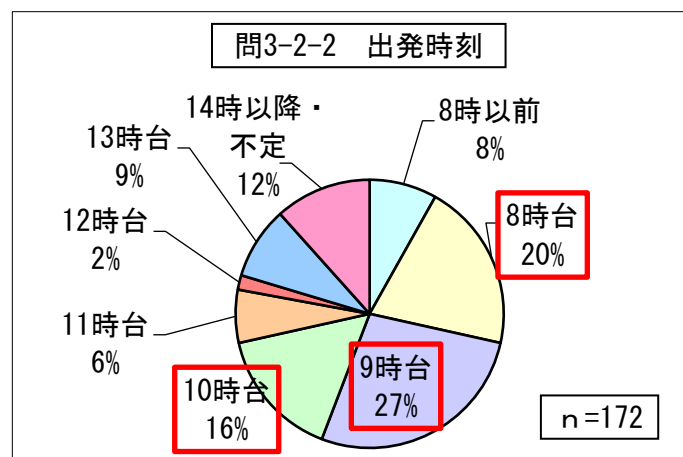
「買い物」が33%で最も多く、次いで「通院」が24%を占めた。

※ n は総トリップ数

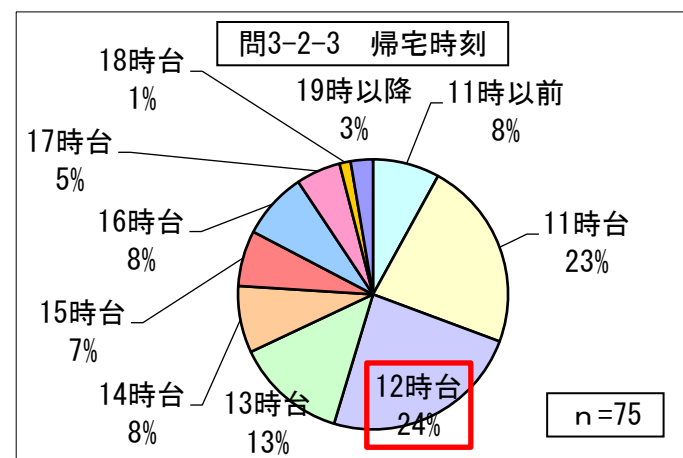
問 3.外出行動について（二番目に多いパターン、お勤めの方は休みの日）



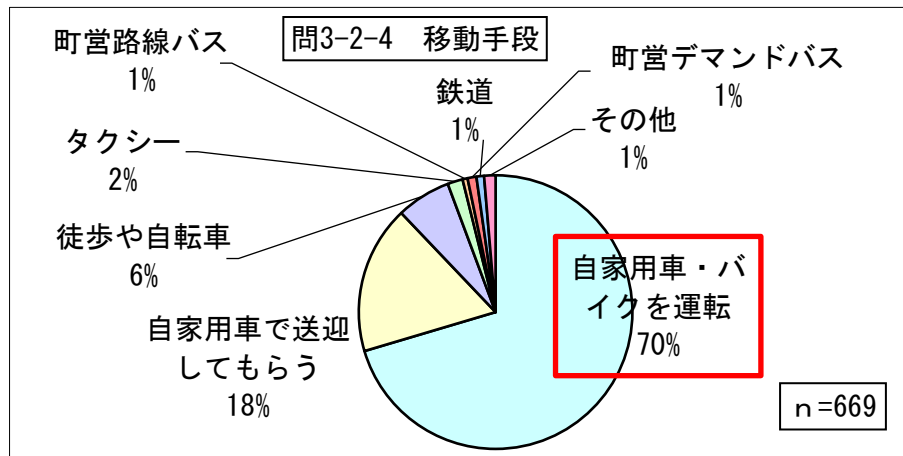
「週に1日」が24%で最も多く、次いで「週に2~4日」が23%を占めた。



「9時台」が27%で最も多く、次いで「8時台」が20%、「10時台」が16%となり、8時台~10時台の合計で63%を占めた。

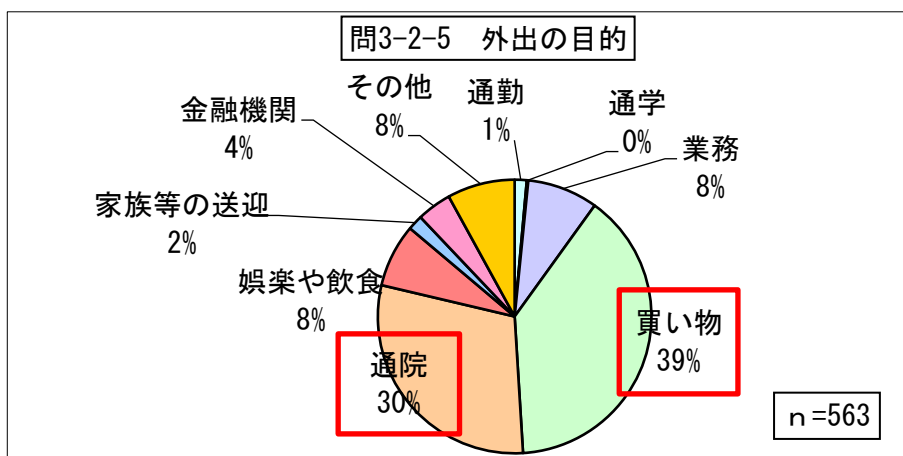


「12時台」が24%で最も多く、昼頃までの帰宅で55%を占めた他、さまざまな時間帯に分散する傾向が見られた。



「自家用車・バイクを運転」が70%で大部分を占めており、公共交通の利用は少なかった。

※ n は総トリップ数



「買い物」が39%で最も多く、次いで「通院」が30%を占めた。

※ n は総トリップ数

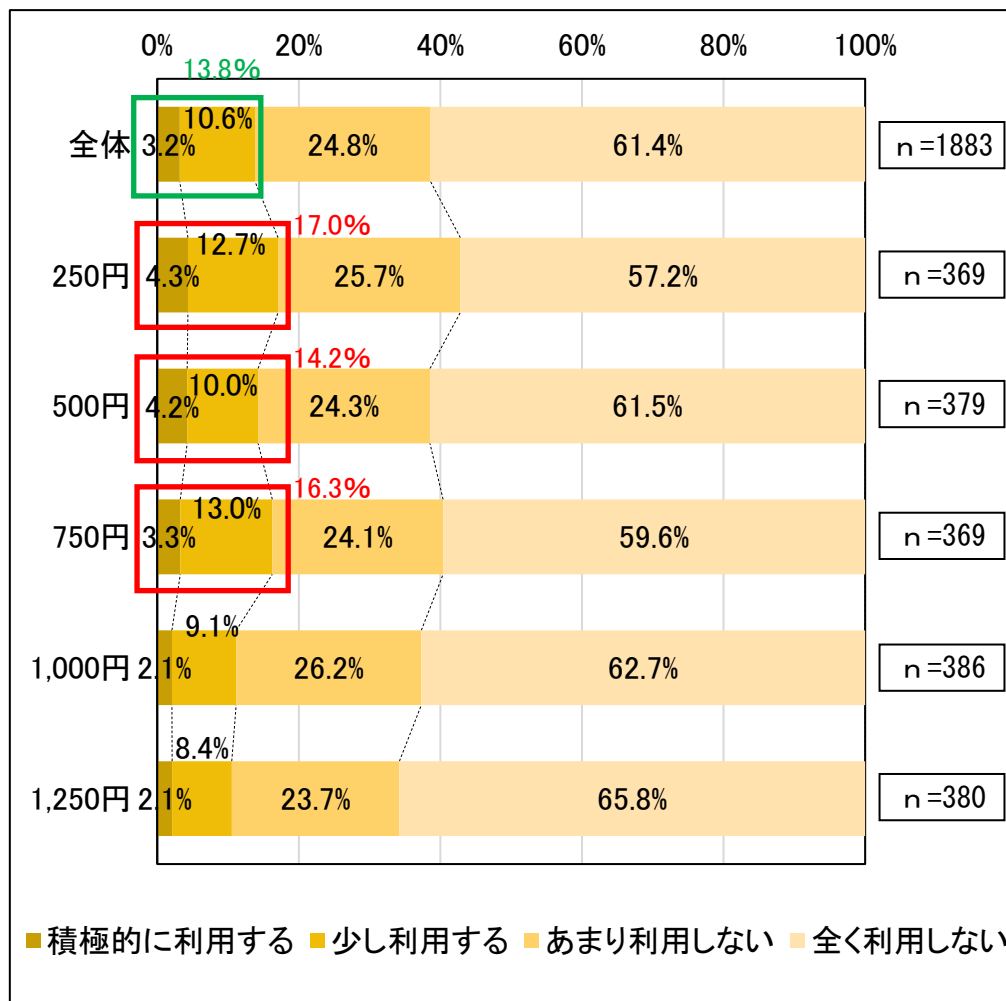
問 6.助け合い輸送について（利用者として）

問 6-1 このような送迎サービスを利用したいと思うか

※1 名につき、【条件 1】～【条件 3】の 3 通りを回答

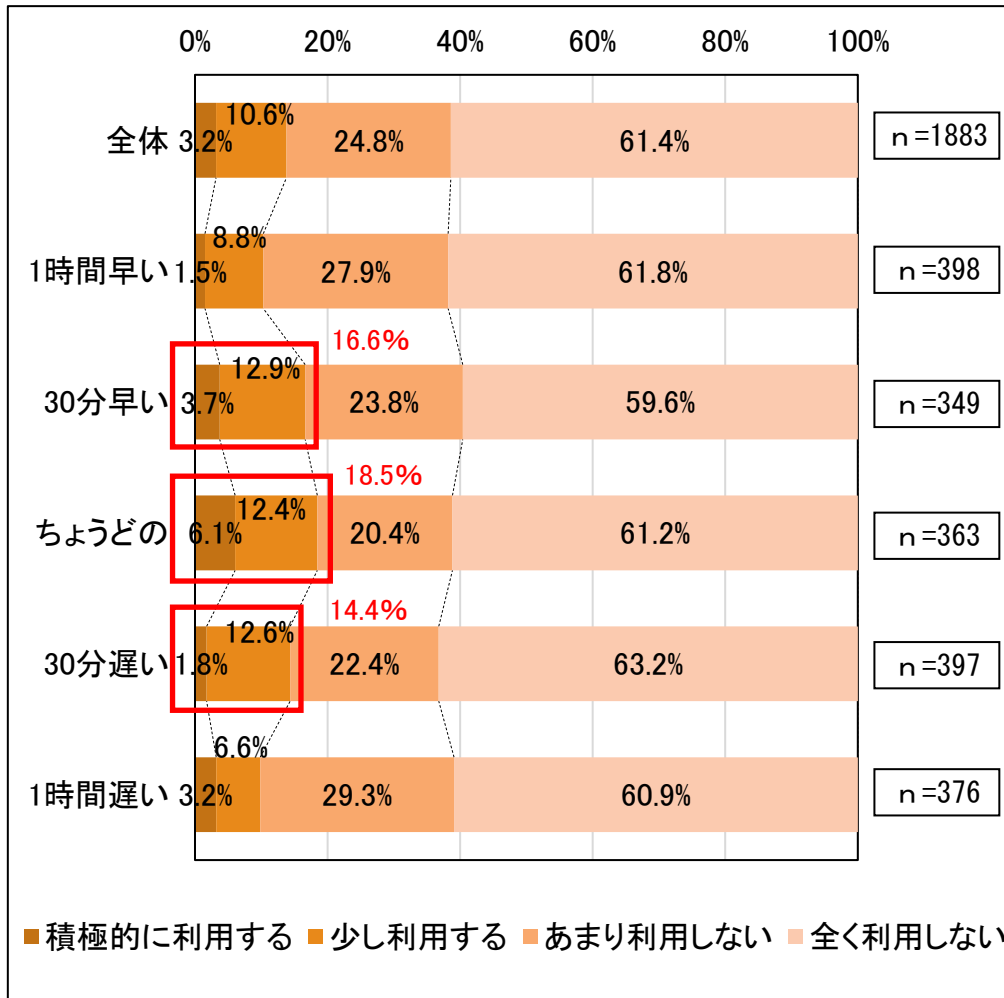
※集計値は 3 条件のサンプルをあわせた上で算出

■運賃

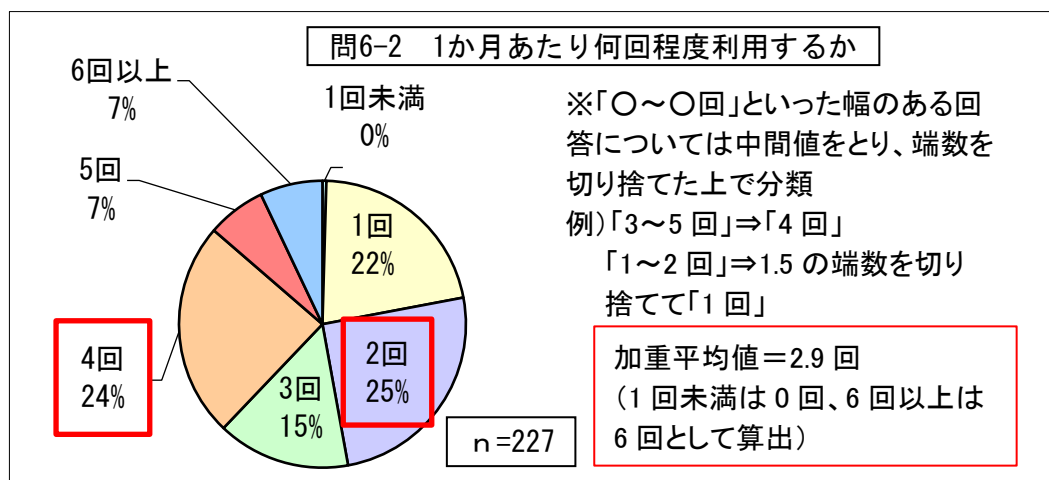


「積極的に利用する」「少し利用する」の合計値は、全体では 13.8%（全体集計は 10.4%）となった。運賃別にみると、「250 円」の場合に 17.0%で最も高かったが、「500 円」「750 円」の場合でも大きく変わらない利用意向が見られた。

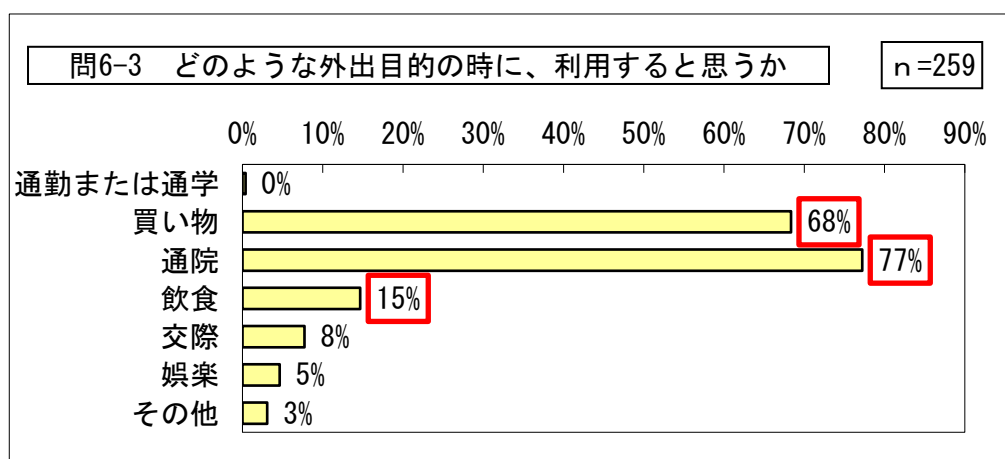
■希望時間とのズレ



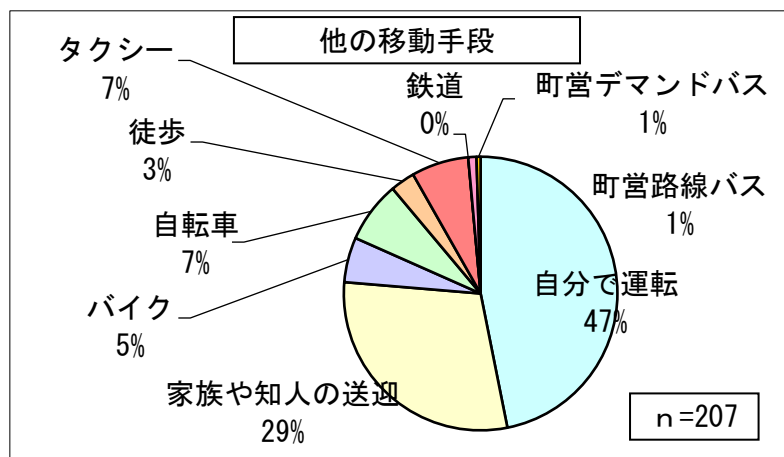
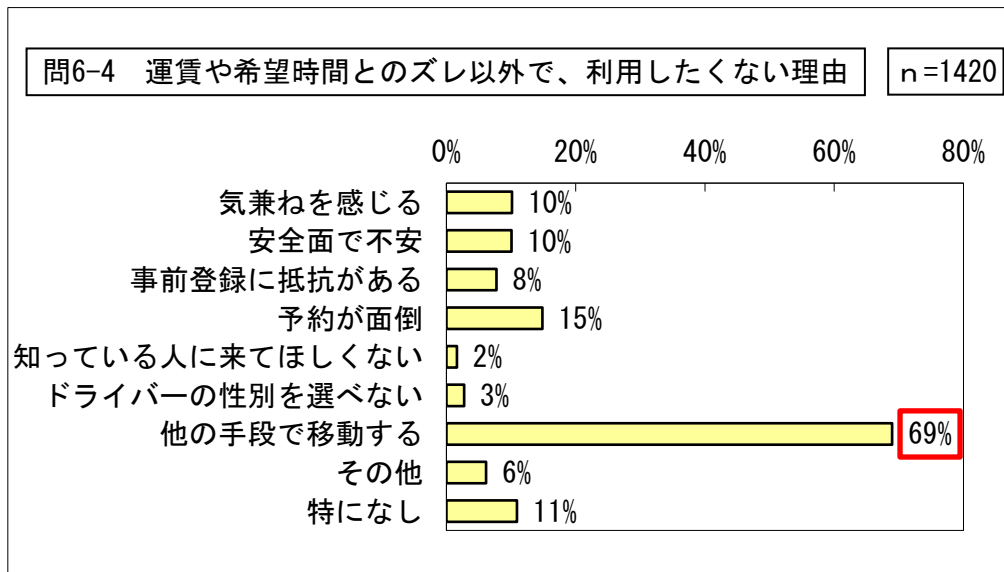
「積極的に利用する」「少し利用する」の合計値は、「ちょうど」場合に 18.5%で最も高かったが、「30分早い」または「30分遅い」場合でも大きく変わらない利用意向が見られた。



「2回」が25%で最も多く、次いで「4回」が24%となった。加重平均値では2.9回となった。



「通院」が77%で最も多く、次いで「買い物」が68%で過半数に達した。それ以外では、「飲食」が15%となった。



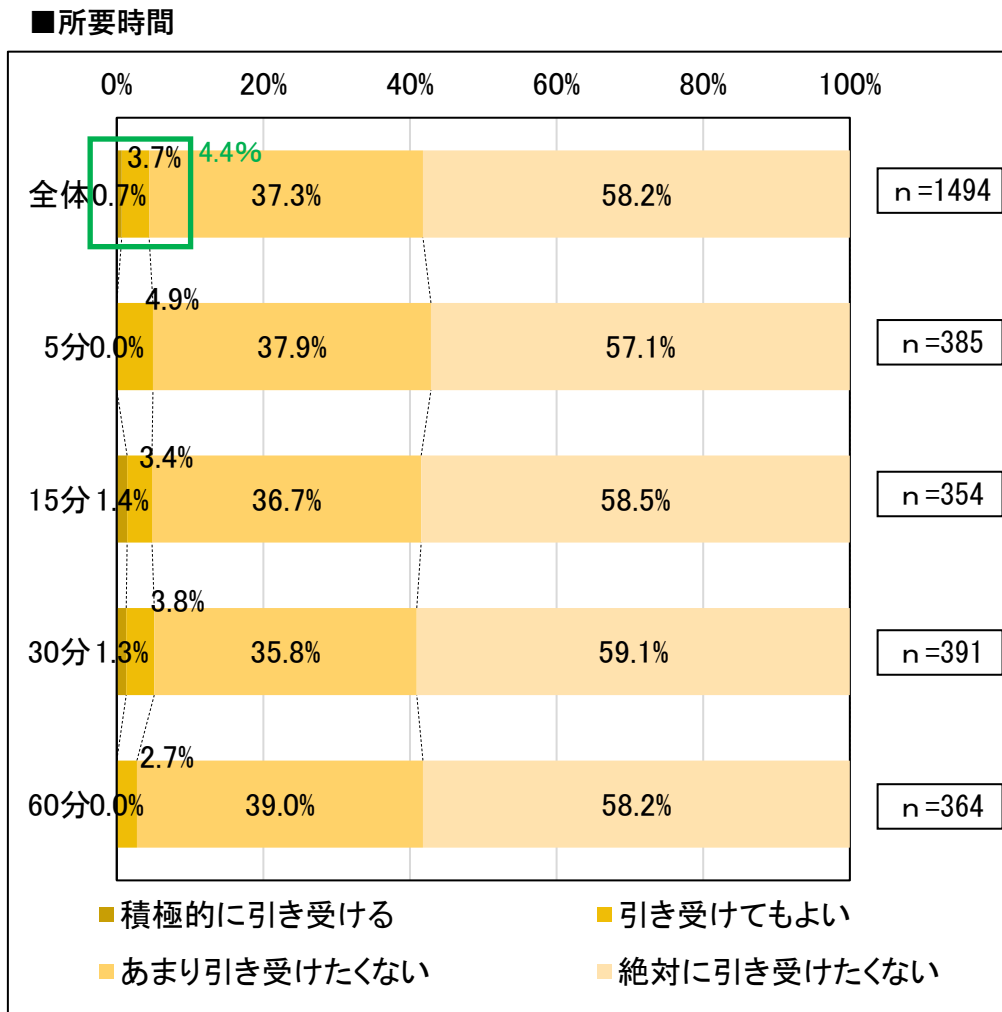
「他の手段で移動する」が69%と最も多く、自身の運転や家族等による送迎で移動しているため利用する必要がない、といった理由が多かった。

問 7.助け合い輸送について（ドライバーとして）

問 7-1 このような送迎サービスで、ドライバーとしての依頼を引き受けたいか

※1 名につき、【条件 1】～【条件 3】の 3 通りを回答

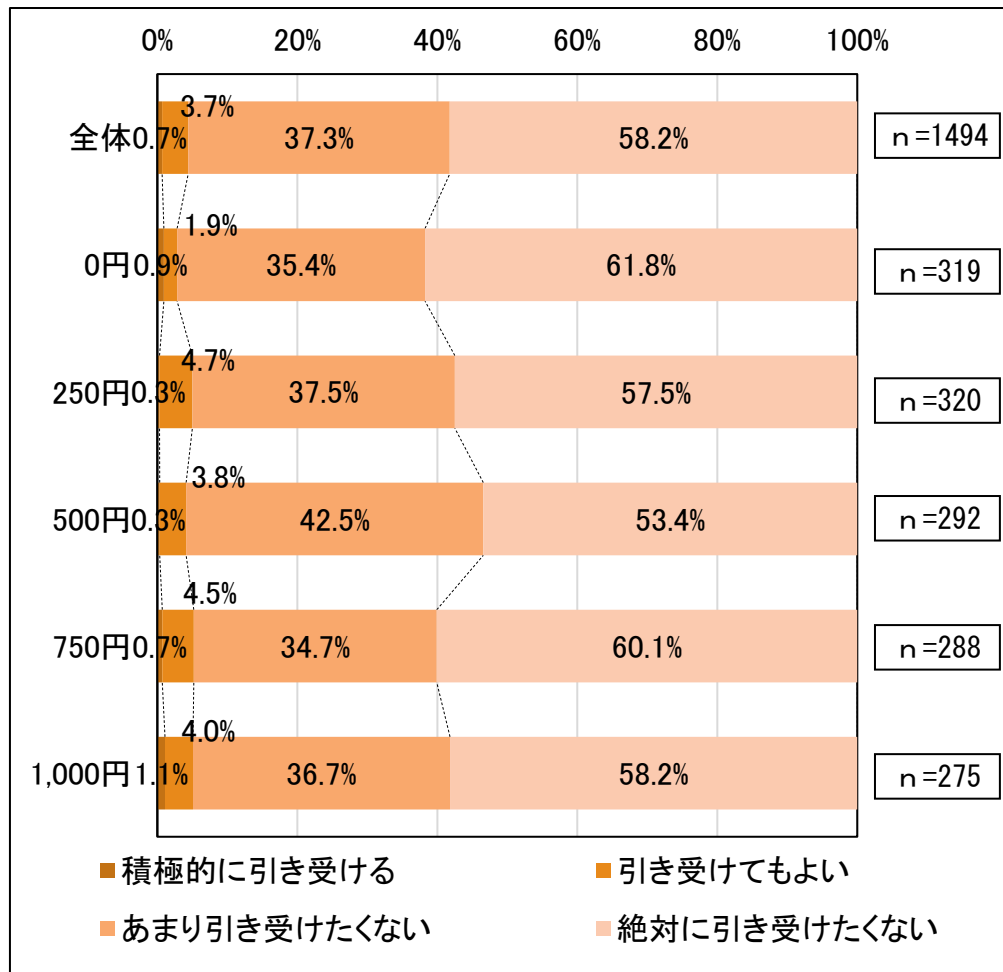
※集計値は 3 条件のサンプルをあわせた上で算出



「積極的に引き受ける」「引き受けてもよい」の合計値は、4.4%（全体集計は 7.5%）となった。

所要時間別に見た場合、あまり差はなく、総じて引き受ける意向は低い。

■報酬金額



報酬金額別に見た場合でもあまり差はなく、総じて引き受ける意向は低い。

地域交通に関する町民アンケート（70 歳代以上のみ抽出）まとめ・考察**（世帯票）あなたご自身について**

- ・ 70 歳代以上の年齢層は、879 人から回答が得られた。
- ・ 72%が運転免許を所有しており、そのうちの 7 割近くが日常的に車を運転している。

問 1.自家用車による移動や運転免許について

- ・ 現時点で移動に困っている人は 14%と全体集計に比べてやや多く、将来的に運転が不安になった場合に免許返納を考える人が 54%いることから、今後は移動に困る人の割合が増えていくことが予測される。

問 3.外出行動について

- ・ 大部分が自家用車で外出し、最も多いパターンでは出発は 8 時～9 時台、帰宅は昼頃までが半数を占めている。
- ・ 外出の目的は、「買い物」や「通院」が多くを占めた。

問 6.助け合い輸送について（利用者として）

- ・ 「積極的に利用する」「少し利用する」が合計で 13.8%となり、全体集計よりも高い利用意向が見られた。
- ・ 運賃は 250 円～750 円で利用意向が高く、一定の金額を支払ってもよいと考えられている傾向が見られた。
- ・ 利用意向がある人は、1 ヶ月あたり 2.9 回程度の利用が見込まれ、全体集計と大きな差はなかった。
- ・ 利用しない人の大部分は、理由として車で移動できることを挙げているため、運転が出来なくなった場合には利用者に転じる可能性がある。

問 7.助け合い輸送について（ドライバーとして）

- ・ 「積極的に引き受ける」「引き受けてもよい」が合計で 4.4%にとどまり、ドライバーとしての参画意向は低いことが確認された。高齢により、運転への不安が大きいものと考えられる。

5. 地域交通に関する町民アンケート（住民助け合い輸送への参画意向）

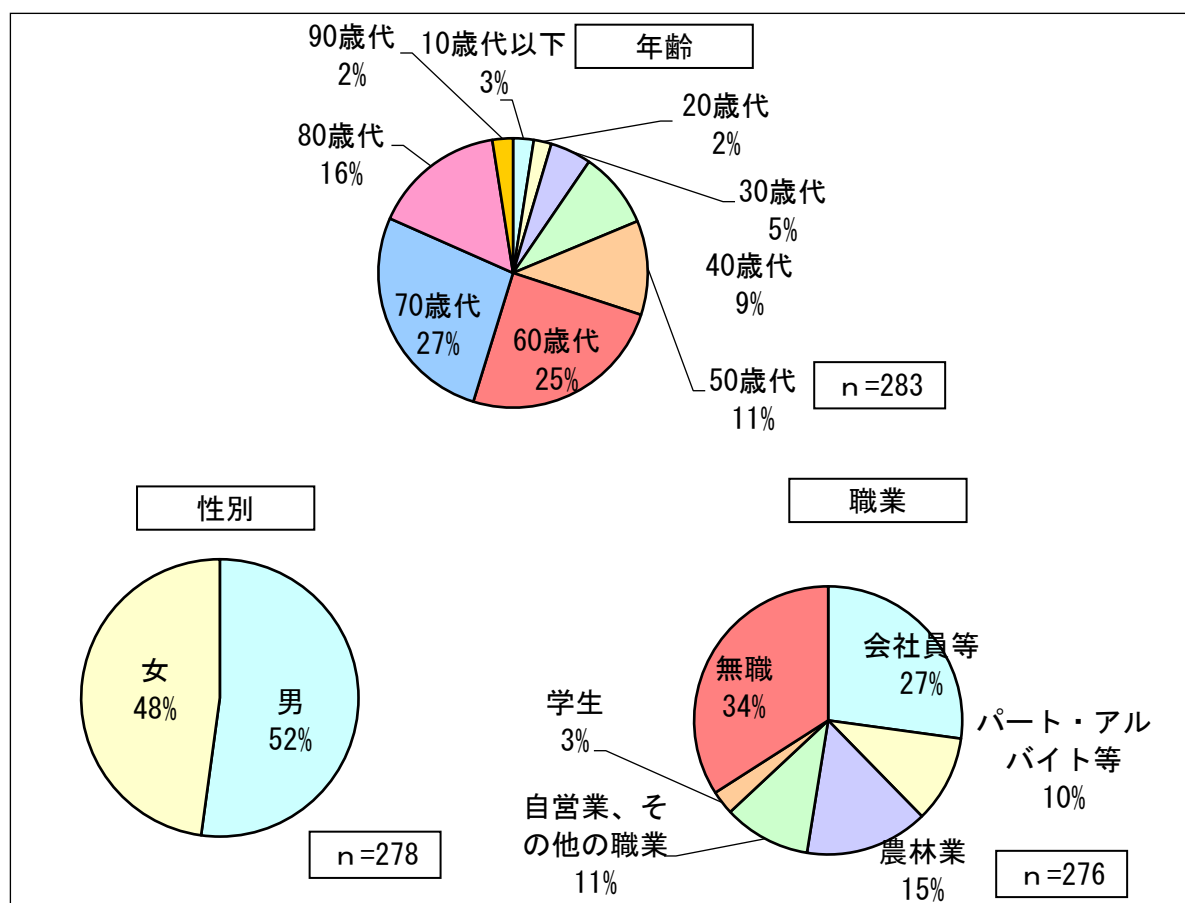
「住民助け合い輸送」についての参画意向を把握し、導入可能性等の検討に向けた基礎資料とするため、町民アンケート結果のうち以下のいずれかに回答した人を抽出して集計した。

- 【1】 利用者として「積極的に利用する」または「少し利用する」：298 人
 【2】 ドライバーとして「積極的に引き受ける」または「引き受けてもよい」：167 人

※それぞれ3種類の条件を提示した上で意向を尋ねているが、1つ以上の条件で上記の回答をした人を抽出した

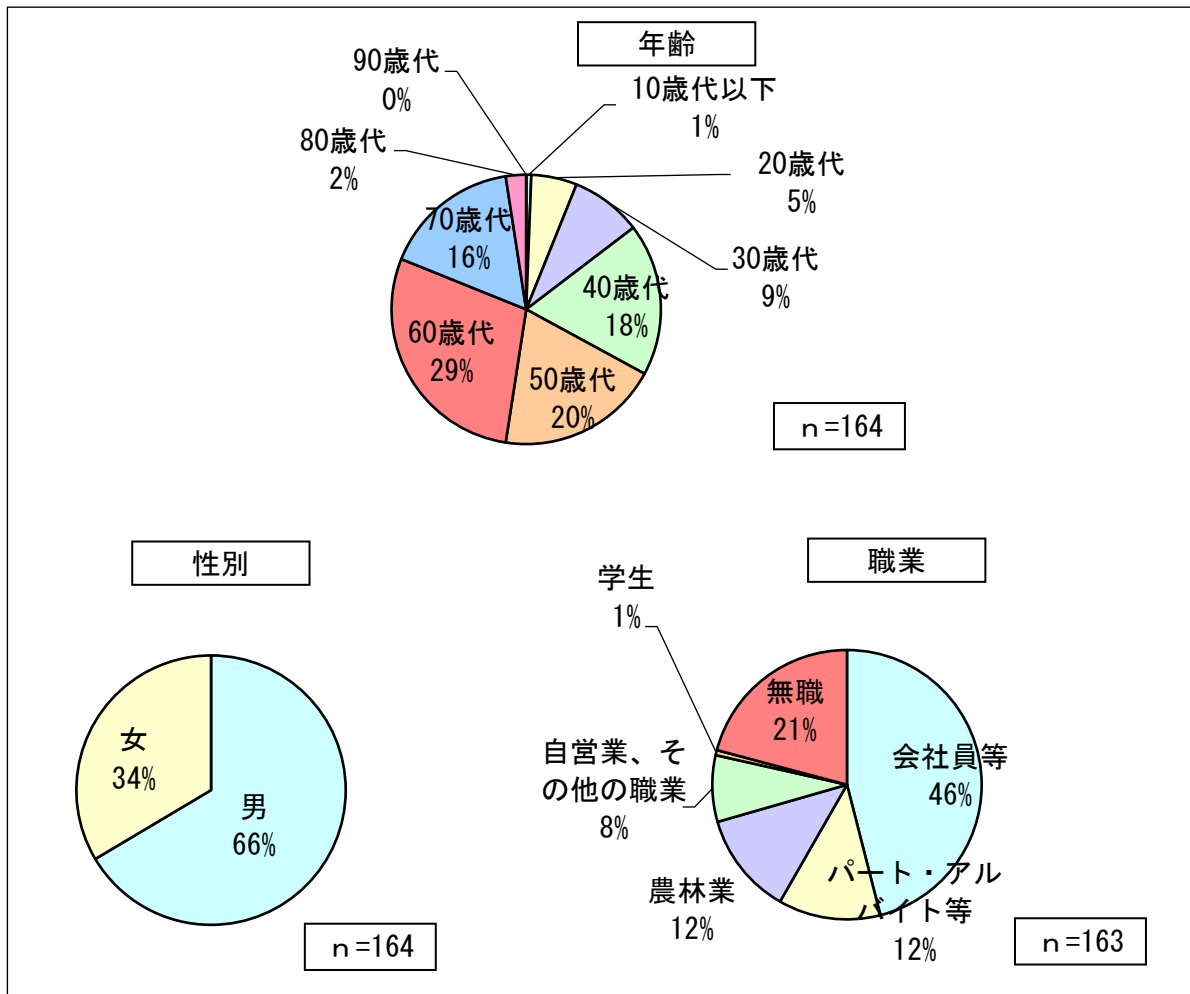
個人属性

【1】利用者



年齢は「70 歳代」が最も多く、60 歳代以上の年代層で 70%を占める。性別は、男女比がおおむね半々となっている。職業は、「無職」が最も多いが、「会社員等」や「農林業」をはじめ仕事をしている層にも一定の需要が見込まれる。

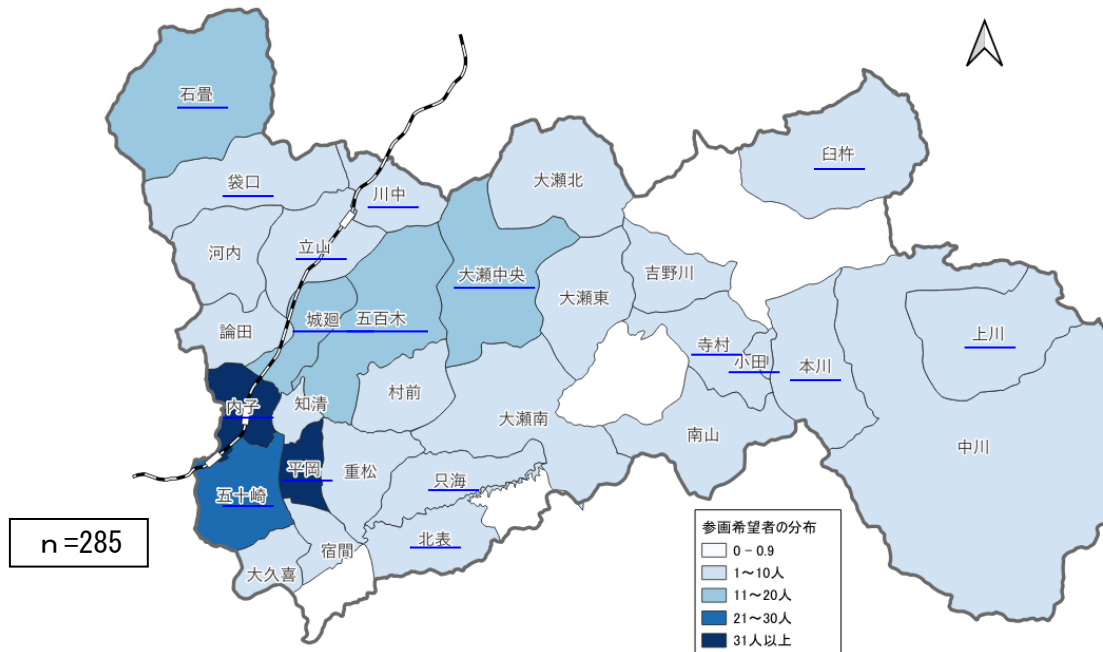
【2】ドライバー



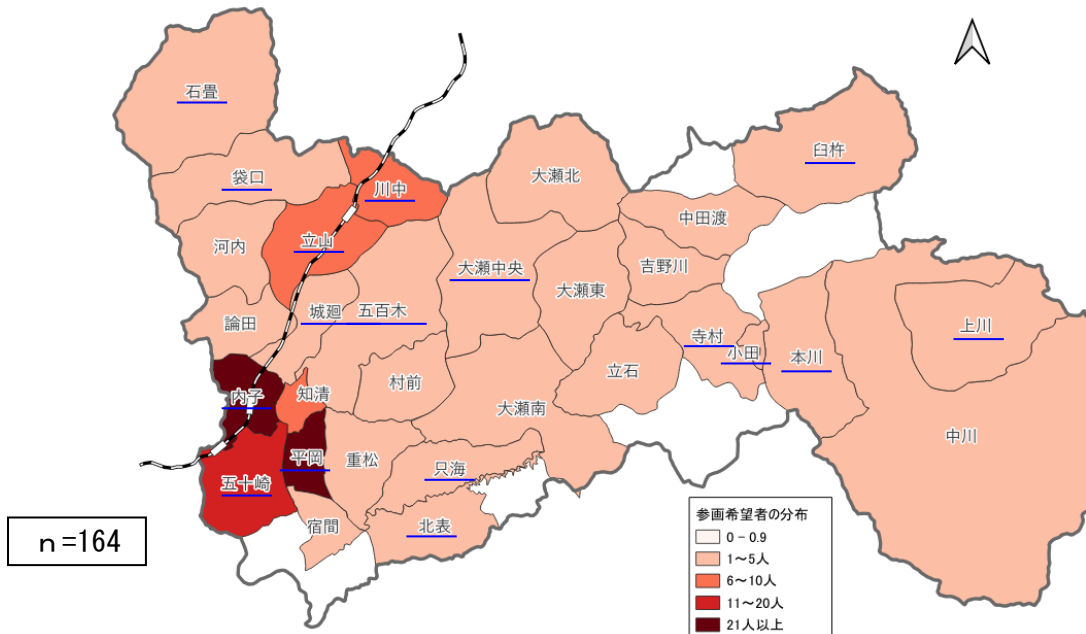
年齢は「60歳代」が最も多く、40歳代～70歳代の年代層で83%を占める。性別は、「男性」が約3分の2となっている。職業は、「会社員等」が46%と最も多く、現役世代によるドライバー参画の可能性が見込まれる。

住んでいる地区

【1】利用者



【2】ドライバー



町内のほとんどの地区で、利用者・ドライバーとも参画意向が確認できた。

利用者・ドライバーとして一定数または一定割合が見られた地域を以下に挙げる。

(内子エリア) 地域の中心である 内子のほか、大瀬中央・五百木・城廻・石畳・袋口・川中・立山等

(五十崎エリア) 地域の中心である 平岡・五十崎のほか、北表・只海等

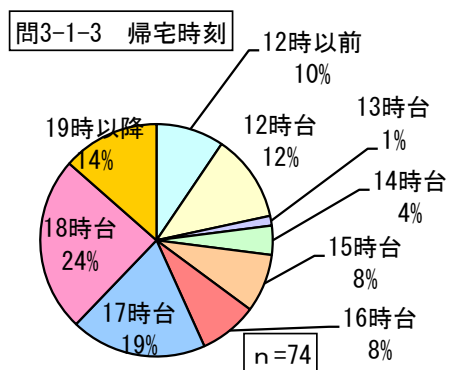
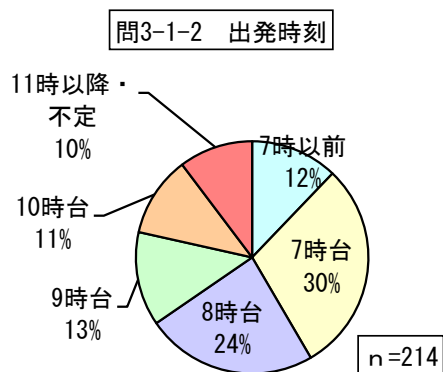
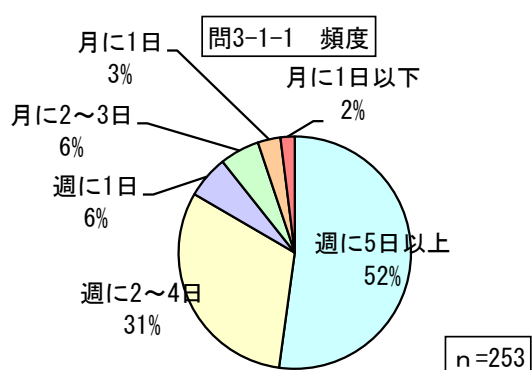
(小田エリア) 地域の中心である 小田・寺村のほか、本川・上川・臼杵等

	地区	回答者 総数	利用 希望	利用希望 割合	ドライバー 参画意向	参画意向 割合
内子 エリア	<u>内子</u>	446	51	11.4%	37	8.3%
	<u>大瀬中央</u>	96	18	18.8%	5	5.2%
	<u>五百木</u>	72	13	18.1%	5	6.9%
	<u>城廻</u>	113	12	10.6%	4	3.5%
	<u>石畳</u>	55	12	21.8%	5	9.1%
	<u>袋口</u>	25	10	40.0%	3	12.0%
	大瀬南	32	9	28.1%	1	3.1%
	<u>川中</u>	30	7	23.3%	7	23.3%
	<u>立山</u>	78	7	9.0%	8	10.3%
	村前	21	5	23.8%	1	4.8%
	論田	18	4	22.2%	3	16.7%
	知清	62	3	4.8%	9	14.5%
	河内	21	3	14.3%	2	9.5%
	大瀬北	20	2	10.0%	2	10.0%
	大瀬東	30	2	6.7%	2	6.7%
	大瀬	1	0	0.0%	0	0.0%
五十崎 エリア	<u>平岡</u>	295	42	14.2%	33	11.2%
	<u>五十崎</u>	246	28	11.4%	14	5.7%
	重松	51	7	13.7%	1	2.0%
	<u>只海</u>	42	5	11.9%	2	4.8%
	宿間	55	4	7.3%	3	5.5%
	大久喜	12	3	25.0%	0	0.0%
	<u>北表</u>	23	3	13.0%	3	13.0%
	福岡	14	0	0.0%	0	0.0%
	山鳥坂	1	0	0.0%	0	0.0%
小田 エリア	<u>小田</u>	25	8	32.0%	3	12.0%
	<u>本川</u>	48	8	16.7%	1	2.1%
	<u>寺村</u>	66	6	9.1%	3	4.5%
	<u>上川</u>	13	4	30.8%	1	7.7%
	南山	10	3	30.0%	0	0.0%
	<u>臼杵</u>	10	3	30.0%	2	20.0%
	中川	21	2	9.5%	1	4.8%
	吉野川	17	1	5.9%	1	5.9%
	日野川	7	0	0.0%	0	0.0%
	大平	4	0	0.0%	0	0.0%
	立石	26	0	0.0%	1	3.8%
	中田渡	16	0	0.0%	1	6.3%
	上田渡	5	0	0.0%	0	0.0%

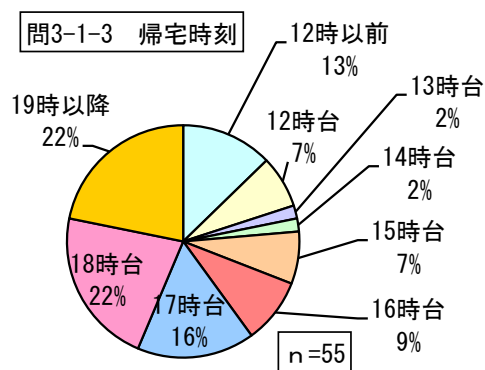
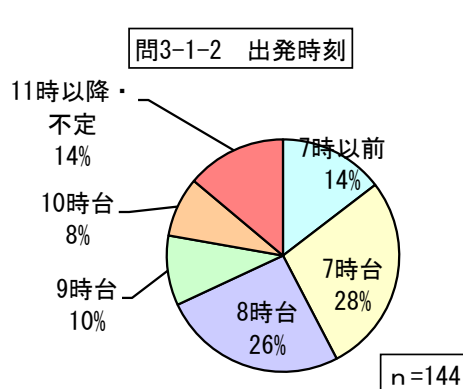
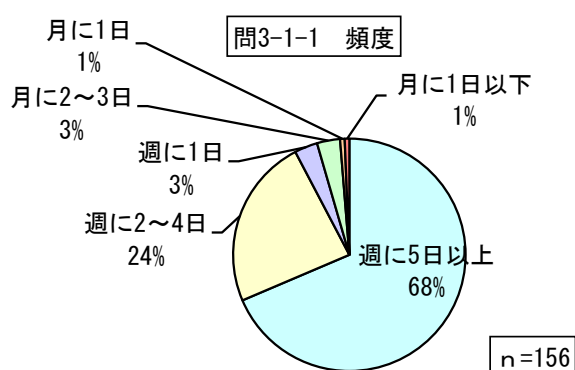
外出行動（一番多いパターン）

利用者・ドライバーともに、外出頻度は「週に5日以上」が最も多く、ドライバーの方がやや外出頻度が多い。また、出発時刻は7時台～8時台が約半数を占め、帰宅時刻は17時台～18時台が最も多い等、行動時間帯の傾向が類似しており、運行時間帯のマッチングにおいては好条件となっている。

【1】利用者



【2】ドライバー



利用する条件

※各回答者にランダムに提示した3条件のうち、①「積極的に利用する」②「少し利用する」と回答されたものを抽出しているため、1人で複数回答となっている場合がある

※「期待される月間利用回数」は、加重平均により算出

①「積極的に利用する」

期待される月間利用回数： 3.8 回

運賃／希望 時間とのズレ	250 円	500 円	750 円	1,000 円	1,250 円	合計	割合
1 時間早い	3	2	2	1	–	8	8%
30 分早い	6	5	4	3	2	20	20%
ちょうど	17	14	5	7	3	46	46%
30 分遅い	3	5	3	1	1	13	13%
1 時間遅い	3	3	3	–	4	13	13%
合計	32	29	17	12	10	100	
割合	32%	29%	17%	12%	10%		

②「少し利用する」

期待される月間利用回数： 2.5 回

運賃／希望 時間とのズレ	250 円	500 円	750 円	1,000 円	1,250 円	合計	割合
1 時間早い	19	21	16	6	5	67	16%
30 分早い	30	20	19	18	21	108	26%
ちょうど	26	17	25	23	8	99	24%
30 分遅い	23	23	12	20	13	91	22%
1 時間遅い	14	12	12	3	14	55	13%
合計	112	93	84	70	61	420	
割合	27%	22%	20%	17%	15%		

①「積極的に利用する」条件を見ると、運賃については金額が安くなるにつれて利用意向が高くなっている。希望時間とのズレについては、「ちょうど」であることで顕著に利用意向が高くなっている。

②「少し利用する」条件を見ると、運賃については金額による利用意向の差は比較的小さく、最も高い「1,250 円」の場合も一定の利用意向が表れている。希望時間とのズレについては、30 分以内のズレであれば一定の許容が期待できる傾向が表れている。

①+②「積極的に利用する＋少し利用する」

期待される月間利用回数： 2.8 回

運賃／希望 時間とのズレ	250 円	500 円	750 円	1,000 円	1,250 円	合計	割合
1 時間早い	22	23	18	7	5	75	14%
30 分早い	36	25	23	21	23	128	25%
ちょうど	43	31	30	30	11	145	28%
30 分遅い	26	28	15	21	14	104	20%
1 時間遅い	17	15	15	3	18	68	13%
合計	144	122	101	82	71	520	
割合	28%	23%	19%	16%	14%		

ドライバーを引き受ける条件

※各回答者にランダムに提示した3条件のうち、①「積極的に引き受ける」②「引き受けてもよい」と回答されたものを抽出しているため、1人で複数回答となっている場合がある

※「期待される月間受託回数」は、加重平均により算出

①「積極的に引き受ける」

期待される月間受託回数： 8.0 回

報酬／送迎の 所要時間	0 円	250 円	500 円	750 円	1,000 円	合計	割合
5 分	－	－	1	1	2	4	13%
15 分	2	1	3	4	4	14	44%
30 分	2	1	1	2	5	11	34%
60 分	－	－	－	1	2	3	9%
合計	4	2	5	8	13	32	
割合	13%	6%	16%	25%	41%		

②「引き受けてもよい」

期待される月間受託回数： 4.6 回

報酬／送迎の 所要時間	0 円	250 円	500 円	750 円	1,000 円	合計	割合
5 分	15	10	21	23	32	101	33%
15 分	5	21	16	22	15	79	26%
30 分	10	14	11	10	20	65	21%
60 分	4	7	22	13	12	58	19%
合計	34	52	70	68	79	303	
割合	11%	17%	23%	22%	26%		

①「積極的に引き受ける」条件を見ると、報酬については金額が高くなるにつれて受託意向が高くなる一方で、「0 円」で引き受ける意向を持つ人もいることが表れている。所要時間については、30 分以内で一定の許容が期待できる傾向が表れている。

②「引き受けてもよい」条件を見ると、報酬については 500 円以上であれば金額による受託意向の差は小さい。所要時間については、60 分以内で一定の許容が期待できる傾向が表れている。

①＋②「積極的に引き受ける＋引き受けてもよい」

期待される月間受託回数： 4.9 回

報酬／送迎の 所要時間	0 円	250 円	500 円	750 円	1,000 円	合計	割合
5 分	15	10	22	24	34	105	31%
15 分	7	22	19	26	19	93	28%
30 分	12	15	12	12	25	76	23%
60 分	4	7	22	14	14	61	18%
合計	38	54	75	76	92	335	
割合	11%	16%	22%	23%	27%		

地域交通に関する町民アンケート（住民助け合い輸送への参画意向）まとめ・考察**個人属性**

- ・年齢は、利用者は 60 歳代以上が多くを占め、ドライバーは 40 歳代～70 歳代が中心。
- ・性別は、利用者は男女が半々、ドライバーは男性が 3 分の 2 を占める。

住んでいる地区

- ・町内のほとんどの地区で、利用者・ドライバーとも参画意向が得られた。内子、五十崎、小田の各エリアの中心部では回答者数が多いこともあり特に多かったが、一方で、中心部から離れた地区においても、一定数以上の参画意向が得られた地区がある。

外出行動について

- ・利用者・ドライバーとも週 5 日以上外出する人が多いが、ドライバーの方が外出頻度が高い傾向を示した。
- ・出発の時間帯及び帰宅の時間帯について、利用者とドライバーで同様の傾向を表しており、マッチングしやすい状況と言える。

利用者としての条件

- ・「積極的に利用する」条件としては、料金が安いことや、希望時間ちょうどに来ることが重視されている。
- ・「少し利用する」条件としては、料金による影響は小さく、希望時間とのズレは 30 分以内であれば許容されやすい。

ドライバーとしての条件

- ・「積極的に引き受ける」条件としては、報酬が高いことや、送迎時間が 30 分以内で済むことが重視されている。
- ・「引き受けてもよい」条件としては、報酬が 500 円以上であれば金額の影響は小さく、0 円でも一定数が引き受けてもよいと回答している。送迎時間は 60 分以内であれば一定の許容が期待できる。

6. 事業者ヒアリング調査

公共交通との今後の連携の可能性を踏まえ、町内で送迎サービスを行っている事業者を対象に、送迎ニーズや人員体制、課題等を把握するため、ヒアリング調査を行った。

事業者 A（医療施設）

利用者の送迎輸送 に関する質問

Q1.送迎サービスを利用する方の年齢層について教えてください。

60 歳代から 90 歳代くらい 一番多いのは 70～80 歳代くらい

Q2. 送迎バスが稼働する頻度や時間帯について教えてください。

週に 5 日くらい 稼働する曜日（月・火・水・木・金・土・日）
1日に 6 便くらい 主な時間帯 7～16 時台

Q3. 送迎バスを利用する方の人数について教えてください。

1 便に 1 人 ～ 5 人 くらい

Q4. 送迎に行くことが多い地区名を教えてください。

医院近辺と内子

Q5. 送迎に使用している車両の車種、台数を教えてください。

ミニバン 9 人乗（巡回用） 14 人乗バス 10 人乗バス

Q6. 送迎を担当している職員の人数を教えてください。

運転手専任 1 人 運転以外の業務と兼任 3 人

Q7. 送迎サービスを実施するにあたり困っていることや、公共交通に関する要望等があれば教えてください。

過疎化により送迎利用者が減少し、少ない人数での送迎が多くなった上に燃料費が高騰しているため困っている。

事業者 B（福祉施設）

利用者の送迎輸送 に関する質問

Q1.送迎サービスを利用する方の年齢層について教えてください。

50 歳代から 100 歳代くらい 一番多いのは 80 歳代くらい

Q2. 送迎バスが稼働する頻度や時間帯について教えてください。

週に 6 日くらい 稼働する曜日（月・火・水・木・金・土・日）
 1日に 8 便くらい 主な時間帯 8:00~9:30 16:30~17:30 時台

Q3. 送迎バスを利用する方の人数について教えてください。

1 便に 3 人 ~ 8 人 ぐらい

Q4. 送迎に行くことが多い地区名を教えてください。

内子、五十崎、小田 ※全域

Q5. 送迎に使用している車両の車種、台数を教えてください。

ハイエース×2 台 シエンタ×5 台 ノア、エスクァイア、タント 各 1 台

Q6. 送迎を担当している職員の人数を教えてください。

運転手専任 人 運転以外の業務と兼任 12 人

Q7. 送迎サービスを実施するにあたり困っていることや、公共交通に関する要望等があれば教えてください。

積雪時は送迎が困難なため、利用者に送迎のお断りを入れることがある。当施設の建物は勾配のある坂道の上に建っているため、その坂道だけでも除雪をしていただくと有難い。

事業者C（スポーツ施設）

利用者の送迎輸送 に関する質問

Q1.送迎サービスを利用する方の年齢層について教えてください。

小学生 歳代から 80 歳代くらい 一番多いのは 10代と70代 歳代くらい

Q2. 送迎バスが稼働する頻度や時間帯について教えてください。

週に 6 日くらい 稼働する曜日（月・火・水・木・金・土・日）
1日に 2 便くらい 主な時間帯 成人 9時 小学生 16時 時台

Q3. 送迎バスを利用する方の人数について教えてください。

1 便に 3人 ~ 6人 ぐらい

Q4. 送迎に行くことが多い地区名を教えてください。

内子、五十崎 ※小田を除く

Q5. 送迎に使用している車両の車種、台数を教えてください。

ハイエース 1 台

Q6. 送迎を担当している職員の人数を教えてください。

運転手専任 1 人 運転以外の業務と兼任 2~3 人

Q7. 送迎サービスを実施するにあたり困っていることや、公共交通に関する要望等があれば教えてください。

昨今の物価上昇に伴い、低価格のバス送迎が困難になっている。

内子町地域公共交通計画 別冊資料

令和7年3月

発行：愛媛県内子町